

木 材 力 学 資 料—XX

付総索引 (I—XX)

山田 正*・角谷 和男*・則元 京*
師岡 淳郎*・矢野 浩之*

Short Manual on Wood Mechanics XX

Tadashi YAMADA,* Kazuo SUMIYA,* Misato NORIMOTO,*
Toshiro MOROOKA,* Hiroyuki YANO*

1. 素材の静的粘弾性補遺 (応力—歪図を除く)	表 3—19
2. 木質材料の静的粘弾性補遺 (応力—歪図を除く)	表 4—19
3. 結合および構造体の粘弾性補遺 (応力—歪図を除く)	表 5—15
4. 素材の動的粘弾性補遺 (応力—歪図を除く)	表 6—19
5. 木質材料の動的粘弾性 (応力—歪図を除く)	表 7—18
6. 木材の水分応力補遺	表10—18
7. 木材の生長応力補遺	表12—16
8. 資 料	表28
文 献	

(注) 表および文献中の記号, 用語の定義は木資料 I, IV (木材研究, No. 34, 43) の前文を参照すること。

表 3—19 素材の静的粘弾性 補遺

	応力緩和	ク	リ	—	プ
歪・応力依存性		A-215(3, 7~9), H-104(4)			
水分(溶液吸収)依存性	平衡				
	非平衡		D-258(1~3, 7, 8), D-260(4, 5, 7, 10, 11), O-21(1~3),		
温度依存性	平衡				
	非平衡		D-258(1~3, 7, 8), D-260(4, 5, 7, 10, 11)		

* 木材物理部門 (Research Section of Wood Physics)

表4—19 木質材料の静的粘弾性 補遺

		応力緩和	ク	リ	—	プ
歪・応力依存性			A-216(3~8), E-106(1, 2), K-95(4), K-98(6)			
水分(溶液吸収)依存性	平衡					
	非平衡		B-70(2), D-260(4~7, 10~12)			
温度依存性	平衡					
	非平衡		B-70(2), D-260(4~7, 10~12)			

表5—15 結合および構造体の粘弾性 補遺

		応力緩和	ク	リ	—	プ	動的粘弾性
歪・応力依存性			D-259(3, 4), D-268(5, 6), D-262(3)				A-211 (5, 8~10), A-212(4, 7~9), A-213(5~11), D-263(19~22), D-264(10~14), D-266(1), E-107(3)
水分(溶液吸収)依存性	平衡						
	非平衡		D-260(4, 5, 7, 10~12)				
温度依存性	平衡						
	非平衡						

表6—19 素材の動的粘弾性 補遺

歪・応力依存性		A-208(2, 3, 4~6), A-209(3~6), A-210(8~10), A-214(4~7, 9), B-69(10), D-261(5), D-263(12), H-105(1~4), J-9(2~4), K-97(1~3, 6~8), K-99(2)					
水分(溶液吸収)依存性	平衡						
	非平衡						
温度依存性	平衡	H-103(2, 5, 6, 9, 10), H-105(2)					
	非平衡						
生物因子依存性	平衡						
	非平衡						

表7—18 木質材料の動的粘弾性 補遺

歪・応力依存性		A-208(2, 3, 4~6), A-216(7, 8), D-267(14~16, 18, 19, 23, 24), H-106(2), K-96(2~5)					
水分(溶液吸収)依存性	平衡						
	非平衡						
温度依存性	平衡	H-103(4~7, 9, 10)					
	非平衡						

表9—18 木材の水分応力 補遺

		膨	潤	乾	燥
応	力	D-0151(4~9), K-039(1, 2), K-040(2, 4, 5, 7)		K-041(2)	
歪	外部変形歪	A-072(2~8), A-073(3, 4), B-071(1), D-0154(2, 4~9), D-0155(10), I-086(1~6)		A-072(2~8), A-073(3, 4), B-068(3~6), B-071(1~3), D-0154(2, 4~6), D-0155(10), I-085(5, 6), I-086(1~6)	
	内部残留歪			D-0153(24)	
	割れ コラップス			B-069(6), D-0152(5), E-0176(1), K-95(1)	

表12—16 木材の生長応力 補遺

応	力	D-0016(3)
歪	外部変形歪	
	内部残留歪	D-0016(2)
	割れ	

表28 (a) 素材の静的粘弾性 補遺
クリープ—歪, 応力依存性

文 献	樹 種	特 性	応力または歪	含 水 率	温 度	時 間	処 理
A-215 Fig. 3	ヒノキ (0.42~0.56)	破壊たわみ, クリープ破壊 たわみ—比重	三点曲げ (L) (応力レベル85~94%)	11%	35°C	18~49413秒	無処理
A-215 Fig. 7~9	〃	クリープ破壊たわみ—時間	〃	〃	〃	〃	〃
H-104 Fig. 4	ヒノキ	力学モデル定数—応力レベル	四点曲げ (L) (応力レベル30~55%)	60% R. H.	25°C	~82時間	無処理

クリープ—水分 (溶液吸収) 依存性 (非平衡)

文 献	樹 種	特 性	応力または歪	含 水 率	温 度	時 間	処 理
D-258 Fig. 1	マカンバ (0.65~0.67) 心材	たわみ, 含水率—時間 (マイクロ波出力による差)	三点曲げ (L) (応力 126 kg/cm ²)	飽水—→10% m.c. マイクロ波照射		~24分	無処理
D-258 Fig. 2	ミズナラ (0.66, 心材)	たわみ, 含水率—時間 (塩化ビニリデンフィルム被覆の有無による差)	三点曲げ (L) (応力 90 kg/cm ²)	〃		~14分	〃
D-258 Fig. 3	マカンバ (0.66, 心材) ブナ(0.61, 心材) ミズナラ(0.70, 心材)	最大たわみ—目切れ角 (柁目, 板目面負荷, 塩化ビニリデンフィルム被覆の有無による差)	〃	〃		14分	〃
D-258 Fig. 7	〃	最大クリープコンプライアンス—蒸煮前処理時間	〃	〃		〃	無処理 151°Cで ~120分蒸煮処理
D-258 Fig. 8	〃	最大たわみ—目切れ角 (塩化ビニリデンフィルム被覆の有無, 各薬品塗装及び蒸煮処理による差)	〃	〃		〃	無処理 151°Cで15分 蒸煮処理, ポリウレタン 塗装及び各種薬品含 浸処理
D-260 Fig. 4, 5	ラワン, パーティ クルボード, 合板, フラッシュ	Pgwer 則の定数 —瞬間たわみの逆数	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)			室内放置	~40日

文献	樹種	特性	応力または歪	含水率	温度	時間	処理
D-260 Fig. 6	パーティクルボード	クリープ及びクリープ回復繰り返し曲線 (相対湿度変化の影響)	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 24 kg (試片寸法 60×30×1.5 cm)	〃	〃	~190日	
D-260 Fig. 7	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対湿度一時間	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)	〃	〃	~96時間	
D-260 Fig. 10, 11	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数一単位湿度変化あたりのたわみ	〃	〃	〃	~40日	
O-21 Fig. 1, 2	black butt sydney blue gum alpine ash hoop pine radiata pine merbau	クリープたわみ比一乾燥度 (生材乾燥および再乾燥の比較)	四点曲げ (L) (応力レベル) (16~34%)	生材→140~10% m.c	25℃	120時間	無処理
O-21 Fig. 3	mountain ash messmate string bark	クリープ曲線 (生材乾燥およびスタビライズド材乾燥の比較)	三点曲げ (L)	生材→13% m.c.	〃	~150日	〃

クリープ—温度依存性 (非平衡)

文献	樹種	特性	応力または歪	含水率	温度	時間	処理
D-258 Fig. 1	マカンバ (0.65~0.67) 心材	たわみ, 含水率一時間 (マイクロ波出力による差)	三点曲げ (L) (応力 126 kg/cm ²)	飽水 → 10% m.c. マイクロ波照射	〃	~24分	無処理
D-258 Fig. 2	ミズナラ (0.66, 心材)	たわみ, 含水率一時間 塩化ビニリデンフィルム被覆の有無による差	三点曲げ (L) (応力 90 kg/cm ²)	〃	〃	~40分	〃
D-258 Fig. 3	マカンバ (0.66, 心材) ブナ (0.61, 心材) ミズナラ (0.70, 心材)	最大たわみ一目切れ角 (柱目, 板目面負荷, 塩化ビニリデンフィルム被覆の有無による差)	〃	〃	〃	14分	〃
D-258 Fig. 7	〃	最大クリープエンプライアンス一蒸煮前処理時間	〃	〃	〃	無処理 ~12分	151℃で蒸煮処理
D-258 Fig. 8	〃	最大たわみ一目切れ角 (塩化ビニリデンフィルム被覆の有無, 各薬品, 塗装および蒸煮処理による差)	〃	〃	〃	無処理 151℃で15分蒸煮処理, ポリウレタン塗装及び各種薬品含浸処理	
D-260 Fig. 4, 5	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数一瞬間たわみの逆数	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)	室内放置	〃	~40日	
D-260 Fig. 6	パーティクルボード	クリープおよびクリープ回復繰り返し曲線 (相対湿度変化の影響)	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 24 kg (試片寸法 60×30×1.5 cm)	〃	〃	~190日	
D-260 Fig. 7	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対湿度一時間	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)	〃	〃	~96時間	
D-260 Fig. 10, 11	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数一単位湿度変化あたりのたわみ	〃	〃	〃	~40日	

(b) 木質材料の静的粘弾性 補遺

クリープ—歪, 応力依存性

文献	供試材	特性	応力または歪	含水率	温度	時間	処理
A-216 Fig. 3~6	パーティクルボード (単層, 三層) (0.55~0.71) (スギ)	クリープ比曲線 (表層パーティクルボードの配向, 無配向, 単層, 三層, 比重による差)	四点曲げ (応力) (28~33 kg/cm ²)	65% RH	20℃	~120分	イソシアネート, フェノールホルムアルデヒド, ユリアホルムアルデヒド樹脂接着

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
A-216 Fig. 6	パーティクルボード (三層, 0.55~ (0.70, スギ)	クリープ比曲線 (比重, 樹脂含量による差)	〃	〃	〃	〃	ビニルポリマー・イソシアネート, イソシアネート樹脂接着
A-216 Fig. 7, 8	パーティクルボード (三層, 0.63~ (0.68, スギ)	クリープ比曲線 (表層パーティクルの配向, 無配向による差)	四点曲げ (応力 28~33 kg/cm ²) 四点曲げ振動 (片振り, 30 kg/cm ²)	〃	〃	~120分 1 Hz	イソシアネート, ユリアホルムアルデヒド樹脂接着
E-106 Fig. 1, 2	合板 (5 ply, Douglas-fir)	クリープ(熱圧過程)およびクリープ回復曲線	圧縮 (応力~200 psi)	1, 5.8% m.c.	270, 330°F	~60日	フェノール樹脂接着
K-95 Fig. 4	パーティクルボード	たわみ, AE 計数 一時間	曲げ (応力 2, 4, 6.3 MPa)			~50分	
K-98 Fig. 6	パーティクルボード三層, 0.66~0.73, 表層: 古紙, 古紙+木材繊維, 内層: 小片	クリープ比曲線	四点曲げ			~160日	メラニン・尿素脂・フェノール樹脂・イソシアネート樹脂・イソシアネート・尿素樹脂・イソシアネート+メラニン・尿素樹脂接着

クリープ水分 (溶液吸収) 依存性 (非平衡)

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
B-70 Fig. 2	D-234 Fig. 6 に同じ						
D-260 Fig. 4, 5	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数 一瞬間たわみの逆数	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)		室内放置	~40日	
D-260 Fig. 6	パーティクルボード	クリープおよびクリープ回復繰り返し曲線 (対湿度変化の影響)	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.5 cm)		〃	~190日	
D-260 Fig. 7	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対湿度 一時間	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)		〃	~96時間	
D-260 Fig. 10, 11	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数 一単位湿度変化あたりのたわみ	〃		〃	~40日	
D-260 Fig. 12	パーティクルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対湿度 一時間	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) (BL 基準による)		〃	~100時間	

クリープ-温度依存性 (非平衡)

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 置
B-70 Fig. 2	D-234 Fig. 6 に同じ						
D-260 Fig. 4, 5	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数 一瞬間たわみの逆数	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)		室内放置	~40日	
D-260 Fig. 6	パーティクルボード	クリープおよびクリープ回復繰り返し曲線 (対湿度変化の影響)	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.5 cm)		〃	~190日	
D-260 Fig. 7	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対湿度 一時間	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)		〃	~96時間	
D-260 Fig. 10, 11	ラワン, パーティクルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数 一単位湿度変化あたりのたわみ	〃		〃	~40日	
D-260 Fig. 12	パーティクルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対湿度 一時間	曲げ (四隅支持, 等分布荷重) (BL 基準による)		〃	~100時間	

(c) 結合および構造体の粘弾性 補遺
クリープ—歪, 応力依存性

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
D-259 Fig. 3, 4	フラッシュパネル (0.27~0.42 面材:合板, 0.55 芯材:パーティク ルボード, 0.68~ 0.76)	クリープに係する定数 —ヤング係数 (芯材厚さ, 芯材率, 芯材 構成, スパンによる差)	三点曲げ	65% RH	20℃	~10日	
D-268 Fig. 5	接合体 (ベイツガ, 0.45)	荷重—変位曲線お よびクリープ曲線	引張 (応力レベル25, 32, 40, 50, 60, 67, 100%)	65% R.H.	20℃	~10時間	メタルブ レート接 合
D-268 Fig. 6	〃	クリープ関数 —応力レベル	〃	〃	〃	〃	〃
D-262 Fig. 3	フィンガージョイントキ オ(エゾマツ, トドマツ)	クリープ曲線	5分点4点曲げ荷重方 式(応力 92 kg/cm ²)	気乾	室温	~70日	水性ビニルウレ タン樹脂接着

クリープ—水分 (溶液吸収) 依存性

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
D-260 Fig. 4, 5	ラワン, パーティ クルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の 定数—瞬間た わみの逆数	曲げ (四隅支持, 等分布荷 重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)	室内放置		~40日	
D-260 Fig. 7	ラワン, パーティ クルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対 湿度—時間	曲げ (四隅支持, 等分布荷 重) 荷重 24 kg (試片寸法 60×30×1.3~2.0 cm)	〃	〃	~96時間	
D-260 Fig. 10, 11	ラワン, パーティ クルボード, 合板, フラッシュ	Power 則の定数 —単位湿度変化あ たりのたわみ	〃	〃	〃	~40日	
D-260 Fig. 12	パーティクルボード, 合板, フラッシュ	たわみ, 相対 湿度—時間	曲げ (四隅支持, 等分布 荷重) (BL 基準による)	〃	〃	~100時間	

動的粘弾性—歪, 応力依存性

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
A-211 Fig. 5, 8	LVL 継手 (カラマツ, 0.52~0.54)	S—N曲線 (突付間隙, プレー ト形状による差)	引張疲労(片振り)	10~14% m.c.	室温	~10 ⁷ 回 (16.7 Hz)	メタルブ レート接 合
A-211 Fig. 9	〃	S—N曲線	引張疲労 (片振り, 両振り)	〃	〃	〃	〃
A-211 Fig. 10	〃	S—N曲線 突付間隙による差	引張疲労(両振り)	〃	〃	〃	〃
A-212 Fig. 4	木材継手 (ベイツガ, 0.38~0.52)	耐力残存率 —荷重比	引張疲労 (片振 り)	12±2% m.c.	室温	(16.7 Hz)	メタルブ レート接 合
A-212 Fig. 7	〃	一次荷重繰返し数比—二次荷重繰返し 数比 (linear damage theoryの検討)	〃	〃	〃	〃	〃
A-212 Fig. 8	〃	累積繰返し数比—一次 荷重と二次荷重比の差	〃	〃	〃	〃	〃
A-212 Fig. 9	〃	破壊歯数—荷重比	〃	〃	〃	〃	〃
A-213 Fig. 5	接合体 (LVL, 0.57, Douglas-fir)	一定間隙を生ずる に要する荷重—初 期ステイフネス	引張 (繰返し)	65% R.H.	21℃	1.5回	メタルブ レート接 合
A-213 Fig. 6	〃	静的荷重と繰返し荷重を受けた材の 強度の比較(乾湿繰返し処理の影響)	〃	〃	〃	120回	〃
A-213 Fig. 7	接合体 (LVL, 0.57)	接合間隙—繰返し 数	〃	〃	〃	~120回	〃

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 置
A-213 Fig. 8, 9	接合体 (LVL, 間隙増加量, 間隙増 0.57, Douglas fir)	加率一負荷レベル	〃	〃	〃	〃	〃
A-213 Fig. 10	〃	最大間隙量一初期スティフ ネス (負荷レベルの影響)	〃	〃	〃	〃	〃
A-213 Fig. 11	〃	最大間隙量におよぼす 乾湿繰返し処理の影響	〃	20, 65, 90% R.H.	〃	〃	〃
D-263 Fig. 19 ~22	接合体 主材 : カラマツつ なぎ材, 方杖 材: エゾマツ	荷重一変位曲線 (繰返し, 方杖材の 有無, 基礎種類別)	曲 げ (両振り, 片振り)	25% m.c. (表層部)	(室外)	4 回	釘結合, あおり止 金物, ボ ルト結合
D-264 Fig. 10 ~14	小屋組(カラ マツトラス)	下弦材中央たわみ 一荷重 (繰返し)	両端支持 6 点荷重曲げ (二点支持, 設計荷重値 の 0.5, 1, 1.5, 2, 2. 5, 3 倍)			18 回	合板ガセ ット釘打 ち結合
D-266 Fig. 1	釘 着 材	荷重一すべり曲線 (繰返し)	剪 断			2.5 回	釘結合
E-107 Fig. 3	耐力壁(枠組: Douglas-fir 壁: ハードボード)	荷重一変位曲線 (繰返し)	両端支持 4 点荷重曲げ		室内 放置	8.5 回	釘結合

(d) 素材の動的粘弾性 補遺
歪, 応力依存性

文献	樹 種	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
A-208 Fig. 2, 3	シトカ スプルース (5, 6 ply, シトカ スプルース, レッ ドメランチ)	動的弾性率, 損失正 接一木理角, 表板の 木理角 (単板構成による差)	二点支持曲げ 振動 (木理角 0° ~90°, 表板の 木理角 0°~90°)	7% m.c.			無処理 レゾルシ ノール樹 脂接着
A-208 Fig. 4~6	シトカ スプルース (5, 6 ply, シトカ スプルース, レッ ドメランチ)	動的弾性率, 損失正 接一周波数 (単板構成による差)	二点支持曲げ振動 (木理角 0°, 45°, 90°, 表板の木理角 0°, 45°, 90°)	〃		50 Hz ~10 kHz	〃
A-209 Fig. 3~5	シトカ スプルース	動的弾性率, 損失 弾性率, 損失正接 一木理角	縦 振 動 (L) 二点支持曲げ振動 (L) (木理角 0°~90°)	12% m.c.	20°C	4~10 kHz 400~ 900 Hz	無処理
A-209 Fig. 6	〃	動的弾性率, 損失 正接一周波数	縦 振 動 (L)	〃	〃	2~14 kHz	〃
A-210 Fig. 8	カ リ ン	損失正接一熱処理 時間	二点支持曲げ振動 (L)	全 乾	20°C	500, 1000, 2000 Hz	無処理, 熱処 理 (160°C, ~ 100 時間)
A-210 Fig. 9, 10	〃	動的弾性率, 損失 正接一周波数 (熱処理の有無)	二点支持曲げ振動 (L) 縦 振 動 (L)	8% m.c. 全 乾	〃	500~12000 Hz	無処理, 熱処 理 (160°C, 20 時間)
A-214 Fig. 4, 5	ス ギ (0.33~0.39)	応力一歪曲線 (繰返し)	引 張 (L) (応力 500 kg/cm ²)	65% R.H.	20°C	5.5, 9.5 回	無処理
A-214 Fig. 6, 7	〃	AE 計数, 応力 一荷重時間	〃	〃	〃	〃	〃
A-214 Fig. 9	〃	AE 計数一繰返し 数	引張疲労 (片振り) (L) (応力 250 kg/cm ²)	〃	〃	~2 × 10 ⁶ 回 (20 Hz)	〃
B-69 Fig. 10	フ ァ ー	AE 計数総数一応力レベル (繰返し, 節の有無による) (差, LORD のデータによる)	三 点 曲 げ (応力レベル)			2, 3 回	無処理
D-261 Fig. 5	アベマキ, アラカ ン, ミズナラの放 射組織 (0.5~0.9)	比動的ヤング 率一 pith か らの年輪数	片持曲げ振動 (L, R)	65% R.H.	25°C		無処理
D-263 Fig. 12	カラマツ	荷重一変位曲線 (繰返し)	片 持 曲 げ	25% m.c. (表層部)	(室外)	3 回	無処理
H-105 Fig. 1	Douglas-fir 酸化 Douglas-fir	比損失正接一FA 添加後の時間	縦 振 動	FA 添加~5 時間	72°C	35 Hz	硝酸酸化 無処理
H-105 Fig. 2	酸化 Douglas-fir	比損失正接の FA 添加後時間 に関する微分一絶対 温度の逆数	〃	〃	20~80°C	〃	硝酸酸化

文献	樹種	特性	応力または歪	含水率	温度	時間	処理
H-105 Fig. 3	GMA 注入 の spen	損失正接一重合開 始剤添加後の時間	〃	AIBN 添加~100分	90℃	〃	GMA 注 入処理
H-105 Fig. 4	〃	損失正接の対数一重合 開始剤添加後の時間	〃	〃	〃	〃	〃
J-9 Fig. 2	アカエゾマツ(0.37~0.48) クロエゾマツ(0.36~0.50) シトカスプルー(0.36~0.53)	比重, 動的弾性 率, 内部摩擦の ヒストグラム	一点支持曲 げ振動(L)	55~65% R.H.	23℃	400~700 Hz	無処理
J-9 Fig. 7	アカエゾマツ(0.41~0.46) クロエゾマツ(0.41~0.44) シトカスプルー(0.41~0.50)	樹高一比重, 動的 弾性率, 比動的弾 性率, 内部摩擦	〃	〃	〃	〃	〃
J-9 Fig. 4	〃	樹高一比重と動的弾性率, 比 重と内部摩擦, 比動的弾性率と内部摩擦の相 関係数	〃	〃	〃	〃	〃
K-97 Fig. 1	K-49Fig. 11 の一部に同じ						
K-97 Fig. 2	Fichte	音速, 放射減衰のヒストグ ラム(年輪構造による差)	片持曲げ 振動(L)				無処理
K-97 Fig. 3	〃	損失正接一周波数	〃			80~10000 Hz	〃
K-97 Fig. 6	Fichte (0.38~0.53)	動的ヤング率一平均年輪幅, 晩材率, 年輪幅 の標準偏差, 年輪幅の変動係数, 年輪幅の変 動量, 比重, 損失正接 音速一平均年輪幅の変 動量, 年輪幅の標準偏差(用途による差)	片持曲げ 振動(R)			30~3000 Hz	〃
K-97 Fig. 7, 8	〃	損失正接一埋波数 (用途による差)	〃			〃	〃
K-99 Fig. 2	Spruce (0.36~0.56)	動的ヤング率一比重 (響板用と一般用の差)	縦振動(L)	11~12% m.c.	20℃		無処理

温度依存性 (平衡)

文献	樹種	特性	応力または歪	含水率	温度	時間	処理
H-103 Fig. 2	yellow poplar (0.43, 辺材)	動的弾性率, 内 部摩擦一温度	二点支持曲げ 振動(L)	全乾	0~100℃		無処理
H-103 Fig. 5, 6	yellow poplar (0.41) 樹脂注入木材 (1.07, yellow poplar)	動的弾性率, 内部摩 擦一温度 (混合則との比較)	〃	〃	〃		エポキシ 樹脂注入
H-103 Fig. 9, 10	yellow poplar, 木材・樹脂積層体	動的弾性率, 内部摩擦 一温度混合則との比較	〃	〃	〃		エポキシ 樹脂積層

(e) 木質材料の動的粘弾性 補遺

歪, 応力依存性

文献	供試材	特性	応力または歪	含水率	温度	時間	処理
A-208 Fig. 2, 3	シトカスプルー(0.41) 合板/5, 6 ply, シトカ (スプルー, レッ ドメランチ)	動的弾性率, 損失正 接一木理角, 表板の 木理角 (単板構成による差)	二点支持曲げ振動 (木理角 0°~ 90°, 表板の木 理角 0°~90°)	7% m.c.			無処理 レゾルシ ノール樹 脂接着
A-208 Fig. 4~6	シトカスプルー(0.41) 合板/5, 6 ply, シトカ (スプルー, レッ ドメランチ)	動的弾性率, 損失正 接一周波数 (単板構成による差)	二点支持曲げ振動 (木理角 0°, 45°, 90°, 表板の木理 角 0°, 45°, 90°)	〃		50 Hz~10 kHz	〃
A-216 Fig. 7, 8	パーティクル ボード (三層, 0.63~ 0.68, スギ)	クリーフ比曲線 (表層パーティク ルの配向, 無配 向による差)	四点曲げ (応力28 ~33 kg/cm ²) 四点曲げ振動 (片 振り, 30 kg/cm ²)	65% R.H.	20℃	~120分 1 Hz	イソシアネ ート, ユリアホ ルムアルデヒ ド樹脂接着
D-267 Fig. 14 ~16	合板	動的弾性率, 曲げ 剛性, 横波伝達速 度一周波数 (表板 木理角による差)	二点支持曲げ振動 (表板木理角 0°, 45°, 90°)			150~2500 Hz	無処理
D-267 Fig. 18	〃	横波伝達速度一周波数 (表板木理角による差)	片持曲げ振動 (表板 木理角 0°, 45°, 90°)			1100~4000 Hz	〃

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
D-267 Fig. 19	〃	横波伝達速度(動的弾性率より計算)―実測横波伝達速度	二点支持曲げ振動―片持曲げ振動(表板木理角0°, 45°, 90°)			150~4000 Hz	〃
D-267 Fig. 23	〃	振幅一周波数	周辺固定たわみ振動			2000~12000 Hz	〃
D-267 Fig. 24	〃	振幅一試片中央部からの距離(周波数, 表板木理角による差)	〃			2000~5000 Hz	〃
H-106 Fig. 2	合 板 (5 ply, maple)	周波数パラメーター(計算値)―辺長比(境界条件による差, モード別)	板 振 動 (周辺固定, 二辺支持, 二辺固定, 周辺支持)				
K-96 Fig. 2	合 板 (3 ply, 表板, 0.95, 芯材, 0.70)	動的剪断弾性率×ねじり関数―断面辺長比(含水率, 方向による差)	振 り 振 動	0, 8, 16% m.c.			
K-96 Fig. 3	〃	動的剪断弾性率―断面辺長比方向, 計算法による差, 含水率別	〃	〃			
K-96 Fig. 4	〃	動的剪断弾性率―含水率(方向による差)	〃	0, 2, 4, 6, 8, 10, 13, 16% m.c.			
K-96 Fig. 5	〃	動的剪断弾性率比―含水率	〃	〃			

温度依存性 (平衡)

文献	供試材	特 性	応力または歪	含水率	温 度	時 間	処 理
H-103 Fig. 4	樹脂注入木材 (1.07~1.16, yellow poplar)	動的弾性率, 内部摩擦―温度(硬化剤量による差)	二点支持曲げ振動(L)	全 乾	0~100°C		エポキシ樹脂注入
H-103 Fig. 5, 6	yellow poplar (0.41), 樹脂注入木材 (1.07, yellow poplar)	動的弾性率, 内部摩擦―温度(混合則との比較)	〃	〃	〃		〃
H-103 Fig. 7	樹脂注入木材 (0.41, yellow poplar)	内部摩擦―温度(混合則との比較)	〃	〃	〃		〃
H-103 Fig. 9, 10	yellow poplar 木材・樹脂積層体	動的弾性率, 内部摩擦―温度	〃	〃	〃		エポキシ樹脂積層

(f) 木材の水分応力 補遺
膨 潤 - 応 力

文献	供 試 材	処 理 条 件	測 定		
			方 法	条 件	量
D-0151 Fig. 4~6, 8	積層材 (2 ply, ミズナラ)		数値計算	→5%の含水率増加	積層材接着界における主応力分布(ラミナ断面形状別)
D-0151 Fig. 7, 9	〃		〃	〃	積層材接着界面における剪断応力分布(ラミナ断面形状別)
K-039 Fig. 1	ブ ナ (Fagus silvatica L., 辺材, R)	γ線照射 (5×10 ⁶ rad), 全乾	歪拘束	→水中浸漬 20°C~120分	膨潤圧, 膨潤率, 含水率―時間
K-039 Fig. 2	〃	γ線照射 (0~3×10 ⁸ rad), 全乾	〃	〃	最大膨潤圧, 圧縮強度―線量
K-040 Fig. 2	Rotbuche (Fagus silvatica) (L., 0.67, R)	無処理, 25%アンモニア水溶液で1時間処理, 全乾	歪拘束	→水中浸漬 ~500分	膨潤圧―時間
K-040 Fig. 4	〃	全 乾	〃	→水中浸漬 ~500分 →25%アンモニア水中浸漬 ~100分	〃

文献	供試材	処理条件	測定		
			方法	条件	量
K-040 Fig. 5	Rotbuche (<i>Fagus silvatica</i>) (L., 0.67, R, T)	無処理, 25%アンモニア水溶液で1, 2, 4, 6, 12, 24時間処理, 全乾	〃	水中浸漬 ~48時間	最大膨潤圧, 48時間後の膨潤率に対する最大膨潤圧の発生した時点での膨潤率の比—アンモニア水溶液で処理した時間
K-040 Fig. 7	〃	〃	〃	〃	T方向最大膨潤圧—R方向最大膨潤圧 (他著者の結果を含む)

膨潤—外部変形歪

文献	供試材	処理条件	測定		
			方法	条件	量
A-072 Fig. 2	合板, 積層材 (3ply, カポール, 0.72, フェノール樹脂接着, ビニルウレタン樹脂接着)	25℃, 65% R.H. 調湿	板幅測定	減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) → 60℃~24時間 → 減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 9.5回繰返し	厚さ膨潤率—繰返し数
A-072 Fig. 3	合板, 積層材 (3ply, フェノール樹脂接着, ビニルウレタン樹脂接着, 単板(カポール, 0.72))	〃	〃	減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) → 60℃, ~24時間 → 減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 4.5回繰返し	長さ伸縮率—繰返し数 (表層単板の方向別)
A-072 Fig. 4	パーティクルボード (単層, フェノール樹脂接着)	〃	〃	減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) → 60℃, ~24時間 → 減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 9.5回繰返し	厚さ膨潤率—繰返し数 (小片形状, 配向無配向による差)
A-072 Fig. 5	〃	〃	〃	減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) → 60℃, ~24時間 → 減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 4.5回繰返し	長さ伸縮率—繰返し数 (配向無配向による差, 小片形状別)
A-072 Fig. 6	合板, 積層材 (3ply, カポール, 0.72, フェノール樹脂接着, ビニルウレタン樹脂接着, ビニルウレタン樹脂接着)	〃	〃	減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) → 60℃, ~24時間 → 減圧(~30分) 加压浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 9.5回繰返し	接着力残留率—繰返し数
A-072 Fig. 7, 8	パーティクルボード (単層, フェノール樹脂接着)	〃	〃	〃	内部結合力, 内部結合残留率—繰返し数
A-073 Fig. 3	ラクウショウ (<i>Taxodium distichum</i> , RICH, 0.38, R)	飽水 → マイクロ波加熱 ~2.5分 → 全乾 加压固定後室温で約3週間 続いて105℃で数時間乾燥	板幅測定	→ 32 → 60 → 76 → 39 → 100 → 93 → 76 → 60 → 32% R.H. → 全乾 → 飽水 → 全乾 → 飽水 16から99℃まで16段階各15分 飽水 99から16℃まで6段階各15分 飽水 → 全乾 100℃ ~ 2時間	セット歪—含水率

文献	供試材	処理条件	測定		
			方法	条件	量
I-086 Fig. 4	パーティクルボード (三層, 0.65, 0.66, T 尿素樹脂, フェノール樹脂, 尿素・ メラミン樹脂+フェノール樹脂接着)	〃	〃	〃	膨潤率一時間 (接着剤に よる差)
I-086 Fig. 5, 6	パーティクルボード, 三層, 0.65, 0.66, T, 尿素樹脂, フェノール樹脂, 尿素・メラ ミン樹脂+フェノール樹脂接着, ビニ ル樹脂・アクリル樹脂共重合体, 酢酸 ビニル樹脂+アクリル樹脂塗装	〃	〃	〃	膨潤率一時間 (接着剤に よる差, 塗装の種 別)

乾燥一応力

文献	供試材	処理条件	測定		
			方法	条件	量
K-041 Fig. 2	Fichte (<i>Picea excelsa</i> L.)	生材	スライス 法より計 算	→ 10% m.c. → 人工乾燥 後処理~24時間	厚さ方向の応 力分布後処理 時間による差

乾燥一外部変形歪

文献	供試材	処理条件	測定			
			方法	条件	量	
A-072 Fig. 2	合板, 積層材 (3 ply, カポール, 0.72, フェノール樹脂接着, ビニ ルウレタン樹脂接着)	25°C, 65% R.H. 調湿	板幅 測定	減圧 (~30分) 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間)	→ 60°C, ~24時間 → ← 減圧(~30分) → 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 9.5回繰返し	厚さ膨潤率 一繰返し数
A-072 Fig. 3	合板, 積層材 (3 ply, フェノール樹脂接着, ビニルウレタン樹脂接着) 単板(カポール, 0.72)	〃	〃	減圧 (~30分) 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間)	→ 60°C, ~24時間 → ← 減圧(~30分) → 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 4.5回繰返し	長さ伸縮率 一繰返し数 (表層単板 の方向別)
A-072 Fig. 4	パーティクルボード (単層, フェノール樹脂接着)	〃	〃	減圧 (~30分) 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間)	→ 60°C, ~24時間 → ← 減圧(~30分) → 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 9.5回繰返し	厚さ膨潤率 一繰返し数 (小片形状 配向無配 向による 差)
A-072 Fig. 5	〃	〃	〃	減圧 (~30分) 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間)	→ 60°C, ~24時間 → ← 減圧(~30分) → 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 4.5回繰返し	長さ伸縮率 一繰返し数 (配向無配 向による 差, 小片 形状別)
A-072 Fig. 6	合板, 積層材 (3 ply, カポール, 0.72, フェノール樹脂接着, ビニ ルウレタン樹脂接着)	〃	〃	減圧 (~30分) 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間)	→ 60°C, ~24時間 → ← 減圧(~30分) → 加圧浸漬 (3 kg/cm ² , ~1時間) 9.5回繰返し	接着力残留 率一繰返し 数
A-072 Fig. 7, 8	パーティクルボード (単層, フェノール樹脂接着)	〃	〃	〃	〃	内部結合力, 内部結合残留 率一繰返し 数

文 献	供 試 材	処 理 条 件	測 定			
			方 法	条 件	量	
A-073 Fig. 3	ラクウシヨウ (<i>Taxodium distichum</i>) RICH, 0.38, R	飽水→ マイクロ波加熱, ~25分 →全乾 加圧固定 後室温で 約3週間, 続いて105 ℃で数時 間乾燥	板幅測定	→ 32 → 60 → 76 → 93 → 100 → 93 → 76 → 60 → 32% R.H. → 全乾 → 飽水 → 全乾 → 飽水 16から99℃まで16段階各15分 飽水 99から16℃まで6段階各15分 飽水 → 全乾 100℃, ~2時間	セット盃 含水率	
A-073 Fig. 4	ラクウシヨウ (<i>Taxodium distichum</i>) RICH, 0.38, R ヤチダモ (<i>Fraxinus mandshurica</i>) RUPR. var. japonica MAXIM, 0.64, R ブナ (<i>Fagus crenata</i> BL., 0.72, R)	〃	〃	→ 32 → 60 → 76 → 93 → 100 → 93 → 76 → 60 → 32% R.H. → 全乾 → 飽水 → 全乾 → 飽水 16から99℃まで16段階各15分 飽水 99から16℃まで6段階各15分 飽水 → 全乾 100℃, ~2時間 マイクロ波照射 → 全乾	セット回 復歪一初 期歪	
B-068 Fig. 3, 4	ラジャータパイン (<i>Pinus radiata</i> D. DON)	湿球 70 80℃ 乾球 115 80℃ 栈木に1000 kg/cm ² 負荷 ~24 ~4時間	〃	〃	〃	縦ぞり, ね じれ一年輪 傾角 (丸太の部 位別)
B-068 Fig. 5, 6	〃	〃	〃	〃	〃	縦ぞり, ね じれ一年輪 傾角, 最大節径, 心材率の 合計値(丸太の部位別)
B-071 Fig. 1	合板, LVL, 3 ply, カボール, //, ⊥, 尿 素樹脂, 尿素樹脂+イソソ アネート樹脂接着	25℃, 65% R.H. 調湿	板幅測定	60℃, ~24時間 減圧 → 減圧 (~0.5時間) (~0.5時間) 加圧浸漬 加圧浸漬 (3 kg/cm ² ,) (3 kg/cm ² ,) (~1時間) (~1時間) 4.5回繰返し	長さ膨潤率 繰返し数 (イソソア ネート樹 脂の有無 による差)	
D-0154 Fig. 2	合板, パーティクルボード, ハードボード	外側と内側の湿 度差 ΔH=0% R.H.	矢高測定	ΔH=40% R.H., ~24時間 ← ΔH=0% R.H., ~24時間 5回繰返し → ΔH=60 40 0 40 0% R.H. ~2 ~7 ~7 ~7 ~2日	弓反り一時 間 (試料厚さ による 差, 試料 別)	
D-0154 Fig. 4	フラッシュ扉 (枠材: スギ, 面材: 合板, 3 ply)	〃	〃	ΔH=30~55% R.H., ~24時間 ← ΔH=0% R.H., ~24時間 6回繰返し → ΔH=30~55% R.H., ~2日 ← ΔH=0% R.H., ~2日 4回繰返し	弓反り一時 間 (横棧の有 無による 差)	
D-0154 Fig. 5, 6	市販扉 (コア: パーティクルボード, 合 板, フラッシュ, フェイスバ ック: 合成樹脂シート, 合板)	〃	〃	ΔH=40% R.H., ~7日 ← ΔH=0% R.H., ~7日	弓反り一時 間 (試料構成 による差)	

文献	供試材	処理条件	測定		
			方法	条件	量
D-0154 Fig. 7	合板	"	"	△m=30~60%R.H.	弓反り一外側と内側の湿度差(試料厚さによる差)
D-0154 Fig. 8	合板,パーティクルボード,ハードボード	"	"		外側と内側の単位湿度差当りの弓反り一試料厚さ
D-0154 Fig. 9	扉 コア:フラッシュ, フェイスバ ック:合板, 合成樹脂シート	"	"	扉中空部の湿度 40 → 90%R.H.	弓反り, 扉中空部の湿度一時間
D-0155 Fig. 10	ヒノキ (<i>Chamaecyparis obtusa</i>) (SIEB et Zucc, T)	無処理材, 連鎖移動 剤添加 MMA, PE GMA メタノール溶 液注入処理材を全乾	測定	20℃, 93%R.H. → 20℃, P ₂ O ₅ 乾燥 2.5回繰返し	膨潤率一繰返し数 PEGMA モル分 率による差, 連鎖 移動剤添加率別
I-085 Fig. 5, 6	Eiche (<i>Quercus robur</i> L., R) Buche (<i>Fagus sylvatica</i> L., R) Birke (<i>Betula verrucosa</i> Ehrh., R) Kirsche (<i>Prunus avium</i> L., R)	生材		20℃ 86%R.H. → 20℃, 65%R.H.	収縮率一 立木からの採取時 期
I-086 Fig. 1~3	パーティクルボード (三層, T, 尿素樹脂, フェノ ール樹脂, 尿素・メラミン樹 脂+フェノール樹脂接着, ア ルキド樹脂, ビニル樹脂・ア クリル樹脂共重合体, 酢酸ビ ニル樹脂+アクリル樹脂塗装)	20℃, 65% R.H. 調湿	板幅測定	屋外放置 ~5年	膨潤率一時間 (塗装の有 無, 塗装 の種類に よる差, 接着剤別)
I-086 Fig. 4	パーティクルボード (三層, 0.65, 0.66, T 尿素樹脂, フェノール樹脂, 尿素・ メラミン樹脂+フェノール樹脂接着)	"	"	"	膨潤率一時間 (接着剤に よる差)
I-086 Fig. 5, 6	パーティクルボード 三層, 0.65, 0.66, T 尿素樹脂, フェノール樹脂, 尿素・メ ラミン樹脂+フェノール樹脂接着, ニル樹脂・アクリル樹脂共重合体, 酢 酸ビニル樹脂+アクリル樹脂塗装	"	"	"	膨潤率一時間 (接着剤に よる差, 塗装の種 類別)

乾燥—内部残留歪

文献	供試材	処理条件	測定		
			方法	条件	量
D-0153 Fig. 24	ミズナラ (<i>Quercus crispula</i>) (BLUME, T)	生材	スライ ス法	人工乾燥 →10% m.c. 乾球45~80℃乾湿球差2~30℃ ~14日 太陽熱利用乾燥 →10% m.c. ~30日	伸縮歪, 含水 率の試片厚さ 方向分布(人 工乾燥と太陽 熱利用乾燥と の比較)

乾燥—割れ コラツプス

文献	供試材	処理条件	測定		
			方法	条件	量
B-069 Fig. 6	ミズナラ (<i>Quercus crispula</i> BLUME)	生材	計数 測長	人工乾燥 乾球40~90℃乾湿球差2~15℃	割れ発生の程度, 割れやすさと乾燥 条件の関係
D-0152 Fig. 5	カラマツ (<i>Larix kaempferi</i>)	30% CSF 処理生材	測長	→10% m.c.	割れ長さ 一末口径
E-0176 Fig. 1	red oak (<i>Quercus rubra</i>)		AE法		乾燥割れ 発生経過
K-95 Fig. 1			E-0176 Fig. 1 に同じ		

(g) 木材の生長応力 補遺
 応 力

文 献	樹 種	樹 歴	測 定		
			方 法	条 件	量
D-0016 Fig. 3	アカマツ (<i>Pinus densiflora</i>) (SIEB. et ZUCC., L.)	正 常 材 (22年生, 胸高径 12cm, 樹高 9.8 m) 巻枯 1 材 (22年生, 胸高径 16 cm, 樹高 9.6 m, 4ヶ月処理) マツノザイセンチュウ接 種材22年生, 胸高径 12 cm, 樹高 10.5 m, 4ヶ 月間処理	伸縮歪 測 定	伐倒後, 内部より順次薄層 除去	生長応力の R方向分布

内部残留歪

文 献	樹 種	樹 歴	測 定		
			方 法	条 件	量
D-0016 Fig. 2	アカマツ (<i>Pinus densiflora</i> SIEB.) (et ZUCC., L.)	立 木 (22年生, 胸高径 (12, 14, 16 cm, 樹高 9.6, 9.8 m)	伸縮歪 測 定		表面生長歪 —経過日数

文 献

粘 弾 性 補 遺

日 本

- 森光 正, 伏谷賢美, 脇谷慶之, ヒノキ材における破壊たわみのばらつきに關与する因子, 木材誌, 29, 361 (1983) A-215
- 佐藤敬一, 野口昌巳, 伏谷賢美, 数種の荷重様式において発生する木材のアカコースティック・エミッションの特性, 木材誌, 29, 409 (1983) A-214
- 外崎真理雄, 岡野 健, 浅野猪久夫, 縦振動およびたわみ振動によるシトカスプールの振動特性, 木材誌, 29, 547 (1983) A-209
- 中尾哲也, 岡野 健, 浅野猪久夫, 木材の損失正接におよぼす熱処理の影響, 木材誌, 29, 657 (1983) A-210
- 林 知行, 佐々木光, 冬木敏夫, メタルプレートコネクターを用いた LVL 継手の疲労特性に及ぼす突付け間隙の影響, 木材誌, 29, 663 (1983) A-211
- 関野 登, 鈴木正治, イソシアネートによって結合された配向性パーティクルボードの膨潤とクリープ, 木材誌, 30, 17 (1984) A-216
- 林 知行, 佐々木光, メタルプレートコネクターを用いた木材継手の疲労損傷, 木材誌, 30, 23 (1984) A-212
- 祖父江信夫, 中野晴之, 浅野猪久夫, 楽器用スプールの振動特性, 木材誌, 30, 93 (1984) A-208
- 徳田迪夫, メタルプレートコネクターで構成されたトラスへの LVL の利用に關する研究, 木材誌, 30, 139 (1984) A-213
- 野口昌巳, 木材とアカコースティック・エミッション, 木材工業, 39, 14 (1984) B-69
- 則元 京, マイクロ波加熱による木材の曲げ加工, 木材工業, 39, 319 (1984) B-70
- 平井信之, 祖父江信夫, 浅野猪久夫, 放射組織の結晶配向度と弾性および圧電性, 静岡大学農学部研究報告, No. 33, 57 (1983) D-261
- 杉本吉正, 丸山則義, 有馬孝礼, 岡崎 光, 使用環境下の棚板のクリープ試験, 静岡大学

- 農学部研究報告, No. 33, 71 (1983) D-260
- 野橋健三, 大石件次, 神長邦雄, 伊藤久志, マイクロ波による曲げ木加工の研究 (第2報),
曲げ木に及ぼす二三の処理効果, 静岡県工業試験場報告, No. 28, 13 (1984) D-258
- 藤田修身, 家具用棚板のクリープに関する研究 (第2報), パーティクルボードを芯材とし
たフラッシュパネル, 静岡県工業試験場報告, No. 28, 53 (1984) D-259
- 丸山 武, 伊藤勝彦, 工藤 修, 森 泉周, 宮野 博, I ポールコンストラクションに
よる実大建物の水平加力試験, 林産試験場研究報告, No. 72, 124 (1983) D-265
- 森 泉周, 伊藤勝彦, 米田昌世, 工藤 修, 丸山 武, 宮野 博, 長谷川雅浩, II ポー
ルの水平加力試験, 林産試験場研究報告, No. 72, 135 (1983) D-263
- 工藤 修, 伊藤勝彦, 宮野 博, 丸山 武, 森 泉周, III 小屋組トラスの試験, 林産試
験場研究報告, No. 72, 158 (1983) D-264
- 堀江秀夫, 倉田久敬, フィンガー・ジョイント材 (F・J材) の強度性能 (第4報), 量産
実大フィンガージョイント材の欠点除去基準と強度性能, 北林産試月報, No. 381, 14
(1983) D-262
- 金谷紀行, ネイルプレートを用いた接合部の強度性能, 材料, 32, 922 (1983) D-268
- 小泉章夫, 上田恒司, 2層釘着梁の曲げ変形と耐力, 北海道大学農学部演習林研究報告,
41, 261 (1984) D-266
- アメリカ
- WELLONS, J.D., R.L. KRAHMER, M.D. SANDOE and R.W. JOCKERST, Thickness loss in
hotpressed plywood, Forest Prod. J., 33, No. 1, 27 (1983) E-106
- ATHERTON, G.H., Ultimate strength of structural particleboard diaphragms, Forest
Prod. J., 33, No. 5, 22 (1983) E-107
- HEARMON, R.F.S., The frequency of flexural vibration of rectangular orthotropic plates,
with clamped or supported edges, J. Applied Mechanics, 26, 537 (1959) H-106
- MOORE, G.R., D.E. KLINE and P.R. BLANKENHORN, Dynamic mechanical properties
of epoxy-poplar composite materials, Wood and Fiber Science, 15(4), 358 (1983) H-103
- MUKUDAI, J., Evaluation of linear and non-linear viscoelastic bending loads of wood
as a function of prescribed deflections, Wood Science and Technology, 17, 203 (1983) H-104
- SUBRAMANIAN, R.V. and R. HOFMANN, Study of the kinetics of in situ polymerization
in wood by dynamic mechanical measurements, J. Polymer Science, Polymer Letters,
21, 105 (1983) H-105
- ONO, T., On dynamic mechanical properties in the trunks of woods for musical instru-
ments, Holzforschung, 37, 245 (1983) J-9
- ドイツ
- RAJACAN, E., Some differences in physico-acoustic characteristics of "resonant" and
Standard spruce wood, Acustica, 48, 58 (1981) K-99
- NIEMZ, P., M. WAGNER und K. THEIS, Stand und Mödlichkeiten der Anwendung der
Schallemissionsanalyse, Holztechnologie, 24, 91 (1983) K-95
- OLSZEWSKI, J. und K. STRUK, Einfluß der Feuchtigkeit auf die richtungsorientierten
dynamischen Schubmoduln einer Spanplatte, Holztechnologie, 24, 165 (1983) K-96
- HOLZ, D., Über einige Zusammenhänge zwischen forstlich-biologischen und akustischen
Eigenschaften von Klangholz (Resonanzholz), Holztechnologie, 25, 31 (1984) K-97
- KNOLL, K.H., H.J. DEPPE und R. GILL, Ergänzende Untersuchungen zur Verwendung
von Altpapier und Müll-Faserleichtfraktionsmaterial bei Erzeugung von Spanplatten-
deckschichten, Holzforschung und Holzverwertung, 36, 32 (1984) K-98
- イギリス
- ARMSTRONG, L.D., Mechanical-sorptive deformations in collapsible and non-collapsible
species of wood, J. Institute of Wood Science, 9, 206 (1983) O-21

水分応力 補遺

日 本

- 齊藤藤市, 鈴木清文, LVL, 配向パーティクルボードの接着耐久性, 木材誌, **29**, 688 (1983) A—072
- 飯田生穂, 則元 京, 今村祐嗣, 圧縮セットの水分・熱回復, 木材誌, **30**, 354 (1984) A—073
- 服部芳明, 寺沢 真, 最近の落ち込みの情報, 木材工業, **38**, 370 (1983) B—069
- 三城昭義, ニュージーランド産ラジアタパインの狂い, 木材工業, **39**, 177 (1984) B—068
- 齊藤藤市, 池田正行, 鈴木清文, 木質材料の接着性能と内部応力, 木材工業, **39**, 336 (1984) B—071
- 棕代純輔, 積層材の含水率変化によって生じる内部応力の解析, 京都府立大学学術報告, No. 35, 1982 (1983) D—0151
- 信田 聡, 千葉宗昭, 奈良直哉, カラマツ丸太の CSF 処理乾燥, 低温スケジュールによる人工乾燥, 北林産試月報, No. 382, 1 (1983) D—0152
- 野呂田隆史, 千葉宗昭, 奈良直哉, 太陽熱利用木材乾燥に関する研究, 林産試験場研究報告, No. 72, 95 (1983) D—0153
- 往西弘次, 後藤輝男, 官能性オリゴマーとメタクリル酸メチルによる木材の寸法安定化, 材料, **32**, 904 (1983) D—0155
- 有馬孝礼, 丸山則義, 早村俊二, 岡崎 光, キッチンキャビネット用木質系扉の湿度変動下の反り, 材料, **32**, 910 (1983) D—0154

アメリカ

- SKAAR, C., W.T. SIMPSON and R.M. HONEYCUTT, Use of acoustic emissions to identify high levels of stress during oak lumber drying, Forest Prod. J., **30**, No. 2, 21 (1980) E—0176
- SNELGROVE, T.A. and S. ERNST, Veneer recovery from live and dead lodgepole pine, Forest Prod. J., **33**, No. 6, 21 (1983) E—0173
- WARD, J.C. and D.A. GROOM, Bacterial oak: drying problems, Forest Prod. J., **33**, No. 10, 57 (1983) E—0175
- ERICKSON, R.W., H.D. PETERSON and T.D. LARSON, Obtaining uniform final moisture content in the high temperature drying paper birch flitches, Forest Prod. J., **34**, No. 2, 27 (1984) E—0174

ド イ ツ

- BRUMESTER, A., Veränderung von Holzfeuchtigkeit, Dichte und Schwindung bei Laubhölzern durch jahreszeitlich bedingte Einflüsse, Holz als Roh- und Werkstoff, **41**, 493 (1983) I—085
- MEIERHOFER, U. und J. SELL, Untersuchungen zur Optimierung des Oberflächenschutzes von Holzbauteilen, Teil3: Bewitterungsversuche an Spanplattenabschnitten, Holz als Roh- und Werkstoff, **41**, 449 (1983) I—086
- RACZKOWSKA, L.H. und J. RACZKOWSKI, Einfluß der Vorbehandlung mit wäßriger Ammoniaklösung auf den Quellungsdruck von Holz, Holztechnologie, **24**, 227 (1983) K—040
- DURISOVA, V., Einfluß der Nachbehandlung auf die Qualität von getrocknetem Holz, Holztechnologie, **25**, 23 (1984) K—041
- RACZKOWSKA, L.H., Einfluß der Vorbehandlung mit Gammastrahlen auf den Quellungsdruck von Holz, Holztechnologie, **25**, 74 (1984) K—039

生長応力 遺補

日 本

- 大迫靖雄, 木方洋二, 奥山 剛, アカマツの枯死過程における生長応力, 材料, **32**, 899 (1983) D—0016

粘弾性

SCHMIDT, R., Dämpfungsmessung an Schallwellen in festen Körpern, Ing. -Arch., 5, 352 (1934).	K-3	II
南 義夫, 木材の長時間曲げ試験, 航研彙報, No. 136, 1090 (1935).	D-76	I
DRAFFIN, J.O. and C.W. MUHLENBURCH, The mechanical properties of balsa wood. Proc. Am. Soc. Test Materials, 37, 582 (1937).	H-1	I
GEMANT, A. and W. JACKSON, Measurement of internal friction in some solid dielectric materials, Phil. Mag., 23, 960 (1937).	N-1	II
PALLAY, N., Über die Holzhärteprüfung, Holz als Roh- und Werkstoff, 1, 126 (1938).	I-120	VI
GRAF, O., Dauerversuche mit Holzverbindungen, Holz als Roh- und Werkstoff, 1, 266 (1938).	I-124	VI
THUM, A. und H.R. JACOBI, Die Biegefestigkeit von stahlbewehrtem Panzerholz, Holz als Roh- und Werkstoff, 1, 335 (1938).	I-121	VI
KRÜGER, F. und E. Rohloff, Über die innere Reibung von Holz, Z. f. Phys., 110, 58 (1938).	K-4	II
RIECHERS, K., Versuche an Kunststoffen für den Flugzeugbau, Z. VDI, 28, 665 (1938).	K-5	II
南 義夫, 木材の長時間引張実験, 航研彙報, No. 174, 23 (1939).	D-77	V · I
枝和四郎, 有吉常記, 吉村勝夫, プロペラ用材マホガニーの疲労限度に就て, 日航誌, 6, 1256 (1939).	D-103	II
南 義夫, 木材の疲に関する実験的研究, 日航誌, 7, 1025 (1940).	D-104	II
谷 安正, 木材の内部粘性の含水量による影響, 応用物理, 9, 372 (1940).	D-79	II
ROHLOFE, E., Über die innere Reibung und die Strahlungsdämpfung von Geigen, Annalen der Physik, 38, 177 (1940).	K-56	XII
長沢武雄, 中原 蝶, 航空機用木材の物理的性質 (第1報), 九大農学報, 9, 417 (1941).	D-80	II
長沢武雄, 木材弾性率の測定法, 日林講, (1941).	D-81	II
THUNELL, B., Über die Elastizität schwedischen Kiefernholzes, Holz als Roh- und Werkstoff, 4, 15 (1941).	I-119	VI
KÜCH, W., Zeit-Dauerfestigkeit von Lagenhölzern, Holz, R.W., 5, 69 (1942).	I-77	II
NORRIS, C.B. and W.J. KOMMERS, Plastic flow properties of two yellow birch plywood plates under constant shear stress. U.S.F.L. Rep., No. 1324, (1943).	F-4	I
FULLER, F.B. and T.T. OBERG, Fatigue characteristics of natural and resin-impregnated, compressed, laminated woods, J. Aero. Sci., 10, 81 (1943).	H-6	III
竹山謙三郎, 木材並びに接手の匍匐に関する予備実験 (第一報), マツ材の長期曲げ試験, 日本建築学会論文集, No. 33, 16 (1944).	D-73	I
CAMPREDON, J., Etude des Déformations du Bois sous l'influences des charges Permanentes. Part I, Bull. Tech., Service central d'Essais des Bois et Laboratoires de l'Inst National du Bois, 2 (1945).		I
KOMMERS, W.J., Effect of the repetitions of stress on the bending and compressive strengths of Sitka spruce and Douglas-fir, USDA Forest Service Research Paper, FPL 1320, (1943).	F-13	XIV
HEARMON, R.F.S., The fundamental frequency of vibration of rectangular wood and plywood plates, Proc. Phys. Soc. London, 58, 78 (1946).	N-2	II
鈴木 寧, 木材の匍匐変形の研究 (第一報), 片持梁の撓匍匐と負荷時間応力との関係, 木材工業, 2, No. 8 (1947).	B-4	I
秋山 朗, 木材の振動並びに音響学的性質に就いて, 東大理工研報, 1, 38 (1947).	D-82	II
WOOD, L.W., Behavior of wood under continued loading. Eng. News-Record, 804 (1947).	H-1	I
KITAZAWA, G., Relaxation of wood under constant strain (A study of the visco-elastic property of wood), New York State College of Forestry Techn. Publ., No. 67 (1947).	H-12	VIII
HEARMON, R.F.S., The elasticity of wood and plywood, Forest Prod. Res. Spec. Rep., No. 7, (1948).	L-1	II

南 義夫, 木材の匍匐的性質 (1), 木材工業, 4, 156 (1949).	B-16	I
南 義夫, 木材の匍匐的性質 (2), 木材工業, 4, 222 (1949).	B-17	I
鈴木 寧, 木材のクリープと含水率の関係, 林学会誌, 31, 188 (1949).	A-2	I
久田俊彦, 木材の長期荷重に対する強度並に断面欠損の影響, 日本建築学会研報, 9, 81 (1949).	D-106	II
竹山謙三郎, 久田俊彦, 竹之内清次, 木構造の長期強度について, 建築学会論文集, No. 39, 18 (1949).	D-150	VIII
KENNEDY, D.E., Some problems in the design and performance of laminated wood trusses, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 3, 307 (1949).	E-63	VI
ALEXANDER, J.B., Basic stresses for wood, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 3, 344 (1949).	E-50	VI
DIETZ, A.G.H., Short time creep tests on Douglas fir. Proc. For. Prod. Res. Soc., (1949).	H-	I
DOSOUDIL, A., Dauerfestigkeit der verdichteten Hölzer, Z. VDI, 91, 85 (1949).	K-6	II
KOLLMANN, F. und A. DOSOUDIL, Holzfaserplatten, Ihre Eigenschaften und Prüfung, mit besonderer Berücksichtigung der Dauerfestigkeit, VDI-Forschungsheft, No. 426, I (1949).	K-20	V
KINGSTON, R.S.T., Creep in initially green beams. C.S.I.R.O., Prog. Rep. No. 1, (1949).	P-11	I
NARAYANAMURTI, D. and B.N. PRASAD, The damping capacity of some Indian timbers J. Aero. Soc. Ind., 1, 30 (1949).	W-4	XVI
南 義夫, 硬化積層材の疲労強度, 木材工業, 5, 175 (1950).	B-45	II
FUKADA, E., The vibrational properties of wood I, J. Phys. Soc. Japan, 5, 321 (1950).	D-83	II
深田栄一, ピアノ響板用木材の振動的性質, 科学, 20, 568 (1950).	D-84	II
深田栄一, 木材の振動的性質 I, 応用物理, 19, 130 (1950).	D-85	II
KITAZAWA, G., Nondestructive testing for forest products, Proc. Forest Prod. Res. Soc. 4, 191 (1950).	E-48	VI
FUKADA, E., Vibrational study of the wood used for the sound boards of pianos, Nature, 166, 772 (1950).	O-4	II
FUKADA, E., The vibrational properties of wood II, J. Phys. Soc. Japan, 6, 417 (1951).	D-86	II
深田栄一, 楽器用木材の振動的性質, 小林理研報告, 1, 180 (1951).	D-87	II
深田栄一, 疲労による木材の振動損失の変化, 小林理研報告, 1, 278 (1951).	D-88	II
深田栄一, 木材の振動的性質, 小林理研報告, 1, 21 (1951).	D-89	V · II
深田栄一, 楽器用木材の振動的性質, 日本音響学会誌, 7, 49 (1951).	D-163	X
WOOD, L.W., Relation of strength of wood to duration of load, U.S. FPL. Rep., No. 1916, (1951).	E-14	II
MACDONALD, M.D., The compression of Douglas fir veneer during pressing, J. Forest Prod. Res. Soc., 1, 103 (1951).	E-46	VI
LEWIS, W.C., Fatigue of wood and glued joints used in laminated construction, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 5, 221 (1951).	E-68	VII
NARAYANAMURTI, D., N.C. JAIN und G.M. VERMA, Quantitative Studien über den Festigkeitsverlust von Holz bei Fäulnis und Entwicklung eines Prüfverfahrens auf natürliche Dauerhaftigkeit und Giftwirkung, Holz als Roh- und Werkstoff, 9, 334 (1951).	I-108	V
KINGSTON, R.S.T. and L.D. ARMSTRONG, Creep in initially green wooden beams. Aust. J. Appl. Sci., 2, 306 (1951).	P-12	I
BARNARD-BROWN, E.H. and R.S.T. KINGSTON, Effect of temperature and grain orientation on strength properties of wood in tension perpendicular to grain. C.S.I.R.O., Div. For. Prod. Proj. T.P. 10-3, (1951).	P-13	I
NARAYANAMURTI, D. and N.C. JAIN, The damping capacity of some Indian timbers: II-Logarithmic decrement in flexure, J. Aero. Soc. Ind., 3, 79 (1951).	W-5	XVI
鈴木 寧, 日林講, 61, 210 (1952).	D-90	II
大草克巳, 木材のヤング率及び撓み匍匐と温度との関係, 島根農専研報, 2, 15 (1952).	D-91	II
杉山英男, 木材の振動強度に関する実験的研究 (第4報), 動的試験において $\alpha=70\%$ (載荷荷重が静的破壊強度の7割) の場合, 特にその初回目の動的試験結果について,		

建築学会研究報告, No. 19, 1 (1952).	D-148	VIII
杉山英男, 木材の振動強度に関する実験的研究 (第5報), 動的試験において $\alpha=60\%$ (載荷荷重が静的破壊強度の6割) の場合, 初回目に破壊しないが, この時の実験結果について, 建築学会研究報告, No. 20, 63 (1952).	D-153	VII
KITAZAWA, G., Young's modulus of elasticity of small wood beams by dynamic measurements, F.P.J., 2, 228 (1952).	E-19	II
WINTER, H. und I. DASKALOFF, Festigkeitseigenschaften und elastisches Verhalten von Buche, Holz als Roh- und Werkstoff, 10, 6 (1952).	I-122	VI
KOLLMANN, F., Über die Abhängigkeit einiger mechanischer Eigenschaften der Hölzer von der zeit, von Kerben und von der Temperatur — Erste Mitteilung: Der Einfluß der Zeit auf die mechanischen Eigenschaften der Hölzer, Holz als Roh- und Werkstoff, 10, 187 (1952).	I-76	I
NORÉN, B., The measurement of strain and creep in wood. Svenska T.T.A., 29B (1952).	T-3	I
南 義夫, 木材の匍匐と歪の回復, 木材工業, 8, 67 (1953).	B-23	I
深田栄一, 木材の振動的性質, 木材工業, 8, 152 (1953).	B-44	II
MINAMI, Y., Compressive creep test on wood. Bulletin of eng. Yokohama National Univ., 2, 23 (1953).	D-78	I
ALEXANDER, J.B., Wood piles-specifications and mechanics, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, No. 2, 62 (1953).	E-49	VI
KELLCUTT, K.Q. and E.F. LANDT, Basic design data for solid fiberboard shipping containers, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, No. 5, 90 (1953).	E-47	VI
ELLWOOD, E.L., Properties of beech in tension perpendicular to the grain and their relation to drying, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, 202 (1953).	E-046	V
WINTER, H. und G. KALISKE, Untersuchungen an einem Kaseinkaltleim, Holz als Roh- und Werkstoff, 11, 311 (1953).	I-123	VI
HIGGINS, H.J., Factors influencing the plastic deformation of timber and plywood in compression. Anst. J. Appl. Sci., 4, 84 (1953).		I
ARMSTRONG, L.D., Short term creep tests on air-dry wooden beams. C.S.I.R.O., Div. For. Prod. Proj. T.P. 16-1, Prog. Rep. No. 2 (1953).	P-10	I
ARMSTRONG, L.D., Short term creep on air-dry wooden beams. C.S.I.R.O., Prog. Rep. No. 2, (1953).	P-15	I
KHUKHRYANSKII, P.N., Relaxation and creep of natural and densified wood under compression. Trudy Inst. Lesa, Akad. Nauk. S.S.S.R., 9, 337 (1953), C.S.I.R.O., Trans. No. 4802.	Q-3	I
あるいは Relaxation and "Aftereffect" in natural wood and presswood under compression. P.S.T. Cat. No. 166.	Q-3'	I
PTACNIK, E., Experimentelle Prüfung der inneren Reibung von Holz, Acta Physica Austriaca, 8, 28 (1953).	Z-8	XVI
北原覚一, 蕪木自輔, 村木正男, 木材の圧縮に関する研究, 東京大学農学部演習林報告, No. 47, 1 (1954).	D-220	XVII
杉山英男, 田村孝之, 加賀屋靖, 河田道彦, 曲げを受ける木材のクリープ変形に関する実験的研究, 日建研報, No. 26, (1954).	D-68	I
杉山英男, 田村孝之, 加賀屋靖, 河田道彦, 木材の曲げ塑性変形に関する実験的考察—クリープ現象の理論化への予備的実験として—, 日建研報, No. 26, (1954).	D-69	I
山田 正, 梶田 茂, 木材の吸湿 (第4報), 木材研究, No. 13, 224 (1954).	D-73	I
KITAZAWA, G., Some non-destructive tests for wood, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 18 (1954).	E-51	VI
ELLWOOD, E.L., Properties of American beech in tension and compression perpendicular to the grain and their relation to drying. Yale Univ. School of Forestry Bull., No. 61, (1954).	H-02	I
GROSSMAN, P.U.A., Stress relaxation in wood. Nature, 173, 42 (1954).	O-1	I
GROSSMAN, P.U.A. and R.S.T. KINGSTON, Creep and relaxation in wood during bending.		

Aust. J. Appl. Sci., 5, 403 (1954).	P-16	I
GROSSMAN, P.U.A. and R.S.T. KINGSTON, Creep in tension and compression. The influence of stress on creep. C.S.I.R.O., Div. For. Prod. Proj. T.P. 16-2, Prog. Rep. No. 1, (1954).		I
小原二郎, 岡本 一, 木材の老化に関する研究 (第17報), 加熱処理による曲げヤング率の増加, 木材誌, 1, 80 (1955).	A-112	IX
杉山英男, 他4名, 木造梁のクリープに及ぼす荷重方法の影響に就て, 日建研究, No. 32, — (1955).	D-70	I
杉山英男, 他4名, 外気条件に於ける木造梁の曲げクリープ特性の実験式, 日建研報, No. 32, 57 (1955).	D-71	I
KOHARA, J. and H. OKAMOTO, Studies of Japanese old timber, 西京大学報, 農, No. 7, 9 (1955).	D-161	IX
KOMMERS, W.J., The fatigue behavior of wood and plywood subjected to repeated and reversed bending stresses, U.S. Forest Prod. Lab. Report No. 1327 (1955).	F-9	VIII
JAYNE, B.A., A non-destructive test of glue bond quality, F.P.J., 5, 294 (1955).	E-20	II
COOKE, W.H. and R.G. FRASHOUR, Resin application in attrition-mill type particle board, Forest Prod. J., 5, 214 (1955).	E-52	VI
STONE, J.E., The rheology of cooker wood. Tappi, 38, 452 (1955).	G-3	I
SEKHAR, A.C., Untersuchungen über die Zähigkeit von Hölzern — Zweite Mitteilung: Die Abhängigkeit des Dämpfungs- und Rückprallfaktors von der Stützweite, der Probenbreite und Probendicke beim Schlagbiegeversuch mit dem Hatt-Turner-Fallwerk, Holz als Roh- und Werkstoff, 13, 338 (1955).	I-126	VI
PENTONEY, R.E., Effect of moisture content and grain angle on the internal friction of wood, Comp. Wood, 2, 131 (1955).	W-2	II
GROSSMAN, P.U.A. and R.S.T. KINGSTON, Superposition tests. C.S.I.R.O., Div. For. Prod., Prog. Rep. No. 1, (1955).		I
大草克巳, 林 昭三, 応力を受けている木材の収縮, 膨潤 (第1報), 圧縮応力, 木材誌, 2, 5 (1956).	A-38	II
北原覚一, 岡部 登, 木材の曲げクリープに及ぼす温度の影響, 木材学会誌, 5, 12 (1956).	A-6	I
大草克巳, 林 昭三, 小迫恵彦, 応力を受けている木材の収縮・膨潤 (2), 引張応力, 島根農大報, No. 4, 93 (1956).	D-017	V
竹村富男, 福山万次郎, スギのクリープと温度について, 島根農大報, 7・8A, 196 (1956-1960).	D-63	I
杉山英男, 木材の曲げ強度と剛性に及ぼす荷重時間, 日本建築学会論文集, No. 52, 85 (1956).	D-66	I
SUGIYAMA, H., The creep deflection of wood subjected to bending under constant loading. 日本建築学会論文集 No. 55, 60 (1956).	D-67	I
松本 昴, 撓み振動による木材の動的弾性率測定について, 岩手大農報, 3, 46 (1956).	D-92	II
深田栄一, 他3名, 木材の動的弾性率及び圧電率の年代経過による変化, 小林理研報, 6, 104 (1956).	D-117	III
ZERBE, J.I., Impact modulus of elasticity in wood: A relationship of impact values to static and dynamic measurements, Forest Prod. J., 6, 205 (1956).	E-54	VI
KÜBLER, H., Plastische Formung und Spannungsbeseitigung bei Hölzern, unter besonderer Berücksichtigung der Holztrocknung, Holz als Roh- und Werkstoff, 14, 442 (1956).	I-102	III
IVANOV, Yu. M., Phenomenon of high elasticity of swollen wood. Doklady Akademii nauk, SSSR., 111, 777 (1956). C.S.I.R.O., trans No. 3593.	Q-1	I
IVANOV, Yu. M., Phenomenon of high elasticity of swollen wood, C.S.I.R.O. trans No. 3593, (1956).	Q-7	II
IVANOV, Y.(G).M., Measurement of swelling pressure of wood, Composite Wood, 3, 91 (1956).	W-01	X

HEARMON, R.F.S., The frequency of vibration and the elastic stability of a fixedfree strip, Brit. J. Appl. Phys., 7 , 405 (1956).	O-14	XVI
沢田 稔, 木材梁に関する研究 (第4報), 林誌報告, 98 , — (1957).	C-9	I
深田栄一, 他3名, 木材の動的弾性率及び圧電率の年代経過による変化, 応用物理, 26 , 25 (1957).	D-118	III
杉山英男, 木材の曲げクリープ機構から見た積雪荷重のとり方, 建築学会論文報告集, No. 57, 461 (1957).	D-151	VIII
IVANOV, Yu. M., The strain behavior of wood. F.P.J., 7 , 41-A (1957).	E-16	I
YOUNGS, R.L., Mechanical properties of red oak related to drying. F.P.J., 7 , 315 (1957).	E-17	I
KING, E.G., Jr., Creep and other strain behavior of wood in tension parallel to the grain, Forest Prod. J., 7 , 324 (1957).	E-72	VIII
YOUNGS, R.L., The perpendicular to grain mechanical property of red oak as related to temperature, moisture content and time. F.P.L. Rep., No. 2079 (1957).	H-4	I
LUNDGREN, S.Å., Holzfaserhartplatten als Konstruktionsmaterial ein viskoelastischer Körper, Holz, R.W., 15 , 19 (1957).	I-78	II
YLINEN, A., Zur Theorie der Dauerstandfestigkeit des Holzes, Holz, R.W., 15 , 213 (1957).	I-79	II
NARAYANAMURTI, D., Die Bedeutung der Holzextraktstoffe, Holz als Roh- und Werkstoff, 15 , 370 (1957).	I-049	V
KOLLMANN, F., Über Unterschiede im rheologischen Verhalten von Holz und Holzwerkstoffen bei Querdruckbelastung, Forsch. Ing. Wesen, 23 , 49 (1957).	K-8	III
IVANOV, Yu. M., Composite Wood. 4 , 51 (1957).		
MEINEL, H., Regarding the sound quality of violins and a scientific basis for violin construction, J. Acoust. Soc. Am., 29 , 817 (1957).	H-73	XVI
HEARMON, F.S., Some applications of physics to wood, Brit. J. Appl. Phys., 8 , 49 (1957).	O-15	XVI
沢田 稔, 木材の強度特性に関する研究, 主として, その木材梁への適用, 林誌研報, No. 108, 115 (1958).	D-221	XVII
大沼加茂也, 齊藤寿義, 加熱圧縮による薄板の収縮率について, 木材工業, 13 , 463 (1958).	B-47	IV
古谷 剛, 木材と塑性流動, 木材工業, 13 , 526 (1958).	B-34	I
杉山英男, クリープ経歴を有する木材の短期圧縮強度と弾性に就て, 日建論報, No. 58, 21 (1958).	D-72	I
SUGIYAMA, H., Experimental data on the prediction of the creep limit of wood in bending for creep and creep recovery tests. Res. Rep. Fev. Eng., Meiji Univ. No. 11 (1958).	D-74	I
松本 昴, 撓み振動による木材の動的弾性率について, 岩手大農報, 4 , 73 (1958).	D-93	II
KITAHARA, K., Stress relaxation of chip-board in hot press, 東大演習林報 No. 53, 161 (1958).	D-121	III
深田栄一, 結晶性高分子物質の圧電効果, 小林理研報, 9 , No. 1~2, 45 (1958).	D-123	III
小原二郎, 古材に関する研究, 千葉大工研報, 9 , No. 15, 1 (1958).	D-125	III
集成木材小委員会, 集成木材アーチの構造耐力試験, 建築学会論文報告集, No. 60, 473 (1958).	D-152	VIII
KELLOG, R.M., Strain behavior of wood subjected to repetitive stressing in tension parallel to the grain. F.P.J., 8 , 301 (1958).	E-4	I
KING, E.G., The strain behavior of wood in tension parallel to the grain. F.P.J., 8 , 330 (1958).	E-5	I · II
IVANOV, Yu. M., The strain behavior of wood, F.P.J., 8 , 41A (1958).	E-21	II
SEKHAR, A.C. und B.S. RAWAT, Der Einfluß von Größe, Form und Einkerbung auf Holzprüfkörper, Holz als Roh- und Werkstoff, 16 , 94 (1958).	I-125	VI
NORÉN, B., Sicherheitsprobleme im Holzbau, Holz als Roh- und Werkstoff, 16 , 146 (1958).	I-127	VI
PERKITNY, T., J. STEFANIAK und Z. RUDNICKI, Einfluß von Druckspannungen auf die		

- Quellung und Schwindung des Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, **16**, 410 (1958). I—103 IV
- LEE, I.D.G., A non-destructive method for measuring the elastic anisotropy of wood using an ultrasonic pulse technique, J. Inst. Wood Sci., **1**, 43 (1958). O—9 VIII
- LAWNICZAK, M., Investigation on creep deformations and stress relaxation in stermed beech wood. C.S.I.R.O., Trans. No. 4395 (1958). Q—6 I
- IVANOV, M., Formänderung des Holzes im Bereich höher Elastizität, Comp. Wood, **5**, 51 (1958). W—1 II
- NARAYANAMURTI, D., Some aspects of the rheology of wood, Proceedings of the fourth congress on theoretical and applied mechanics, 53 (1958). W—07 V
- NARAYANAMURTI, D., R.C. GUPTA and V. NARAYANAMURTI, Influence of loading on the rigidity modulus and plastic flow of wood, Appl. Sci. Res., Section A, **7**, 145 (1958). Z—1 V
- HEARMON, R.F.S., The influence of shear and rotatory inertia on the free flexural vibration of wooden beams, Brit. J. Appl. Phys., **9**, 381 (1958). O—13 XVI
- 大沼加茂也, 齊藤寿義, 木材の収縮経過に関する 2, 3 の考察, 林試報, No. 116, 75 (1959). C—01 V
- 松本 勲, 撓み振動による木材の動的弾性率, 岩手大農報, **4**, 253 (1959). D—94 II
- FREAS, A.D. and F. WERRAN, Effect of repeated loading and salt-water immersion on flexural properties of laminated white oak, Forest Prod. J., **9**, 100 (1959). E—53 VI
- JAYNE, B.A., Vibrational properties of wood, F.P.J., **9**, 413 (1959). E—22 II
- CLOUSER, W.S., Creep of small wood beams under constant bending load. U.S., F. P.L. Rep., No. 2150, (1959). F—3 I
- YLINEN, A., Über den Einfluß der Verformungsgeschwindigkeit auf die Bruchfestigkeit des Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff **17**, 231 (1959). I—128 VI
- KOLLMANN, F., Zeit und Festigkeit. München, (1959). K—2 I
- LAWNICZAK, M., Study of the effect of moisture content in wood on relaxation of stresses imparted in preliminary bending. Folio forestalia polonica (IB), 103 (1959), C.S.I.R.O., Trans. No. 5099. Q—4 I
- CHOPRA, J. L., R.C. GUPTA and V. NARAYANAMURTI, The influence of extractives on some properties of wood, Appl. Sci. Res., Section A, **8**, 61 (1959). Z—2 V
- HEARMON, R.F.S., The frequency of flexural vibration of rectangular orthotropic plates, With clamped or supported edges, J. Applied Mechanics, **26**, 537 (1959) H—106 XX
- 猪瀬 理, 木材縦圧縮の応力—歪曲線の考察 (第 1 報), 繰返し加力と弾性限度, 木材誌, **6**, 93 (1960) A—39 II
- 松本 勲, 撓み振動による木材の動的弾性率, 岩手大農報, **5**, 20 (1960). D—95 II
- 立道有平, バイオリン用木材の内部摩擦, 応用物理, **29**, 451 (1960). D—134 VI
- BRYAN, E. L., Bending strength of particle board under long-term load, F.P.J., **10**, 200 (1960). E—23 II
- CURRIER, R. A., Compression of white-pocket veneer in hot-pressed Douglas-fir plywood, Forest Prod. J., **10**, 409 (1960). E—56 VI
- BLOMQUIST, R. F. and W. Z. OLSON, An evaluation of 21 rubber-base adhesives for wood, Forest Prod. J., **10**, 494 (1960). E—55 VI
- KELLOGG, R. M., Effect of repeated loading on tensile properties of wood, F.P.J., **10**, 586 (1960). E—6 II
- WOOD, L. W., Relation of strength of wood to duration of load, U.S. Forest Prod. Lab. Report No. 1916 (1960). F—8 VIII
- KOLLMANN, F. and H. KRECH, Dynamische Messung der elastischen Holzeigenschaften und der Dämpfung, Holz, R. W., **18**, 41 (1960). I—81 II
- KRECH, H., Größe und zeitlicher Ablauf von Kraft und Durchbiegung beim Schlagbiegeversuch an Holz und ihr Zusammenhang mit der Bruchschlagarbeit, Holz als Roh- und Werkstoff, **18**, 95 (1960). I—129 VI
- PERKITNY, T., Die Druckschwankungen in verschiedenen vorgepreßten und dann starr eingeklammerten Holzkörpern, Holz als Roh- und Werkstoff, **18**, 200 (1960). I—08 X

KOLLMANN, F., Die Abhängigkeit der elastischen Eigenschaften von Holz von der Temperatur, 18 , 308 (1960).	I—82	II
SIEMINSKI, R., Über die Dauerfestigkeit des Kiefernholzes (<i>Pinus silvestris</i>), Holz, R. W., 18 , 369 (1960).	I—80	II
KOLLMANN, F., Verformung und Fließen bei Querdruckbelastung von Holzwürfeln, Z. Materialprüfung, 2 , 289 (1960).	K—	III
MÖHLER, K., Die Weiterentwicklung des konstruktiven Holzbaues durch die Holzforschung, Holz-Forschung und Holz-Verwertung, 12 , 41 (1960).	K—10	III
ARMSTRONG, L. D. and R.S.T. KINGSTON, Effect of moisture changes on creep in wood. Nature, 185 , 862 (1960).	P—1	I
梶田 茂, 山田 正, 鈴木正治, 木材のレオロジーに関する研究 (第1報), 動的ヤング率と含水率の関係について, 木材誌, 7 , 29 (1961).	A—41	II
梶田 茂, 山田 正, 鈴木正治, 小松一雄, 木材のレオロジーに関する研究 (第2報), 熱処理材の吸湿と動的ヤング率について, 木材誌, 7 , 34 (1961).	A—56	III
山田 正, 竹村透己男, 梶田茂, 木材のレオロジーに関する研究 (第3報), 木材学会誌, 7 , 62 (1961).	A—15	I
竹村透己男, 山田 正, 梶田 茂, 木材のレオロジーに関する研究 (第4報), 木材学会誌, 7 , 68 (1961).	A—16	I
竹村透己男, 福山万次郎, 荷重—たわみ曲線の初期部分とクリープについて, 木材学会誌, 7 , 72 (1961).	A—17	I
松本 勲, 撓み振動による木材の動的弾性率 (第6報), あて材のヤング率と振動減衰率について, 木材誌, 7 , 90 (1961).	A—40	II
角谷和男, 杉原彦一, 木材の曲げ破壊における破壊強度と破壊時間のばらつきについて, 木材誌, 7 , 167 (1961).	A—77	V
竹村富男, 福山万次郎, 春名伸哉, プナ材のクリープと含水率について, 島根農大報, No. 9, A-2, 103 (1961).	D—64	I
石原茂久, 山田 正, 木材のレオロジーに関する研究 (V), 京大演習林報告, No. 33, 275 (1961).	D—96	II
角谷和男, 集成材の耐久性に関する研究, 確率過程論による積層材の曲げクリープ破壊の解析, 木材研究, No. 26, 1 (1961).	D—129	V
KING, E. G., Time-dependent strain behavior of wood in tension parallel to the grain, F.P.J., 11 , 156 (1961).	E—7	I
JAMES, W. L., Effect of temperature and moisture content on internal friction and speed of sound in Douglas-fir, F.P.J., 11 , 383 (1961).	E—25	II
KUNESH, R. H., The inelastic behavior of wood. F.P.J., 11 , 395 (1961).	E—8	I
GILLWALD, W., Beitrag zur Bestimmung der Formänderung von Holz unter schwingender Beanspruchung, Holz, R. W., 19 , 8 (1961).	I—85	II
NEDBAL, F., Die Anwendung des Höppler-Konsistometers zur Verformungsmessung an Kiefernspiltholz, Holz, R. W., 19 , 9 (1961).	I—87	II
KOLLMANN, F., Rheologie und Strukturfestigkeit von Holz. Holz R. W., 19 , 73 (1961).		
NORÉN, B., Zur Rheologie der Holzverbände. Holz R. W., 19 , 93 (1961).	I—52	I
KUHNE, H., Beitrag zur Theorie des Mechanischen Formänderungsverhaltens von Holz. Holz R. W., 19 , 81 (1961).	I—53	I
CIZEK, L., Dauerfestigkeit und Rheologische Eigenschaften von Holz und Holzwerkstoffen. Holz R. W., 19 , 83 (1961).	I—54	I
NOREN, B., Zur Rheologie der Holzverbände, Holz, R. W., 19 , 93 (1961).	I—84	II
KOLLMANN, F. und H. KRECH, Zeitfestigkeit und Dauerfestigkeit von Holzspanplatten, Holz, R. W., 19 , 113 (1961).	I—86	II
MÖHLER, K., Beobachtungen bei Dauerversuchen mit Nagelverbindungen und Trägern mit Stegen aus Faserhartplatten, Holz, R. W., 19 , 118 (1961).	I—83	II
ARMSTRONG, L. D. and G. N. CHRISTENSEN, Influence of moisture changes on deformation of wood under stress. Nature, 191 , 869 (1961).	O—2	I

LAWNICZAK, M. and J. RECZKOWSKI, Effect of temperature on the strain recovery in wood. <i>Nature</i> , 192 , 583 (1961).	O—3	I
KINGSTON, R.S.T. and L.N. CLARK, Some aspect of the rheological behavior of wood. <i>Aust. J. Appl. Sci.</i> , 12 , 211 (1961).	P—8	I
ZENKTELER, M., More about rheology of wood. <i>Sylvan</i> , 105 , 49 (1961) C.S.I.R.O. Trans. No. 5858 (1961).	Q—5	I
MOSLEMI, A.A., To shear fatigue stressing, <i>F.P.J.</i> , 11 , 115 (1961).	E—24	II
GILLWALD, W., Beitrag zur Bestimmung der Formänderung von Holz unter schwingender Beanspruchung. <i>Holz R.W.</i> , 19 , 86 (1961).	I—55	I
松本 勲, 木材の振動特性, <i>木材工業</i> , 17 , 400 (1962).	B—48	V
山田 正, 佐道 健, 白石信夫, 木材のレオロジーに関する研究 (第6報), <i>材料</i> , 11 , 50 (1962).	D—45	I
松本 勲, 針葉樹樹幹内のヤング率の不均質性, <i>材料</i> , 12 , 714 (1962).	D—142	VIII
福山万次郎, 乾燥応力に関連する木材の物理的, 機能的性質, 京都府立大学学術報告, No. 14, 85 (1962).	D—36	I
松本 勲, 木材の動的弾性率, 特に撓み振動によるヤング率と対数減衰率とに関する研究, 九大演習林報告, No. 36, 1 (1962).	D—97	II
角谷和男, 杉原彦一, 木材の破壊までの経過時間のばらつきとこれにおよぼす含水率, 応力および温度の影響, <i>材料試験</i> , 11 , 44 (1962).	D—130	V
SUZUKI, M., The effects of water-sorption and temperature on dynamic Young's modulus and logarithmic decrement of wood. <i>木材誌</i> , 8 , 13 (1962).	A—42	II
PENTONEY, R.E. and R.W. DAVIDSON, Rheology and the study of wood. <i>F.P.J.</i> , 12 , 243 (1962).	E—9	I · II
JAMES, W.L., Dynamic strength and elastic properties of wood, <i>F.P.J.</i> , 12 , 253 (1962).	E—26	II
MILLER, D.G., Selection efficiencies of nondestructive strength tests, <i>F.P.J.</i> , 12 , 358 (1962).	E—27	II
DAVIDSON, R.W., The influence of temperature on creep in wood. <i>F.P.J.</i> , 12 , 377 (1962).	E—12	I
MADSEN, B., Research on design of structural glued-laminated material, <i>F.P.J.</i> , 12 , 497 (1962).	E—29	II
NARAYANAMURTI, D. und R.C. GUPTA, Weitere Untersuchungen an einem alten <i>Pterocarpus</i> -Holz, <i>Holz als Roh- und Werkstoff</i> , 20 , 16 (1962).	I—133	VI
KEYLWERTH, R. und W. HÖFER, Rheologische Untersuchungen an Leimfugen bei Querkzug belastung, <i>Holz, R.W.</i> , 20 , 91 (1962).	I—88	II
KOLLMANN, F. und E. SCHMIDT, Gefügezerrüttung und Festigkeitseinbuße von dauerbeanspruchtem Nadelholz. <i>Holz als Roh- und Werkstoff</i> , 20 , 333 (1962).	I—135	VI
KOLLMANN, F., Beispiele praxisnaher Holzforschung. <i>Holzzentralblatt</i> . No. 85, 1 (1962).	K—7	III
PERKITNY, T., Über das unterschiedliche Verhalten von Holz, Span- und Faserplatten bei Feuchtigkeitsänderung und gleichzeitiger Belastung, <i>Holzindustrie</i> , 15 , 312 (1962).	K—18	V
KOLLMANN, F., Über das rheologische Verhalten von Buchenholz verschiedener Feuchtigkeit bei Druckbeanspruchung längs der Faser, <i>Materialprüfung</i> , 4 , 313 (1962).	K—26	VI
KÜHNE, H., Zeitabhängige mechanische Formänderungen poröser inhomogener Materie, erörtert am Beispiel des Holzes und der Holzwerkstoffe, <i>Materialprüfung</i> , 4 , 320 (1962).	K—27	VI
NARAYANAMURTI, D. und H.C. PANT, Der Einfluß von trockener und feuchter Wärme auf Holz Teil II. Der Einfluß von abwechselndem Erwärmen und Wässern in kaltem Wasser, <i>Werkstoffe und Korrosion</i> , 13 , 287 (1962).	K—57	XII
PERKITNY, T., Beiträge zur Ermittlung der Qualität von Spanplatten, <i>Holztechnologie</i> , 3 , 64 (1962).	K—019	X
KINGSTON, R.S.T., Creep, relaxation and failure of wood. <i>Research</i> , 15 , 164 (1962).	P—2	I
CHRISTENSEN, G.N., The use of small specimens for studying the effect of moisture content changes on the deformation of wood under load. <i>Aust. J. Appl. Sci.</i> , 13 , 242 (1962).	P—4	I
ARMSTRONG, L.D. and R.S.T. KINGSTON, The effect of moisture content changes on		

the deformation of wood under stress. <i>Aust. J. Appl. Sci.</i> , 13 , 257 (1962).	P-7	I
BENIČÁK, J., Nedeštruktivne skúšanie dreva dynamickými metódami (Non-destructive testing of wood by dynamic methods), Part 1, Resonance method, <i>Drevarsky Vyskum</i> , 261 (1962).	Z-3	V
PENTONEY, R.E., Time-dependent mechanical properties of wood, <i>Proc. Conference on Mechanical Behaviour of Wood</i> , 96 (1962).	H-88	XVII
鈴木正治, 荒木幹夫, 後藤輝男, ヒノキ素材と塩化水素処理およびホルマール化処理材の吸湿と動的粘弾性, <i>木材誌</i> , 9 , 11 (1963).	A-43	II
鈴木正治, 荒木幹夫, 後藤輝男, ヒノキ素材と塩化水素処理およびホルマール化処理材の動的挙動について, <i>木材誌</i> , 9 , 43 (1963).	A-44	II
鈴木正治, 中戸莞二, 木材中の水蒸気拡散と動的粘弾性, <i>木材誌</i> , 9 , 90 (1963).	A-45	II
鈴木正治, 中戸莞二, 熱処理材の吸湿過程における動的粘弾性および誘電性, <i>木材誌</i> , 9 , 211 (1963).	A-46	II
山田 正, 木材のレオロジー (その1), <i>木材工業</i> , 18 , 360 (1963).	B-42	I
山田 正, 木材のレオロジー (その2), <i>木材工業</i> , 18 , 402 (1963).	B-43	I
山田 正, 木材の粘弾性 (綜説), <i>京大演習林報告</i> , 34 , 158 (1963).	D-37	I
山田 正, 浦上弘幸, 宮野寛文, 木材の水分拡散と粘弾性の異方性, <i>材料</i> , 12 , 745 (1963).	D-48	I
竹村富男, 福山万治郎, 池田 豊, 水分非平衡と応力緩和, <i>鳥根農大研報</i> , 11 , 106 (1963).	D-65	I
SUMIYA, K., A study of fracture of wood on the theory of stochastic process, <i>木材研究</i> , No. 29, 1 (1963).	D-131	V
満久崇麿, 佐々木光, 回転曲げ疲労強度について, <i>木材研究</i> , No. 31, 1 (1963).	D-98	II
伊吹幸彦, 佐々木光, 河本 実, 満久崇麿, 平面曲げ疲労強度について, <i>木材研究</i> , No. 31, 11 (1963).	D-99	II
満久崇麿, 佐々木光, 片持梁の平面曲げ疲労について, <i>木材研究</i> , No. 31, 23 (1963).	D-100	II
佐々木光, 満久崇麿, 曲げクリープについて, <i>木材研究</i> , No. 31, 41 (1963).	D-101	II
石原茂久, 佐々木光, 満久崇麿, 接着層の疲労強度について, <i>木材研究</i> , No. 31, 75 (1963).	D-102	II
CURRIER, R.A., Compressibility and bond quality of western softwood veneers, <i>Forest Prod. J.</i> , 13 , 71 (1963).	E-57	VI
MURPHEY, W.K., Cell-wall crystallinity as a function of tensile strain. <i>F.P.J.</i> , 13 , 151 (1963).	E-18	I
YOUNGS, R.L. and H.C. HILBRAND. Time-related flexural behavior of small Douglas-fir beams under prolonged loading. <i>F.P.J.</i> , 13 , 227 (1963).	E-13	E-28
GALLIGAN, W.L. and L.D. BERTHOLF, Piezoelectric effect in wood, <i>Forest Prod. J.</i> , 13 , 517 (1963).	E-36	III
STERR, R., Untersuchungen zur Dauerfestigkeit von Schichtholzbalken, <i>Holz, R.W.</i> , 21 , 47 (1963).	I-89	II
YLINEN, A., Vergleichende Untersuchung über den Einfluß der Belastung und der Verformungsgeschwindigkeit auf die Bruchfestigkeit des Holzes, <i>Holz, R.W.</i> , 21 , 173 (1963).	I-90	II
KOLLMANN, F.F.P., Phenomena of fracture in wood, <i>Holzforschung</i> , 17 , 65 (1963).	J-2	V
GROSSMAN, P.U.A., Research on the rheology of wood, <i>Holzforschung</i> , 17 , 146 (1963).	J-1	V
NARAYANAMURTI, D., N.C. JAIN und H.C. PANT, Abhängigkeit des Elastizitätsmoduls und der Biegefestigkeit vom Faserwinkel bei Holz und Furnierplatten, <i>Holztechnologie</i> , 4 , 133 (1963).	K-14	V
MACK, J.J., A study of creep in nailed joints, <i>C.S.I.R.O. Aust. Div. For. Prod. Technol. Rap.</i> 27 (1963).	P-3	II
GROSSMAN, P.U.A. and R.S.T. KINGSTON, Some aspects of the rheological behaviour of wood. <i>Aust. J. Appl. Sci.</i> 14 , 305 (1963).	P-9	I
YOUNGS, R.L. and H.C. HILBRAND, Time-related flexural behavior of small Douglas-		

- fir beams under prolonged loading. F.P.J., **13**, 227 (1963). E-13
- 大熊幹章, 合板の圧縮時のクリープ歪について, 木材誌, **10**, 17 (1964). A-47 II
- 鈴木正治, 中戸莞二, 木材の動的粘弾性の温度依存性, 木材誌, **10**, 89 (1964). A-48 II
- 北原覚一, 湯川公夫, 木材の曲げクリープに及ぼす温度変化の影響について, 木材学会誌, **10**, 169 (1964). A-37 I
- 大迫靖雄, 山田 正, プナ材における鋼球圧入, 木材研究, No. 33, 29 (1964). D-61 I・II
- 中川 宏, 木材乾燥による板の変形, 荷重による板の撓みに影響する温度と含水率, 北林指研報, No. 351, (1964). D-126 IV
- MILLER, D.G., Effect of tolerance on selection efficiency on nondestructive strength tests of wood, F.P.J., **14**, 179 (1964). E-35 II
- GALLIGAN, W., A status report nondestructive testing in wood, F.P.J., **14**, 221 (1964). E-30 II
- MOSLEMI, A.A., Some aspects of viscoelastic behavior of hardboard, F.P.J., **14**, 337 (1964). E-31 II
- HEARMON, R.F.S. and J.M. PATON, Moisture content changes and creep of wood. F. P.J., **14**, 357 (1964). E-15 I
- JENTZEN, C.A., Effect of stress applied during drying on some properties of individual pulp fibers, F.P.J., **14**, 387 (1964). E-33 II
- JAMES, W.J., Vibration, static strength, and elastic properties of clear Douglas-fir at various levels of moisture content, Forest Prod. J., **14**, 409 (1964). E-38 III
- SEKHAR, A.C., N.K. SHUKLA and V.K. GUPTA, Einfluß von Torsionsspannungen und Feuchtigkeit auf die Dauerfestigkeits Eigenschaften des Holzes, Holz, R. W., **22**, 264 (1964). I-92 II
- EGNER, K. und P. JAGFELD, Untersuchungen an Keilgezinkten Bohlen nach langjähriger Gebrauchsdauer Verhalten bei Zugschwellbeanspruchung, Holz, R.W., **22**, 107 (1964). I-93 II
- BHATNAGAR, N.S., Kriechen von Holz bei Zugbeanspruchung in Faserrichtung, Holz, R.W., **22**, 296 (1964). I-91 II
- NARAYANAMURTI, D. und G.M. VERMA, The role of wood extractives on the natural durability of wood, Holzforschung und Holzverwertung, **16**, 1 (1964). K-30 VII
- NARAYANAMURTI, D. and G.M. VERMA, Role of wood extractives on the rheological properties of wood, Holzforschung und Holzverwertung, **16**, 51 (1964). K-11 V
- WUNK, M., Die Druckschwankungen in vorgepreßten und dann starr eingeklammerten Spanplattenproben im Vergleich zu Kiefernspoltholz, Holztechnologie, **5**, 88 (1964). K-021 X
- PERKITNY, T. und L. HELIŃSKA-RACZKOWSKA, Einfluß der Trocknungsgeschwindigkeit auf den Spannungsabfall in gebogenen Holzelementen, Holztechnologie, **5**, 265 (1964). K-21 V
- HEARMON, R.F.S., The effect of tension on the torsional rigidity of wooden strips, Inst. of Wood Sci. J., No. 13, 37 (1964). O-5 III
- UGOLEV, B.N., Determination of the rheological properties of wood, C.S.I.R.O. Trans. No. 7161 (1964), (Translated from: Derevoobrabatyvayushchaya Promyshlennost, **12** (2), 17 (1963). Q-9 V
- 藤田晋輔, 中戸莞二, 乾燥割れに関する研究 (第1報), 引張荷重下における収縮の挙動, 木材誌, **11**, 36 (1965). A-57 III
- 北原覚一, 彭 武財, ハードボードのクリープについて, 木材誌, **11**, 88 (1965). A-49 II
- 鈴木正治, 中戸莞二, 相川久太郎, 木材の動的ヤング率の周波数依存性とクリープとの関係, 木材誌, **11**, 76 (1965). A-50 II
- 藤田晋輔, 中戸莞二, 乾燥割れに関する研究 (第2報), 変形とクリープ破壊に対する引張荷重の影響, 木材誌, **11**, 236 (1965). A-58 III
- 山田 正, 木材の静的粘弾性, 木材研究, No. 34, 1 (1965). D-107 II
- 角谷和男, 木材の内部欠陥と超音速との関係, 木材研究, No. 34, 22 (1965). D-108 II
- 大迫靖雄, 山田 正, ヒノキ材における鋼球圧入一硬さの温度による変化, 木材研究, No. 34, 229 (1965). D-109 II
- 則元 京, 宮野寛文, 山田 正, ヒノキの振りクリープ, 木材研究, No. 34, (1965). D-62 I

則元 京, 山田 正, ヒノキの曲げ応力緩和に及ぼす湿度の影響, 木材研究, No. 35, 44 (1965).	D-110	II
則元 京, 高原省吾, 山田 正, 木材表面における樹脂層形成のレオロジー (I), 木材研究, No. 36, 23 (1965).	D-111	II
藤田晋輔, 高橋 徹, 引張荷重下の収縮への温度依存性, 島根農大報, No. 14, 87 (1965).	D-120	III
PELLERIN, R.F., A vibrational approach to nondestructive testing of structural lumber, F.P.J., 15, 93 (1965).	E-34	II
BRYAN, E.L. and A.P. SCHNIEWIND, Strength and rheological properties of particle-board, F.P.J., 15, 143 (1965).	E-32	II
SLIKER, A. and B. RADCLIFFE, Deflection and creep characteristics of trussed rafters with metal plate fasteners, Forest Prod. J., 15, 473 (1965).	E-61	VI
HEARMON, R.F.S., The assessment of wood properties by vibrations and high frequency acoustic waves, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 49 (1965).	H-17	VIII
NARAYANAMURTI, D., Some aspects of the nondestructive testing of wood, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 95 (1965).	H-22	VIII
FUKADA, E., Piezoelectric effect in wood and other crystalline polymers, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 143 (1965).	H-18	VIII
LEE, I.D.G., Ultrasonic pulse velocity testing considered as a safety measure for timber structures, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 185 (1965).	H-20	VIII
JENSEN, L. C., Sonic detection of internal decay in wood poles, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 207 (1965).	H-23	VIII
HEARMON, R. F. S., Comment for H-23, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 220 (1965).	H-25	VIII
GALLIGAN, W. L. and R. W. COURTEAU., Measurement of elasticity of lumber with longitudinal stress waves and the piezoelectric effect of wood, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 223 (1965).	H-19	VIII
PELLERIN, R. F., The contributions of transverse vibration grading to design and evaluation of 55-foot laminated beams, Proc. 2nd Symposium on Nondestructive Testing of Wood, 337 (1965).	H-24	VIII
KREIBICH, R. E. and H. G. FREEMAN, Testing adhesives for creep can provide data on adhesive systems which will help improve structural bondants, Adhesives Age, 2, August, 29 (1965).	H-16	VIII
SEKHAR, A. C. and B. N. NAGAR, Einfluß von Spannung, Zeit und Faserrichtung auf die Dämpfungseigenschaften von Holz, R. W., 23, 3 (1965).	I-94	II
KOLLMANN, F., Die Bedeutung der Gaußschen Normalverteilung für Struktur, Sorption und Rheologie von Holz, Holz als Roh- und Werkstoff, 23, 165 (1965).	I-107	V
PERKITNY, T., Über Wechselbeziehungen zwischen Sorption, Desorption und Rheologie von Holz, Holz als Roh- und Werkstoff, 23, 173 (1965).	I-106	V
ARMBRUSTER, E., Beanspruchungen und Verformungen von Holztragwerken, Holz als Roh- und Werkstoff, 23, 188 (1965).	I-142	VI
YLINAN, A., Über die Bestimmung der zeitbedingten elastischen und Festigkeitseigenschaften des Holzes mit Hilfe eines allgemeinen nichtlinear visko-elastischen rheologischen Modelles, Holz als Roh- und Werkstoff, 23, 193 (1965).	I-138	VI
ETHINGTON, R. L. und R. L. YOUNGS, Das rheologische Verhalten von Roteiche bei Beanspruchung quer zur Faserrichtung, Holz, R. W., 23, 196 (1965).	I-95	II
ERIKSSON, L. und B. NORÉN, Der Einfluß von Feuchtigkeitsänderungen auf die Verformung von Holz bei Zug in Faserrichtung, Holz, R. W., 23, 201 (1965).	I-96	II
BURMESTER, A., Zusammenhang zwischen Schallgeschwindigkeit und morphologischen, physikalischen und mechanischen Eigenschaften von Holz, Holz als Roh- und Werkstoff, 23, 227 (1965).	I-136	VI
ROSE, G., Das mechanische Verhalten des Kiefernholzes bei dynamischer Dauerbeans-		

pruchung in Abhängigkeit von Belastungsart, Belastungsgröße, Feuchtigkeit und Temperatur, Holz, R. W., 23, 271 (1965).	I—97	II
SEKHAR, A. C. und N. K. SHUKLA, Der Einfluß von Faserrichtungswinkel und Biegemoment auf die Dauerfestigkeit von <i>Cedrus deodara</i> , Holz als Roh- und Werkstoff, 23, 434 (1965).	I—141	VI
BURMESTER, A., Versuche mit einer Prüfeinrichtung zum Bestimmen der Wechselbiegefestigkeit von Holz, Materialprüfung, 7, 321 (1965).	K—54	XII
GIBSON, E. J., Creep of wood, rate of water and effect of a changing moisture content, Nature, 206, 213 (1965).	O—6	IV
高橋 徹, 山田 正, 木材の Drying Set に関する研究 (第1報), 水分非平衡下の引張りクリープ, 特に荷重依存性について, 木材誌, 12, 6 (1966).	A—55	III
太田 基, 坪田禎之, 2-ply laminated wood の疲労に関する研究 (第1報), 木材の曲げ試験における静的粘弾性挙動についての一考察, 木材誌, 12, 26 (1966).	A—52	III
太田 基, 坪田禎之, 2-ply laminated wood の疲労に関する研究 (第2報), 2-ply laminated wood の曲げ試験における静的粘弾性挙動について, 木材誌, 12, 90 (1966).	A—54	III
URAKAMI, H. and K. NAKATO, The effect of temperature on torsional stress relaxation of wet Hinoki wood, 木材誌, 12, 118 (1966).	A—53	III
太田 基, 坪田禎之, 2-ply laminated wood の疲労についての研究 (第3報), 木材の繰返し曲げによる疲労についての一考察, 木材誌, 12, 210 (1966).	A—51	III
FUJITA, S., Studies on the drying check III. The influence of temperature on some behaviors of wood during drying under tensile load, 木材誌, 12, 266 (1966).	A—59	III
高橋 徹, 木材乾燥におけるクリープ, 木材工業, 21, 349 (1966).	B—46	III
則元 京, 角谷和男, 山田 正, 木材の内部摩擦と強度の関係について, 木材研究, No. 37, 40 (1966).	D—112	II
高橋 徹, 山田 正, Drying set を生じた材の横引張強度, 木材研究, No. 37, 46 (1966).	D—139	VII
山田 正, 角谷和男, 金谷紀行, 木材の Rho-optics I. ヒノキクリープ過程の赤外吸収, 木材研究, No. 38, 21 (1966).	D—115	III
則元 京, 山田 正, 木材の動的振り粘弾性, 木材研究, No. 38, 32 (1966).	D—114	III
大迫靖雄, 山田 正, 鋼球圧入法による木材の静的粘弾性挙動の推定, 木材研究, No. 38, 58 (1966).	D—113	III
南 義夫, 木材の吸水による膨張力, 第10回材料試験連合講演会, 前刷, 147 (1966).	D—122	III
則元 京, 山田 正, パーティクルボードのクリープについて, 木材研究, No. 39, 22 (1966).	D—116	III
URAKAMI, H., The stress relaxation of wet wood during the diffusion of hydrochloric acid, 京府大報, No. 18, 99 (1966).	D—119	III
中戸莞二, 鈴木正治, 五月女篤信, 増田 稔, 合成樹脂塗料の木材への付着について, 京都大学農学部演習林報告, No. 38, 237 (1966).	D—171	XII
中川 宏, 熱気乾燥における板材の収縮と変形に関する研究, 北林試研報, No. 48, 1 (1966).	D—026	IV
TAKEMURA, T., Plastic properties of wood in relation to the non-equilibrium states of moisture content, Memoirs of the College of Agriculture, Kyoto Univ., No. 88, 31 (1966).	D—128	V
HEARMON, R.F.S., Theory of the vibration testing of wood, Forest Prod. J., 16, 29 (1966).	E—37	III
SCHNEIDER, H., Untersuchungen über das Verhalten von Holzwerkstoff-Platten bei Stoßbeanspruchung sowie über ihren dynamischen Elastizitäts- und Schubmodul, Holz als Roh- und Werkstoff, 24, 41 (1966).	I—100	III
SCHNIEWIND, A.P., Über den Einfluß von Feuchtigkeitsänderungen auf das Kriechen von Buchenholz quer zur Faser unter Berücksichtigung von Temperatur und Temperaturänderungen, Holz als Roh- und Werkstoff 24, 87 (1966).	I—101	III
GILLWALD, W., Untersuchungen über die Dauerfestigkeit von mehrschichtigen Spanplatten, Holz als Roh- und Werkstoff, 24, 445 (1966).	I—98	III

MARRA, G.G., R.F. PELLERIN and W.L. GALLIGNA, Nondestructive determination of wood strength and elasticity by vibration, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 460 (1966).	I-99	III
NOACK, D. und V. STÖCKMANN, Härtemessungen an Holzspanplatten mit dem Höppler-Kegel, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 474 (1966).	I-132	VI
YLINEN, A., Über den Einfluß der Belastungszeit auf die Festigkeit eines zentrisch und eines exzentrisch belasteten geraden Holzstabes, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 520 (1966).	I-140	VI
KAUMAN, W.G., On the deformation and setting of the wood cell wall, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 552 (1966).	I-139	VI
SEKHAR, A.C., Dynamic stresses in timber, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 561 (1966).	I-130	VI
GILLWALD, W. und H. LUTHARDT, Beitrag zur Dauerstandfestigkeit von Vollholz und Holzspanplatten, Holztechnologie, 7 , 25 (1966).	K-19	V
OERTEL, J., Untersuchungen über den dynamischen Elastizitätsmodul von Holzspanplatten, Holztechnologie, 7 , 235 (1966).	K-15	V
PERKITNY, T. und J. PERKITNY, Vergleichende Untersuchungen über die Verformungen von Holz, Span- und Faserplatten bei langdauernder konstanter Biegebelastung, Holztechnologie, 7 , 265 (1966).	K-22	V
有馬孝禮, 高温度下における木材の圧縮クリープ, 木材誌, 13 , 37 (1967).	A-60	IV
TAKEMURA, T., Plastic properties of wood in relation to the non-equilibrium states of moisture content (continued), 木材誌, 13 , 77 (1967).	A-76	V
太田 基, 坪田禎之, 2-ply laminated wood の疲労に関する研究 (第4報), 2 ply laminated wood の繰り返し曲げによる疲労についての一考察, 木材誌, 13 , 131 (1967).	A-61	IV
SADOH, T. and H. URAKAMI, Rheological properties of wood treated with polyethylene glycol. I: Comparison between the rheological properties of PEG-treated wood and of water-sorbed wood, 木材誌, 13 , 323 (1967).	A-62	IV
SADOH, T. and H. URAKAMI, Rheological properties of wood treated with polyethylene glycol. II: Effect of moisture content and moisture content change, 木材誌, 13 , 327 (1967).	A-63	IV
藤田晋輔, 高橋 徹, 木材の乾燥中の引張クリープ, 島根大農研報, No. 1, 100 (1967).	D-127	V
角谷和男, 野村隆哉, 山田 正, 化学処理ヒノキ材のクリープと赤外吸収, 材料, 16 , 830 (1967).	D-132	V
浦上弘幸, 塗料による木材の膨潤と粘弾性, 京都府立大学農学部演習林報告, No. 11, 5 (1967).	D-170	XII
福山万治郎, プナ材の曲げ応力緩和に及ぼす含水率の影響, 京府大演習林報, No. 11, 10 (1967).	D-156	IX
MOSLEMI, A.A., Dynamic viscoelasticity in hardboard, Forest Prod. J., 17 , No. 1, 25 (1967).	E-40	IV
SUCHSLAND, O., Behavior of a particleboard mat during the press cycle, Forest Prod. J., 17 , No. 2, 51 (1967).	E-58	VI
MINOR, R.C., G. IFJU and H.T. HURST, Interpretation of beam vibration amplitude measured with strain gages, Forest Prod. J., 17 , No. 3, 40 (1967).	E-59	VI
GARDNER, R., E.J. GIBSON and R.A. LAIDLAW, Effect of organic vapors on the swelling of wood and on its deformation under load, Forest Prod. J., 17 , No. 4, 50 (1967).	E-39	IV
MILLER, D.G. and J. BENICAK, Relation of creep to the vibrational properties of wood, Forest Prod. J., 17 , No. 12, 36 (1967).	E-60	VI
MILLS, J.A., P.V.A. Wood glues and the 'creep' phenomenon, Wood, 32 , No. 7, 46 (1967).	H-93	XVIII
YIANNONS, P.N. and D.L. TAYLOR, Dynamic modulus of thin wood sections, Tappi, 50 , 40 (1967).	G-4	IV
HILL, R.L., The creep behavior of individual pulp fibers under tensile stress, Tappi, 50 , 432 (1967).	G-5	IV
SCHNIEWIND, A.P., Creep-rupture life of Douglas-fir under cyclic environmental condi-		

- tions, Wood Science and Technology, **1**, 278 (1967). H-7 V
- SUGIYAMA, H., On the effect of the loading time on the strength properties of wood, A review on Japanese research, Wood Science and Technology, **1**, 289 (1967). H-21 VIII
- LAWNICZAK, M., Einfluß der Erwärmung von Rotbuche in Wasser auf das rheologische Verhalten bei zyklischer Belastung quer zur Faser, Holz als Roh- und Werkstoff, **25**, 5 (1967). I-048 IV
- LAWNICZAK, M. und A. KOPEC-STANISZEWSKA, Verhalten von gedämpftem und ungedämpftem Rotbuchenholz bei Druckbeanspruchung und Entlastung, Holz als Roh- und Werkstoff, **25**, 88 (1967). I-104 IV
- BURMESTER, A., Nachweis von Ästen im Kiefernholz durch Ultraschall, Holz als Roh- und Werkstoff, **25**, 157 (1967). I-131 VI
- PAHLITZSCH, G. und K. DZIOBEK, Über das Orten von Fehlstellen in Spanplatten, Holz als Roh- und Werkstoff, **25**, 180 (1967). I-137 VI
- LAWNICZAK, M., Einfluß der Trocknungsbedingungen auf die Formänderungen wiederbefeuchteten Holzes bei Dauer-Biegebelastung, Holz als Roh- und Werkstoff, **25**, 304 (1967). I-105 IV
- BECKER, H., Möglichkeiten der Anwendung von Ultraschall bei der Untersuchung von Holz und Holzspanplatten, Holzforschung, **21**, 135 (1967). J-4 VII
- KALNIN'S A. J., T. A. DARZIN'S, A. D. JUKNA und G. V. BERZIN'S, Riga, Physikalisch-mechanische Eigenschaften mit Ammoniak chemisch plastifizierten Holzes, Holztechnologie, **8**, 23 (1967). K-010 IV
- OERTEL, J., Beitrag zur Bestimmung des dynamischen E-Moduls an ganzen Holzspanplatten, Holztechnologie, **8**, 157 (1967). K-12 V
- HOLZ, D., Untersuchungen an Resonanzholz, 3. Mitteilung: Über die gleichzeitige Bestimmung des dynamischen Elastizitätsmoduls und der Dämpfung an Holzstäben im hörbaren Frequenzbereich, Holztechnologie, **8**, 221 (1967). K-13 V
- GOLDSMITH, V. and P. U. A. GROSSMAN, The effect of frequency of vibration on the viscoelastic properties of wood, J. Inst. Wood Sci., No. 18, 44 (1967). O-7 V
- LIBBY, T. B. and J. G. HAYGREEN, Moisture content change induced by tensile stress in whole wood, J. Inst. Wood Sci., No. 18, 54 (1967). O-8 VIII
- EGNER, K. and P. JAGFELD, Investigations on finger jointed planks after many years continuous service — behaviour under repetitive tensile stress, translated from Berichte aus der Bauforschung No. 47, 2 (1966), S. S. I. R. O. trans. No. 8531 (1967). Q-8 IV
- IVANOV, Yu., Fundamental problems in the study of the physical properties of wood, C. S. I. R. O. Trans. No. 8824 (1967). (Translated from: Perspektivy zakladneho vyskumu dreva (Medzinarodne Kolokvium) Bratislava 1963. Bratislava, Slovenske Vydavatelstvo Technickej Literatiry (1965) p. 233-246). Q-10 V
- BACH, L. and B. ROVNER, Stress relaxation in wood at different grain angles, Forest Prod. Lab. Vancouver, British Columbia Information Rep. No. Vp-x-14 (1967). S-1 V
- BACH, L., Static fatigue of wood under constant strain, Forest Prod. Lab., Vancouver, British Columbia, Information Report VP-X-24 (1967). S-2 IX
- 伏谷賢美, 木材の静的粘弾性におよぼす脱リグニン処理の影響 (第1報), 応力緩和, 木材誌, **14**, 11 (1968). A-64 V
- 伏谷賢美, 木材の静的粘弾性におよぼす脱リグニン処理の影響 (第2報), 飽水状態における応力緩和の温度依存性, 木材誌, **14**, 18 (1968). A-65 V
- 大迫靖雄, 高橋 徹, 山田 正, 木材の Drying Set に関する研究 (第2報), 木材の収縮におよぼす引張応力の影響, 木材誌, **14**, 24 (1968). A-75 V
- 松本 勲, 堤 寿一, 合板の動的弾性に関する研究 (第1報), 静的ヤング率と動的ヤング率について, 木材誌, **14**, 65 (1968). A-72 V
- 伏谷賢美, 木材の静的粘弾性におよぼす脱リグニン処理の影響 (第3報), 全乾状態における応力緩和の温度依存性, 木材誌, **14**, 160 (1968). A-66 V
- 伏谷賢美, 木材の静的粘弾性におよぼす脱リグニン処理の影響 (第4報), 応力緩和のひ

ずみ依存性およびクープの応力依存性, 木材誌, 14 , 166 (1968).	A-67	V
藤田晋輔, 高橋 徹, Drying set を生じた材の引張強度と弾性係数, 木材誌, 14 , 172 (1968).	A-93	VII
伏谷賢美, 木材の応力緩和におよぼす膨潤処理の影響, 木材誌, 14 , 203 (1968).	A-69	V
伏谷賢美, 木材の静的粘弾性におよぼす熱処理の影響, 木材誌, 14 , 208 (1968).	A-68	V
平井信之, 伊達宗宏, 深田栄一, 木材の圧電効果に関する研究 (第1報), 木材誌, 14 , 247 (1968).	A-103	VIII
平井信之, 伊達宗宏, 深田栄一, 木材の圧電効果に関する研究 (第2報), 処理材の圧電率, 木材誌, 14 , 252 (1968).	A-104	VIII
太田貞明, 渡辺治人, 松本 島, 堤 寿一, 未成熟材の力学的特性に関する研究 (第2報), ヒノキ樹幹における材質判定因子の変動と力学的性質について, 木材誌, 14 , 261 (1968).	A-73	V
鈴木正治, ヒノキ材中のセルロース結晶格子の力学的変形, 木材誌, 14 , 268 (1968).	A-74	V
有馬孝禮, 木材削片マットのレオロジー的研究 (第1報), 木材誌, 14 , 299 (1968).	A-70	V
有馬孝禮, 木材削片マットのレオロジー的研究 (第2報), 木材誌, 14 , 304 (1968).	A-71	V
竹村富男, 金川 靖, 中戸莞二, 木材の可塑化に対する緩和理論の応用, 木材誌, 14 , 395 (1968).	A-78	VI
TAKEMURA, T., Plastic properties of wood in relation to the non-equilibrium states of moisture content (re-continued), 木材誌, 14 , 407 (1968).	A-79	VI
大熊幹章, 田代 周, 接着剤の種類と合板の曲げクリープ, 木材工業, 23 , 168 (1968).	B-49	V
椋代純輔, 積層接着された木材の内部応力に関する研究, 林試報, No. 211, 1 (1968).	C-020	V
中山義雄, 青木昭男, 木材の動的弾性に関する研究 (第一報), 木材の振動測定装置ならびに測定方法, 高知大学術研報, 16 , 自然科学II, No. 16, 167 (1968).	D-133	VI
太田貞明, 渡辺治人, 松本 島, 堤 寿一, 未成熟材の力学的特性に関する研究 (第1報), スギ樹幹内の未成熟材の動的ヤング率とフィブリル傾角, 九大農演習林集報, No. 22, 105 (1968).	D-137	VII
谷口 謙, 吉見 哲, 原田 浩, 水分の脱着による木材の赤外線吸収スペクトルの変化, 京大農演習林報, No. 40, 301 (1968).	D-140	VII
藤田晋輔, 高橋 徹, 桜井敏夫, 木材の引張クリープにおける破壊時間依存性, 島根大農研報, No. 2, 86 (1968).	D-141	VII
山田 正, 木材の Hygrostress (引張, 圧縮の場合), 木材研究, No. 44, 1 (1968).	D-039	V
大迫靖雄, 山田 正, ブナ枝材の粘弾性と生長応力, 木材研究, No. 45, 36 (1968).	D-002	V
MILLER, D. G., Nondestructive testing of joists by a vibrational technique, Forest Prod. J., 18 , No. 2, 25 (1968).	E-43	V
BACH, L. and R. E. PENTONEY, Nonlinear mechanical behavior of wood, Forest Prod. J., 18 , No. 3, 60 (1968).	E-42	V
BERNIER, G. A. and D. E. KLINE, Dynamic mechanical behavior of birch compared with methyl methacrylate impregnated birch from 90° to 475°K, Forest Prod. J., 18 , No. 4, 79 (1968).	E-44	V
JAMES, W. L., Effect of temperature on readings of electric moisture meters, Forest Prod. J., 18 , No. 10, 23 (1968).	E-45	VI
KOCH, P. and G. E. WOODSON, Laminating butt-jointed, log-run southern pine veneers into long beams of uniform high strength, Forest Prod. J., 18 , No. 10, 45 (1968).	E-62	VI
SAUER, D. J. and J. G. HAYGREEN, Effects of sorption on the flexural creep behavior of hard-board, Forest Prod. J., 18 , No. 10, 57 (1968).	E-41	V
SIMPSON, W. T. and C. SKAAR, Effect of transverse compressive stress on loss of wood moisture, U. S. Forest Service Res. Note FPL-0197 (1968).	F-6	VI
SCHNIEWIND, A. P., Recent progress in the study of the rheology of wood, Wood Science and Technology, 2 , 188 (1968).	H-9	V
BECKER, H. and D. NOACK, Studies on dynamic torsional viscoelasticity of wood, Wood Science and Technology, 2 , 213 (1968).	H-8	V
FUKADA, E., Piezoelectricity as a fundamental property of wood, Wood Science and		

Technology, 2, 299 (1968).	H—15	VIII
BURMESTER, A., Untersuchungen über den Zusammenhang zwischen Schallgeschwindigkeit und Rohdichte, Quersung-sowie Biegefestigkeit von Holz-spanplatten. Holz als Roh- und Werkstoff, 26, 113 (1968).	I—111	V
MÖHLER, K. und J. EHLBECK, Versuche über das Dauerstandverhalten von Spanplatten und Furnierplatten bei Biegebeanspruchung, Holz als Roh- und Werkstoff, 26, 118 (1968).	I—110	V
KOLB, H., Biegeversuche und Prüfung des Brandverhaltens an Trägern aus verleimten Buchenschäl furnieren, Holz als Roh- und Werkstoff, 26, 277 (1968).	I—156	XII
PLATH, E. und K. ALBERS, Elastizität und Plastizität von Span- und Furnierplatten bei Druck belastungen senkrecht zur Plattenebene (Querdruckverhalten), Holz als Roh und Werkstoff, 26, 325 (1968).	I—109	V
CířEK, L., Einfluß der Feuchtigkeit auf das rheologische Verhalten des Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, 26, 416 (1968).	I—112	VI
NOACK, D. und V. STÖCKMAN, Untersuchungen über das Dauerschwing verhalten von Holz bei Zugbeanspruchung—Erste Mitteilung: Prinzip der Dauerschwingbeanspruchung als statischer Relaxationsversuch mit überlagerter dynamischer Relaxation, Holz als Roh- und Werkstoff, 26, 447 (1968).	I—114	VI
PERKITNY, T. und W. KOKOCIŃSKI, Untersuchungen über das Eindringen von Wasser und Fortschreiten der Quellungsenergie in befeuchteten Holzkörpern, Holz als Roh- und Werkstoff, 26, 469 (1968).	I—063	VI
MOSLEMI, A.A. and J.G. BAIR, Static and dynamic moduli of elasticity in hardboard, Holzforschung, 22, 22 (1968).	J—3	VI
OERTEL, J., Vergleichende Untersuchungen an Holzspan- und harten Faserplatten, 1. Mitteilung: Zusammenhänge zwischen dynamischem E-Modul, statischem E-Modul, Rohdichte und Biegefestigkeit, Holztechnologie, 9, 24 (1968).	K—16	V
OERTEL, J., Vergleichende Untersuchungen and Holzspan- und harten Faserplatten, 3. Mitteilung: Kriechverhalten bei Druck- und Biegebeanspruchung, Holztechnologie, 9, 153 (1968).	K—17	V
HOLZ, D. und J. SCHMIDT, Untersuchungen an Resonanzholz, Holztechnologie, 9, 225 (1968).	K—51	XI
NEUSSER, H., U. KRAMES und K. HAIDINGER, Die Stempeldruckfestigkeit einiger Holzarten unter besonderer Berücksichtigung gebräuchlicher Fußbodenhölzer, Holzforschung und Holzverwertung, 20, 141 (1968).	K—29	VI
GRESSEL, P., Forschungsarbeiten für die Sperrholz- und Spanplattenindustrie (3), Dauerstandverhalten von Holzwerkstoffen, Holz-Zbl., 94, 1523 (1968).	K—37	VII
SADOH, T., Studies on the plasticization of wood. I. Plasticization of wood with tetraethylene pentamine, 木材誌, 15, 29 (1969).	A—80	VI
藤田晋輔, 乾燥割れに関する研究 (第5報), 乾燥中の引張荷重の変化に伴う挙動について, 木材誌, 15, 51 (1969).	A—82	VI
URAKAMI, H. and M. FUKUYAMA, Stress relaxation of wood in bending and in torsion during adsorption of water vapor, 木材誌, 15, 71 (1969).	A—81	VI
北原覚一, 彭 武財, ハードボードの粘弾性的性質について, 木材誌, 15, 154 (1969).	A—84	VI
有馬孝禮, 木材の熱圧縮時のレオロジー的研究 (第一報), 熱圧縮時の変形におよぼす圧縮温度, 圧縮圧の影響, 木材誌, 15, 160 (1969).	A—83	VI
藤田晋輔, 高橋 徹, 熱帯産材の粘弾性 (第2報), 乾燥中にうけた温度と応力とその強度的性質に与える履歴効果, 木材誌, 15, 271 (1969).	A—91	VII
鈴木正治, スギのヤング率と細胞膜構造の関係, 木材誌, 15, 278 (1969).	A—87	VII
伏谷賢美, 飽水状態における木材の応力緩和の温度依存性におよぼすアセチル化処理の影響, 木材誌, 15, 319 (1969).	A—86	VII
継田視明, 川村恵洋, 杉田紘之, スキーの力学的性質に関する一考察, 木材工業, 24, 90 (1969).	B—50	VI

- 彭 武財, 単板オーバーレイのパーティクルボードのクリープに及ぼす効果について, 木材工業, **24**, 178 (1969). B-51 VI
- 有馬孝禮, 熱圧縮における厚さべりについて, 木材工業, **24**, 323 (1969). B-52 VII
- 飯田生穂, 福山万治郎, 浦上弘幸, 引張荷重下における木材の収縮挙動 (1), 京府大演習林報, No. 13, 19 (1969). D-136 VI
- URAKAMI, H., Stress relaxation of wood treated with polyethylene glycol during adsorption of water vapor in bending, 京府大演習林報, No. 13, 26 (1969). D-135 VI
- 棕代純輔, エチルアミンによる木材の可塑化について, 京府大学報・農, No. 21, 54 (1969). D-138 VII
- 杉山英男, 木材ばりの曲げクリープ性状の理論的考察 (その1), 木材および木質材料を用いた構造の断面設計の新体系確立のための提案と考察 (第1報), 建築学会論文報告集, No. 155, 9 (1969). D-149 VIII
- 高橋 徹, 藤田晋輔, 桜井敏夫, 熱帯産材の粘弾性 (第3報), 引張荷重の収縮への影響, 島根大農研報, No. 3, 46 (1969). D-155 IX
- 大久保勲, 北沢政幸, 穴沢 忠, 斎藤藤市, 輸入材と特産材の曲げ加工性に関する研究 (2)—湿潤曲げおよび曲げクリープ試験, 北林産試月報, No. 4, 11 (1969). D-167 XI
- 佐々木徹, 山田 正, 木材の収縮応力 (1), 木材の収縮応力におよぼす初期引張応力の影響, 木材研究, No. 48, 31 (1969). D-042 X
- ERICKSON, R.W. and D.J. SAUER, Flexural creep behavior of redwood heartwood during drying from the green state, Forest Prod. J., **19**, No. 12, 45 (1969). E-64 VII
- BOHANNAN, B. and K. KANVIK, Fatigue strength of finger joints, U.S. Forest Service Res. Note FPL-114 (1969). F-7 VII
- ECHENIQUE-MANRIQUE, R., Stress relaxation of wood at several levels of strain, Wood Science and Technology, **3**, 49 (1969). H-10 VI
- GROSSMAN, P.U.A., L.D. ARMSTRONG and R.S.T. KINGSTON, An assessment of research in wood rheology, Wood Science and Technology, **3**, 324 (1969). H-11 VII
- HAYGREEN, J. and D. SAUER, Prediction of flexural creep and stress rupture in hardboard by use of a time-temperature relationship, Wood Science, **1**, 241 (1969). H-13 VIII
- CURTU, I., N. PARASCHIV und H. FLEISCHER, Die Verformung druckbeanspruchten Eschenholzes in Abhängigkeit von der Probengröße, Holz als Roh- und Werkstoff, **27**, 49 (1969). I-113 VI
- RACZKOWSKI, J., Der Einfluß von Feuchtigkeitsänderungen auf das Kriechverhalten des Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, **27**, 233 (1969). I-118 VI
- KUPNER, M., Änderung der Festigkeit und des Elastizitätsmoduls von Kiefernholz infolge Dauerbeanspruchung, Holz als Roh- und Werkstoff, **27**, 261 (1969). I-117 VI
- BETHE, E., Festigkeitseigenschaften von Bauholz bei Lagerung im Wechselklima unter gleichzeitiger mechanischer Belastung, Holz als Roh- und Werkstoff, **27**, 291 (1969). I-116 VI
- JAIN, N.C., R.C. GUPTA und D.K. JAIN, Der Einfluß von Chemikalien auf den Schubmodul von Holz, Holz als Roh- und Werkstoff, **27**, 333 (1969). I-134 VI
- KRATZ, W., Untersuchungen über das Dauerbiegeverhalten von Holzspanplatten, Holz als Roh- und Werkstoff, **27**, 380 (1969). I-143 VII
- NOACK, D. und V. STÖCKMANN, Untersuchungen über das Dauerschwingverhalten von Holz bei Zugbeanspruchung — Zweite Mitteilung: Dauerschwingverhalten von Rotbuchenholz unter konstanten Temperatur- und Feuchtigkeitsbedingungen, Holz als Roh- und Werkstoff, **27**, 464 (1969). I-146 VIII
- BERZIN'S, G. und I. EGLAJS, Über die zerstörungsfreie Ermittlung der Eigenschaften chemisch plastifizierten Holzes, Holztechnologie, **10**, 147 (1969). K-24 VI
- LELE, D. und E. NEUWIRTH, Deckenbemessung der Plattenbauteile von Korpusmöbeln unter Berücksichtigung der Gebrauchsbeanspruchung, Holztechnologie, **10**, 190 (1969). K-25 VI
- PERKITINY, T. und R. GARCZYŃSKI, Vergleichende Untersuchungen über die Verformungen von Holz, Span- und Faserplatten bei langdauernder Wechselbiege-

belastung, Holztechnologie, 10 , 236 (1969).	K—32	VII
ČIŽEK, L., Über das rheologische Verhalten von Fachwerkträgern mit Nagelplatten-Verbindungen in den Knotenpunkten, Holztechnologie, 10 , 270 (1969).	K—33	VII
LAWNICZAK, M., Effect of pine wood drying condition on its deformation under the influence of unilateral variable bending stresses, Holzforschung und Holzverwertung, 21 , 65 (1969).	K—28	VI
NARAYANAMURTI, D. and K.R. BIRIE, The influence of loading on the rigidity modulus and plastic flow in wood, Influence of impregnants, Holzforschung und Holzverwertung, 21 , 136 (1969).	K—35	VIII
CAVE, I.D. and W.H. ROBINSON, A model for the mechanical damping in wood, I.P.P.S. Conference on Science of Materials, Auckland, 209 (1969).	Z—4	IX
明石光弘, 安川民男, 村上謙吉, 木材—高分子複合材料の力学物性, 工化誌, 73 , 1626 (1970).	D—201	XIV
奥山 剛, 浅野猪久夫, 木材の力学的性質に及ぼすひずみ速度の影響 (第1報), 縦圧縮強度におよぼすひずみ速度の影響について, 木材誌, 16 , 15 (1970).	A—85	VII
奥山 剛, 都築一雄, 浅野猪久夫, 木材の力学的性質に及ぼすひずみ速度の影響 (第2報), 圧縮応力—ひずみ曲線について, 木材誌, 16 , 20 (1970).	A—90	VII
竹村富男, 放湿過程の木材の記憶効果 (第1報), 記憶効果の非線型性, 木材誌, 16 , 108 (1970).	A—88	VII
竹村富男, 放湿過程の木材の記憶効果 (第2報), 非正常理論の実験的検討, 木材誌, 16 , 115 (1970).	A—89	VII
金川 靖, 山田 正, 木材の吸湿ヒステレンスに及ぼす炭化処理の影響, 木材誌, 16 , 126 (1970).	A—92	VII
HIRAI, N., I. ASANO, N. SOBUE and H. NAITO, Studies on piezoelectric effect of wood III, Tree growth and variations of piezoelectric modulus, 木材誌, 16 , 310 (1970).	A—101	VIII
今山延洋, 松本 勲, 木材の疲れに関する研究 (第1報), 疲れ過程の現象的 pursuit, 木材誌, 16 , 319 (1970).	A—102	VIII
三輪雄四郎, 有馬孝禮, 北原覚一, パーティクルボードをコアとした複合材のクリープ, 木材工業, 25 , 314 (1970).	B—53	VII
NORIMOTO, M. and T. YAMADA, The dielectric properties of wood IV, On dielectric dispersions of oven-dried wood, Wood Research, No. 50, 36 (1970).	D—144	VIII
沢辺 攻, 木材の熱軟化に関する研究 (I), 熱処理木材の熱軟化挙動, 岩手大農報, 10 , 35 (1970).	D—143	VIII
藤田晋輔, 高橋 徹, 木材の動的弾性と強度の年輪内における分布について, 静岡大農研報, 20 , 61 (1970).	D—159	IX
中山義雄, 鴛海四郎, 木材の動的弾性に関する研究 (第2報), 人工空洞および人工節の影響, 高知大学学術研究報告, 19 , 農学, No. 15, 125 (1970).	D—174	XII
中山義雄, 鴛海四郎, 木材の動的弾性に関する研究 (第3報), Cantilever Wooden Beam における断面欠損の影響, 高知大学学術研究報告, 19 , 農学, No. 16, 137 (1970).	D—175	XII
NARAYANAMURTI, D., Some investigations on the rheology of wood, Proceedings of the Fifth International Congress on Rheology, 2 , 625 (1970).	D—176	XII
McNATT, J. D., Design stresses for hardboard — Effect of rate, duration, and repeated loading, Forest Prod. J., 20 , No. 1, 53 (1970).	E—66	VII
KREIBICH, R. E. and H. G. FREEMAN, Effect of specimen stressing upon durability of eight wood adhesives, Forest Prod. J., 20 , No. 4, 44 (1970).	E—69	VII
WALTERS, E. O. and R. F. WESTBROOK, Vibration machine grading of southern pine dimension lumber, Forest Prod. J., 20 , No. 5, 24 (1970).	E—65	VII
ECKELMAN, C. A., The fatigue strength of tow-pin moment-resisting dowel joints, Forest Prod. J., 20 , No. 5, 42 (1970).	E—67	VII
COUNTRYMAN, D. R. and J. D. ROSE, Field-glued plywood floors, Forest Prod. J., 20 , No. 10, 17 (1970).	E—73	VIII
CHOW, P., The deflection of composite furniture panels under constant bending stress,		

Forest Prod. J., 20 , No. 12, 44 (1970).	E—71	VIII
MÖHLER, K. und G. MAIER, Kriech- und Relaxations- Verhalten von lufttrockenem und nassem Fichtenholz bei Querdruckbeanspruchung, Holz als Roh- und Werkstoff, 28 , 14 (1970).	I—145	VII
BECKER, H. und L. REITER, Über den Einfluß von Temperatur und Holzfeuchtigkeit auf die Relaxation der Biegespannungen in Rotbuchenholz, Holz als Roh- und Werkstoff, 28 , 264 (1970).	I—144	VII
KUFNER, M., Das Kriechen von Holzspanplatten bei langzeitiger Biegebeanspruchung, Holz als Roh- und Werkstoff, 28 , 429 (1970).	I—147	VIII
NARAYANAMURTI, D. und B. S. ASWATHNARAYANA, Über das Kriechverhalten von Werkstoffen aus Teakholz, Holztechnologie, 11 , 116 (1970).	K—31	VII
NARAYANAMURTI, D., V. J. VICTOR und S. F. XAVIER, Einfluß verschiedener Chemikalien auf das Kriechen und andere Eigenschaften des Holzes, Holztechnologie, 11 , 161 (1970).	K—34	VII
山田 正, 木材の粘弾性変形と構造, 木材誌, 17 , 37 (1971).	A—100	VIII
SAWABE, O., Studies on the thermal softning of wood II, The influence of heat pre-treatment on thermal softning point of dry wood, 木材誌, 17 , 51 (1971).	A—95	VIII
大熊幹章, 森田直樹, 木材の曲げ応力緩和に関する一考察, 木材誌, 17 , 74 (1971).	A—94	VIII
村上良一, 山田晴男, 森 見二, ハードボード用パルプシートの動的粘弾性 (第1報), 熱圧温度と動的粘弾性との関係, 木材誌, 17 , 243 (1971).	A—96	VIII
村上良一, 山田晴男, 森 見二, ハードボード用パルプシートの動的粘弾性 (第2報), パルプシートと有機溶媒との相互作用, 木材誌, 17 , 249 (1971).	A—97	VIII
村上良一, 山田晴男, ハードボード用パルプシートの動的粘弾性 (第3報), 熱処理によるハードボード用パルプシートの微細構造の変化, 木材誌, 17 , 283 (1971).	A—98	VIII
村上良一, 山田晴男, ハードボード用パルプシートの動的粘弾性 (第4報), 脱ニグニン処理の影響, 木材誌, 17 , 288 (1971).	A—99	VIII
堀岡邦典, 木材および木質材料の接着耐久性, 木材誌, 17 , 315 (1971).	A—105	VIII
高橋 徹, ヒバ材の比重と動的諸性質に関する不均質性の検討, 木材誌, 17 , 369 (1971).	A—106	VIII
森 泉周, 伏谷賢美, 蕪木自輔, 木材の粘弾性と構造 (第1報), 応力緩和に及ぼす樹幹部位の影響, 木材誌, 17 , 431 (1971).	A—107	IX
水町 浩, 木材—接着剤複合系の動的粘弾性, 接着協会誌, 7 , 74 (1971).	D—146	VIII
山田 正, 木材の温度 (低温) と物性, 木材研究資料, No. 5, 9 (1971).	D—145	VIII
大釜敏正, 山田 正, 木材の多孔構造と緩和弾性率, 材料, 20 , 1194 (1971).	D—147	VIII
飯田生穂, 福山万治郎, 引張荷重下における木材の収縮挙動 (2), ドライングセットの発生とセットされた木材の膨潤, 収縮について, 京府大演習林報, No. 16, 60 (1971).	D—157	IX
URAKAMI, H., Stress relaxation of wood treated with the formaldehyde in bending and in torsion during absorption of water vapor, 京府大学報・農, No. 23, 88 (1971).	D—158	IX
LEMOINE, T. J. and P. Koch, Steam-bending properties of southern pine, Forest Prod. J., 21 , No. 4, 34 (1971).	E—70	VIII
GREEN, D. and C. Koch, Creep of wood after soaking in liquid anhydrous ammonia, Forest Prod. J., 21 , No. 11, 50 (1971).	E—74	VIII
POLENSEK, A., Static and dynamic properties of glued wood-joist floors. Forest Prod. J., 21 , No. 12, 31 (1971).	E—75	IX
SENFT, J. F. and S. K. SUDDARTH, An analysis of creep-inducing stress in Sitka spruce, Wood and Fiber, 2 , 321 (1971).	H—14	VIII
KEITH, C. T., The anatomy of compression failure in relation to creepinducing stresses, Wood Science, 4 , 71 (1971).	H—28	IX
LEICESTER, R. H., A rheological model for mechano-sorptive deflections of beams, Wood Science and Technology, 5 , 211 (1971).	H—30	IX
LEICESTER, R. H., Lateral deflections of timber beam-columns during drying, Wood Science and Technology, 5 , 221 (1971).	H—31	IX
GROSSMAN, P. U. A., Use of LEICESTER's "Rheological model for mechano-sorptive de-		

- flections of beams”, *Wood Science and Technology*, **5**, 232 (1971). H—32 IX
- SCHNEIDER, A., Untersuchungen über den Einfluß von Wärmebehandlung im Temperaturbereich von 100 bis 200°C auf Elastizitätsmodul, Druckfestigkeit und Bruchschlagarbeit von Kiefern-Splint- und Buchenholz, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **29**, 431 (1971). I—149 IX
- LIPOVSKY, G. and J. RACZKOWSKI, Stress relaxation in wood periodically reloaded to attain initial stress, *Holzforschung*, **25**, 47 (1971). J—5 VIII
- LIPOVSKY, G. and J. RACZKOWSKI, Creep and stress relaxation in wood modified with polymethyl methacrylate, *Holzforschung und Holzverwertung*, **23**, 27 (1971). K—36 VIII
- LAWNICZAK, M., Effect of temperature on some rheological properties of modified beech wood, *Holzforschung und Holzverwertung*, **23**, 107 (1971). K—40 IX
- KALINA, M., Zerstörungsfreie Bestimmung der Dauerfestigkeit von Trägern aus dem rheologischen Verhalten unter Dauerlast, *Holztechnologie*, **12**, 239 (1971). K—41 IX
- KUCHTIK, J., Nie niszczące badanie drewna metoda rezonansowa (Not destructive examination of wood with the aid of a resonant method), *Folia Forestalia Polonica, Seria B*, **10**, 5 (1971). Z—5 IX
- HARAJDA, H. and S. POLISZKO, Próba określenia wpływu niektórych cech technicznych rezonatora świerkowego na wybrane parametry wzmacnianych dźwięków (Tentative determination of the influence of certain technical characters of spruce resonator upon selected parameters of amplified sounds), *Folia Forestalia Polonica, Seria B*, **10**, 19 (1971). Z—6 IX
- ZIEGLER, G. A., W. K. MURPHEY and F. C. BEALL, Operational variables in press drying eastern hemlock, *Forest Prod. J.*, **21**, No. 10, 32 (1971). E—89 X III
- VICK, C. B., Elastomeric adhesives for field-gluing plywood floors. *Forest Prod. J.*, **21**, No. 8, 34 (1971). E—99 X V
- YANG, C., and J. G. HAYGREEN, Predicting flexural creep in particleboard, *Wood and Fiber*, **3**, 146 (1971). H—94 X VIII
- 村瀬安英, 太田 基, 鋼球圧入による木材接触部の緩和挙動について, *木材誌*, **18**, 99 (1972). A—108 IX
- 佐々木徹, 山田 正, 木材の収縮応力 (第2報), 重ね合わせの適用について, *木材誌*, **18**, 169 (1972). A—021 IX
- 奥山 剛, 木材の力学的性質に及ぼすひずみ速度の影響 (第3報), 縦引張強さに及ぼすひずみ速度の影響について, *木材誌*, **18**, 291 (1972). A—109 IX
- 有馬孝禮, 温度変動過程における木材のクリープ (第1報), 温度一定, 上昇, 下降過程におけるクリープ, *木材誌*, **18**, 349 (1972). A—110 IX
- 有馬孝禮, 温度変動過程における木材のクリープ (第2報), 温度変動下のクリープに及ぼす履歴効果について, *木材誌*, **18**, 377 (1972). A—111 IX
- HIRAI, N., N. SOBUE and I. ASANO, Studies on piezoelectric effect of wood. IV, Effects of heat treatment on cellulose crystallites and piezoelectric effect of wood, *木材誌*, **18**, 535 (1972). A—113 IX
- SADOH, T., Studies on the plasticization of wood. III, Temperature dependence of the rheological properties of wood plasticized with tetraethylene pentamine, *木材誌*, **18**, 543 (1972). A—114 IX
- 水町 浩, 原 満, 木材とポリマーとの相互作用に関する研究 (第3報), スギと酢酸ビニル—塩化ビニル共重合体との相互作用, *木材誌*, **18**, 549 (1972). A—115 IX
- 北原龍士, 北村博嗣, 木材および塗装木材の動的弾性率, 内部摩擦について, *宇都宮大農演習林報*, No. 9, 1 (1972). D—154 IX
- AOKI, T. and T. YAMADA, The viscoelastic properties of wood used for the musical instruments I, *Wood Research*, No. 52, 13 (1972). D—160 IX
- O’HALLORAN, M.R., J. BODIG and D.C. BOWDEN, Nondestructive parameters of lodgepole pine dimension lumber in bending, *Forest Prod. J.*, **22**, No. 2, 44 (1972). E—76 IX
- HALLIGAN, A.F. and A.P. SCHNIEWIND, Effect of moisture on physical and creep pro-

- properties of particleboard, *Forest Prod. J.*, **22**, No. 4, 41 (1972). E-77 IX
- ERICKSON, R., M.M. CHEN and T. LEHTINEN, The effect of unidirectional diffusion and prefreezing upon flexural creep in redwood, *Forest Prod. J.*, **22**, No. 10, 56 (1972). E-78 IX
- TANG, R.C. and N.N. HSU, Dynamic YOUNG's moduli of wood related to moisture content, *Wood Science*, **5**, 7 (1972). H-29 IX
- ARMSTRONG, L.D., Deformation of wood in compression during moisture movement, *Wood Science*, **5**, 81 (1972). H-42 X
- SCHNIEWIND, A.P. and J.D. BARRETT, Wood as a linear orthotropic Viscoelastic material, *Wood Science and Technology*, **6**, 43 (1972). H-34 IX
- ARMSTRONG, L.D. and P.U.A. GROSSMAN, The behaviour of particle board and hard-board beams during moisture cycling, *Wood Science and Technology*, **6**, 128 (1972). H-33 IX
- KINGSTON, R.S.T. and B. BUDGEN, Some aspects of the rheological behaviour of wood Part IV: Non-linear behaviour at high stresses in bending and compression, *Wood Science and Technology*, **6**, 230 (1972). H-38 X
- YANG, C. and J.G. HAYGREEN, Predicting flexural creep in particleboard, *Wood and Fiber*, **3**, 146 (1972). H-26 IX
- SCHAFFER, E.L., Modeling the creep of wood in a changing moisture environment, *Wood and Fiber*, **3**, 232 (1972). H-27 IX
- LOTFY, M., M. EL-OSTA and R.W. WELLWOOD, Short-term creep as related to microfibril angle, *Wood and Fiber*, **4**, 26 (1972). H-39 X
- LOTFY, M., M. EL-OSTA and R.W. WELLWOOD, Short-term creep as related to cell-wall crystallinity, *Wood and Fiber*, **4**, 204 (1972). H-40 X
- BLANKENHORN, P.R., G.M. JENKINS and D.E. KLINE, Dynamic mechanical properties and microstructure of some carbonized hardwoods, *Wood and Fiber*, **4**, 212 (1972). H-41 X
- GRESSEL, P., Zeitstandbiegeverhalten von Holzwerkstoffen in Abhängigkeit von Klima und Belastung, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **30**, 259 (1972). I-148 IX
- BECKER, H.F. und G. PECHMANN, Elektroakustische Messungen des Elastizitätsmoduls von Leimfugen an streifenförmigen Lagenhölzern vom Sperrholztyp, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **30**, 303 (1972). I-155 XII
- GRESSEL, P., Untersuchungen über das Zeitstandbiegeverhalten von Holzwerkstoffen in Abhängigkeit von Klima und Belastung, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **30**, 347 (1972). I-150 IX
- GRESSEL, P., Zeitstandbiegeverhalten von Holzwerkstoffen in Abhängigkeit von Klima und Belastung, Dritte Mitteilung: Diskussion der Versuchsergebnisse, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **30**, 479 (1972). I-152 X
- PEARSON, R.G., The effect of duration of load on the bending strength of wood, *Holzforchung*, **26**, 153 (1972). J-6 IX
- PERKITNY, T. und S. STELLER, Vergleichende Untersuchungen über die Verformungen von Sperr- und Schichtholz bei konstanter und variabler Dauerbiegebelastung, *Holztechnologie*, **13**, 43 (1972). K-39 IX
- KOLLMANN, F., Kriechen von Holz und Holzwerkstoffen, *Holztechnologie*, **13**, 88 (1972). K-38 IX
- BERZIN'S, G.V., M.S. MOVNIN, A.E. ZIEMELIS und J.J. LIPIN'S, Über das Walzen von mit Ammoniak behandeltem Holz, *Holztechnologie*, **13**, 209 (1972). K-44 X
- GÜNTHER, B., Über das Verhalten von Spanplatten aus Rinde und Gattersägespänen bei dynamischer Beanspruchung, *Holzindustrie*, **10**, 301 (1972). K-42 IX
- MIZUMACHI, H. and M. FUJINO, Interaction between wood and polymers, *Holzforchung*, **26**, 164 (1972).
- KALINA, M., Rheologisches Verhalten und Dauerfestigkeit von Sperrholz, Spanplatten und harten Faserplatten, *Holztechnologie*, **13**, 172 (1972). K-83 X VII
- 竹村富男, 乾燥応力のコンピュータシミュレーション, *材料*, **22**, 943 (1973). D-0134 X VII
- 有馬孝禮, 温度変動過程における木材のクリープ (第3報), 温度上昇過程のクリープ曲線の予測, *木材誌*, **19**, 75 (1973). A-131 XI

森泉 周, 伏谷賢美, 蕪木自輔, 木材の粘弾性と構造 (第2報), 樹幹内の微細構造の変動と応力緩和との関連性, 木材誌, 19 , 81 (1973).	A-116	X
森泉 周, 伏谷賢美, 蕪木自輔, 木材の粘弾性と構造 (第3報), 飽水状態における応力緩和の温度依存性, 木材誌, 19 , 109 (1973).	A-117	X
SADOH, T., R. KATO and S. MURAOKA, Viscoelastic properties of wood in swelling systems. I. Viscoelastic properties of wood swollen with formamide, 木材誌, 19 , 233 (1973).	A-118	X
三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第3報), 木材の膨潤圧におよぼす初期応力の影響, 木材誌, 19 , 255 (1973).	A-027	X
齊藤藤市, 熱圧縮木材の膨潤圧, 木材誌, 19 , 261 (1973).	A-026	X
北原龍土, 松本 昴, 木材における減衰の機構, 木材誌, 19 , 373 (1973)	A-119	X
徳本守彦, ドライング・セットの水分回復 (第1報), セット材の全膨潤経過, 木材誌, 19 , 577 (1973).	A-129	XI
久田卓興, 筒本卓造, 南洋材のドライグセットについて, 木材工業, 28 , 61 (1973).	B-55	XI
石黒哲一, 平井信之, 竹村富男, 浅野猪久夫, 放射線照射による木材の微細構造と物理的性質の変化, 木材工業, 28 , 559 (1973).	B-54	XI
AOKI, T. and T. YAMADA, The viscoelastic properties of wood used for musical instruments II, Wood Research, No. 54, 31 (1973).	D-162	X
久保隆文, 蕪木自輔, カラマツ材の材質に関する基礎的研究 (第1報), カラマツ材の水抽出成分分布および水抽出成分と物性との関連性について, 東京農工大農学部演習林報告, No. 10, 108 (1973).	D-177	XII
MADSEN, B., Duration of load tests for dry lumber in bending, Forest Prod. J., 23 , No. 2, 21 (1973).	E-79	X
SUTULA, P.R. and A.A. MOSLEMI, Effects of three cyclic constant levels of moisture content on creep deflection in hardboard, Forest Prod. J., 23 , No. 3, 50 (1973).	E-80	X
GROSSMAN, P.U.A., Bowing and cupping due to imbalance in plywood, Forest Prod. J., 23 , No. 6, 54 (1973).	E-81	X
WARREN, W.G., Duration of load tests for dry lumber in blending: A comment, Forest Prod. J., 23 , No. 12, 45 (1973).	E-82	XI
BACH, L., REINER-WEISENBERG's theory applied to time-dependent fracture of wood subjected to various modes of mechanical loading, Wood Science, 5 , 161 (1973).	H-35	X
PALKA, L. C., Predicting the effect of specific gravity, moisture content, temperature and strain rate on the elastic properties of softwoods, Wood Science and Technology, 7 , 127 (1973).	H-46	XI
BLANKENHORN, P.R., D.E. KLINE and F.C. BEALL, Dynamic mechanical behavior of black cherry (<i>Prunus serotina</i> EHRH.), Wood and Fiber, 4 , 298 (1973).	H-36	X
SCHNIEWIND, A.P. and D.E. LYON, Further experiments on creep-rupture life under cyclic environmental conditions, Wood and Fiber, 4 , 334 (1973).	H-37	X
SCHNIEWIND, A.P. and J.C. CENTENO, Fracture toughness and duration of load factor I. Six principal systems of crack propagation and the duration factor for cracks propagating parallel to grain, Wood and Fiber, 5 , 152 (1973).	H-45	XI
BECKER, H. F., Messung der Schubmoduln von Vollholz mit akustischen Torsionsschwingungen, Holz als Roh- und Werkstoff, 31 , 207 (1973).	I-151	X
REINHARDT, H. W., Zur Beschreibung des rheologischen Verhaltens von Holz, Holz als Roh- und Werkstoff, 31 , 352 (1973).	I-153	X
KALINA, M., Rheologie von mit Stahl und glasfaserverstärktem plast armierten Trägern, Holztechnologie, 14 , 29 (1973).	K-43	X
HOLZ, D., Untersuchungen an Resonanzholz, 5. Mitteilung: Über bedeutsame Eigenschaften nativer Nadel- und Laubhölzer im Hinblick auf mechanische und akustische Parameter von Piano-Resonanzböden, Holztechnologie, 14 , 195 (1973).	K-49	XI
NARAYANAMURTI, D., Die Festigkeitseigenschaften von Sperrholz aus in Indien vorkommenden Holzarten, Holztechnologie, 14 , 234 (1973).	K-46	XI

IVANOV, J. M., Bestimmung der Dauerfestigkeit von Holzkonstruktionen anhand der Ergebnisse von Kurzzeitprüfungen, Holztechnologie, 14 , 240 (1973).	K-48	XI
NARAYANAMURTI, D., V.S. DEVARAJAN and A.V. SARADAMBAL. Effect of various defects in various sizes on the mechanical properties of plywood A preliminary investigation, Holzforschung und Holzverwertung, 25 , 151 (1973).	K-45	XI
ASWATHANARAYANA, B.S. and V.J. VICTOR, Stress relaxation in wood, J. Ind Acad. Wood Science, 4 , 1 (1973).	W-3	XII
CHOW, S., Molecular rheology of coniferous wood tissues. Trans. Soc. Rheol., 17 , 109 (1973).	H-72	XV
KUTTIKRISHNAN, P., H.N. JAGADEESH, V.J. VICTOR and J. GEORGE, Coefficient of sustained loading of plywood for structural applications, J. Ind. Acad. Wood Sci., 4 , 38 (1973).	W-4	XVII
PELLERIN, R. F., and C.R. MORSCHAUSER, Nondestructive testing of particleboard, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No. 7, 251 (1973).	H-80	XVII
中山義雄, 断面欠損をもつ木材ばりにおける動的ヤング率の低減について, 高知大学学術研究報告, 23 , 農学 No. 12, 115 (1974).	D-183	XIII
有馬孝禮, 建築材料および部材の耐久設計基準 5, 外周湿度変化状態下の木質材料の反りおよび撓み変化, 建築研究所年報, 67 (1974).	D-189	XIII
佐々木光, エポキシ樹脂による木材接着と破壊力学, 接着, 18 , 172 (1974).	D-213	XV
中山義雄, 断面欠損をもつ木材ビームの振動特性面外曲げについて, 木材誌, 20 , 1 (1974).	A-122	XI
TAKAHASHI, A. and A.P. SCHNIEWIND, Deformation and drying set during cyclic drying and wetting under tensile loads, 木材誌, 20 , 9 (1974).	A-128	XI
今山延洋, 松本 勲, 木材の疲れに関する研究 (第2報), 疲れに伴う発熱温度の変化について, 木材誌, 20 , 53 (1974).	A-122	XI
SADOH, T. and M. OHGOSHI, Viscoelastic properties of wood in swelling systems II. Viscoelastic properties of wood swollen with ethylene glycol and polyethylene glycols, 木材誌, 20 , 177 (1974).	A-120	XI
奥山 剛, 木材の力学的性質に及ぼすひずみ速度の影響 (第4報), 曲げ強さに及ぼすたわみ速度と温度との影響について, 木材誌, 20 , 210 (1974).	A-124	XI
北原龍士, 松本 勲, 木材の力学的損失の温度依存性, 木材誌, 20 , 349 (1974).	A-125	XI
有馬孝禮, 木材の熱圧縮時のレオロジー的研究 (第2報), 熱圧過程の変形におよぼす木材内部温度および含水率の影響, 木材誌, 20 , 355 (1974).	A-126	XI
有馬孝禮, 木材の熱圧縮時のレオロジー的研究 (第3報), 変形機構に関する一考察, 木材誌, 20 , 362 (1974).	A-127	XI
SAWABE, O., Studies of the thermal softening of wood. III. Effects of the temperature on the bending creep of dry Hinoki wood, 木材誌, 20 , 517 (1974).	A-132	XII
IWASHITA, M., Studies on particleboard (XII) On the evaluation of adaptable qualities for furniture or building materials (1) The influence of overlay on creep properties of particleboard, 林試研報, No. 263, 65 (1974).	C-10	XI
SUMIYA, K. and T. YAMADA, Effect of indole-3-acetic acid on stress relaxation of Japanese black pine seedling, Wood Research, No. 56, 13 (1974).	D-164	XI
OHGAMA, T. and T. YAMADA, Porous structure of wood and its relaxation modulus II, Wood Research, No. 56, 28 (1974).	D-165	XI
MORI, M., M NORIMOTO and T. YAMADA, A consideration on stress relaxation of wood cell wall, Wood Research, No. 56, 33 (1974).	D-166	XI
中山義雄, 断面欠損をもつ木材ばりの固有振動数, 高知大学農学部紀要, No. 26, 1 (1974).	D-172	XII
飯田生穂, 福山万治郎, 浦上弘幸, 引張荷重下における木材の収縮挙動 (3), セットされた木材の膨潤, 収縮について, 京都府立大学農学部演習林報告, No. 19, 7 (1974).	D-178	XII
MCLAIN, T.E. and J. BODIG, Determination of elastic parameters of full-size wood composite boards, Forest Prod. J., 24 , No. 4, 48 (1974).	E-83	XI
MILLER, D.G. and P. GEORGE, Effect of stress level on the creep of eastern white spruce		

in bending, Wood Science, 7, 21 (1974).	H-44	XI
CHEN, M.M., A proposed explanation for the phenomenological rheology of prefrozen redwood, Wood Science, 7, 34 (1974).	H-43	XI
MILLER, D.G. and P. GEORGE, A method of measuring creep and recovery due to flexural loads of short duration, Wood Science, 7, 153 (1974).	H-74	XII
BOEHME, C. und U. SCHULZ, Tragverhalten eines GFK-Holzsandwichs, Holz als Roh- und Werkstoff, 32, 250 (1974).	I-154	XI
SOSNIN, M.J., Untersuchungen der Elastizität und Verformbarkeit der Spanvliese bei der Spanplattenpressung, I. Mitteilung: Der Einfluß technologischer Faktoren auf die elastischen Kräfte, Holztechnologie, 15, 45 (1974).	K-50	XI
GANOWICZ, R. und K. KWIATKOWSKI, Die Untersuchung des Kriechens mehrschichtiger Platten, Holztechnologie, 15, 95 (1974).	K-47	XI
DZIUBA, T. und R. GANOWICZ, Analyse der Rheologie von Polstermöbelgestellen, Holztechnologie, 15, 197 (1974).	K-53	XII
NARAYANAMURTI, D., V.S. DEVARAIAN, G.D. MEHAN and G.S. BABY, JANAKI, Effect of various defects on the mechanical properties of commercial plywood, Holzforschung und Holzverwertung, 26, 131 (1974).	K-52	XII
MOORE, G.R., P.R. BLANKENHORN, F.C. BEALL and D.E. KLINE, Some physical properties of birch carbonized in a nitrogen atmosphere, Wood and Fiber, 6, 193 (1974).	H-55	X III
HASEGAWA, Y., and T. YAMADA, The changes of stress relaxation curves and structure of pine seedlings. 木材誌, 20, 98 (1974).	A-155	X V
ASWATHANARAYANA, B.S., and V.J. VICTOR, Rheological constants of wood and wood-based panel materials by simplified short term loading tests, J. Ind Acad. Wood Sci., 5, 61 (1974).	W-5	X VII
SEETHARAMU, L., V.J. VICTOR and J. GEORGE, Resistance to sustained load of polyvinyl acetate dispersion-based adhesives Part II, J. IPIRI, 4, 81 (1974).	W-7	X VII
杉山英男, 鈴木秀三, 枠組壁工法を用いた耐力壁のせん断性状に及ぼす試験方法・シーリング・釘打ちの影響に関する実験的研究 (第1報—耐力壁脚部の回転の影響を除かない場合の考察)—木質構造の新しい設計体系確立のための提案と考察(第11報)—, 日本建築学会論文集, 第232号, 1, (1975).	D-202	X IV
杉山英男, 鈴木秀三, 枠組壁工法を用いた耐力壁のせん断性状に及ぼす試験方法・シーリング・釘打ちの影響に関する実験的研究 (第2報—耐力壁脚部の回転の影響を除いた場合の考察)—木質構造の新しい設計体系の確立のための提案と考察(第12報)—, 日本建築学会論文集, 第233号, 39, (1975).	D-203	X IV
森 光正, 伏谷賢美, 蕪木自輔, 木材の曲げクリープ破壊における破壊時間のばらつきと荷重面との関係, 木材誌, 21, 51 (1975).	A-130	XII
中山義雄, 振動法による木材ばりの非破壊試験—円孔をもつばりの曲げ破壊係数の推定—, 木材誌, 21, 402 (1975).	A-133	XII
北原龍士, 松本 昴, 木材の力学的減衰におよぼす温度の影響—1 MHz でのパルス透過法による測定, 木材誌, 21, 410 (1975).	A-134	XII
佐道 健, 木村泰男, ねじり変形下における材木中の水分応力の変化, 木材誌, 21, 430 (1975).	A-041	XII
片岡明雄, 小野晃明, 木材試験片の振動および動力学的性質の測定値と実験条件の関係 (第1報), 測定装置にもとづく誤差, 木材誌, 21, 543 (1975).	A-135	XII
伏谷賢美, 坊野喜彦, 集成材の曲げクリープについて, 木材工業, 30, 211 (1975).	B-56	XII
小林 純, 塩倉高義, 響板用木材の振動特性に及ぼす塗装の影響, 木材工業, 30, 400 (1975).	B-57	XII
大迫靖雄, 新生圧縮あて材の物性に関する研究, 材料, 24, 849 (1975).	D-0010	XII
大釜敏正, 山田 正, 多孔体としての木材の緩和弾性率, 材料, 24, 873 (1975).	D-179	XII
徳本守彦, セット材の弾性率, 材料, 24, 879 (1975).	D-180	XII
佐藤秀次, 白石信夫, 佐道 健, 横田徳郎, セルロースおよびリグニン溶剤を用いた木材のセット, 材料, 24, 885 (1975).	D-181	XII

- 布村昭夫, 伊東英武, 葛西 章, 駒沢克己, 山岸宏一, 集成梁の載荷加熱試験 (1), 燃焼に及ぼす防火塗料の効果, 北林産試月報, No. 4, 5 (1975). D-168 XII
- 工藤 修, 倉田久敬, 長原芳男, 今野浩安, 集成梁の載荷加熱試験 (2), 強度性能について, 北林産試月報, No. 4, 11 (1975). D-169 XII
- GERHARDS, C.C., Stress wave speed and MOE of sweetgum ranging from 150 to 15 percent MC, Forest Prod. J., 25, No. 4, 51 (1975). E-84 XII
- BACH, L., Failure perpendicular to the grain in wood subjected to sustained bending loads, Wood Science, 7, 323 (1975). H-48 XII
- MINDESS, S., J.S. NADEAU and J.D. BARRETT, Slow crack growth in Douglas-fir, Wood Science, 8, 389 (1975). H-50 XII
- ILLE, R., Eigenschaften und Verarbeitung von Fichtenresonanzholz für Meistergeigen, Holztechnologie, 16, 95 (1975). K-55 XII
- BYVSHIKH, M. D., Effect of moisture content and temperature of wood on its elastic and plastic properties. C. S. I. R. O. trans. Q-2 I
- McNATT, J. D., Effect of rate of loading and duration of load on properties of particleboard, USDA Forest Service Research Paper, FPL 270, (1975). F-10 X III
- RANTA-MAUNUS, A., The viscoelasticity of wood at varying moisture content, Wood Science and Technology, 9, 189 (1975). H-51 X III
- MEDEARIS, K., Response of a wood residence to nuclear-induced seismic excitation, Wood Science, 8, 105 (1975). H-52 X III
- POLENSEK, A., Damping capacity of nailed wood-joint floors, Wood Science, 8, 141 (1975). H-53 X III
- WANG, J-H. and F. C. BEALL, Laboratory press-drying of red oak, Wood Science, 8, 131 (1975). H-56 X III
- NARAYANAMURTI, D., V. S. DEVARAJAN, G. D. MOHAN and P. K. PADAKI, Effect of various defects on the mechanical properties of commercial plywood, Holzforschung und Holzverwertung, 27, 41 (1975). K-58 X III
- 水町 浩, 木材とポリマーとの複合系における素材間の相互作用について, 接着協会誌, 11, 17 (1975). D-208 X IV
- CORDER, S. E. and D. E. JORDAN, Some performance characteristics of wood joist floor panels, Forest Prod. J., 25, No. 2, 38 (1975). E-90 X IV
- HAYGREEN, J., H. HALL, K. YANG and R. SAWICKI, Studies of flexural creep behavior in particleboard under changing humidity conditions, Wood and Fiber, 7, 74 (1975). H-57 X IV
- SELLEVOLD, E.J., F. RADJY, P. HOFFMEYER and L. BACH, Low temperature internal friction and dynamic modulus for beach wood, Wood and Fiber, 7, 162 (1975). H-58 X IV
- HOYLE, R.J., Jr., and R.D. ADAMS, Load duration factors for strand wood, plywood, and clear wood, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No.9, 83 (1975) H-81 X VII
- LEHMANN, W.F., T.J. RAMAKER and F.V. HEFTY, Creep characteristics of structural panels, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No.9, 151 (1975) H-82 X VII
- DINWOODIE, J.M., Timber — a review of the structure-mechanical property relationship, J. Microscopy, 104, 3 (1975) O-16 X VII
- 片岡明雄, 小野晃明, 木材試験片の振動および動力学的性質の測定値と実験条件の関係 (第2報), 試験片の形状および寸法について, 木材誌, 22, 1 (1976). A-136 X III
- 宮川秀俊, 森 稔, 木材および木質材料の衝撃的性質 (第1報), 低サイクルにおける木材の衝撃引張疲労, 木材誌, 22, 69 (1976). A-137 X III
- 祖父江信夫, 浅野猪久夫, 木材の微細構造と力学的性質に関する研究, 細胞壁の繊維方向のヤング率とせん断弾性係数, 木材誌, 22, 211 (1976). A-138 XII
- OKUMA, M., Manufacture and performance of construction use particleboard. III. On the durability of particleboard, 木材誌, 22, 303 (1976). A-139 X III
- 田所賢一, 佐野 健, 中戸莞二, 木材-ポリ酢酸ビニル複合体の粘弾性挙動の温度依存性, 木材誌, 22, 309 (1976). A-140 X III

小野晶孝, 構造接着の現況と問題点, 木材工業, 31 , 2 (1976).	B-58	X III
斉藤藤市, 熱圧縮木質材料の寸法変化 (1), 木材工業, 31 , 8 (1976).	B-049	X III
SUMIYA, K. and T. YAMADA, Effect of indole-3-acetic acid on tensile creep of Japanese black pine hypocotyl, Wood Research, No. 59/60, 1 (1976).	D-182	X III
藤原新二, 松本 昶, 超音波パルス法による木材中の音速とヤング率について, 高知大学農学部演習林報告, No. 5, 37 (1976).	D-184	X III
林 弘也, 小田一幸, 松本 昶, 木材の音波の伝播速度とヤング率について, 九州大学農学部演習林集報, No. 26, 119 (1976).	D-185	X III
丸山 武, 伊藤勝彦, 宮野 博, 枠組壁工法による小屋組の耐力, 北林産試月報, No. 294, 1 (1976).	D-186	X III
沢辺 攻, 服部富雄, 安蘇国猛, 低温度熱処理による乾燥木材の応力緩和の変化機構について, 岩手大学農学部演習林報告, No. 7, 15 (1976).	D-187	X III
伊藤勝彦, 丸山 武, 宮野 博, 合板ガセット接着法による木造山形ラーメンの剛性と強度, 北林産試研報, No. 65, 1 (1976).	D-188	X III
片岡明雄, 小野晃明, 楽器響板用シトカスブルース材の動力学的性質, 木材誌, 22 , 436 (1976).	A-141	X IV
高柳寛司, 林 龍一, 大野福也, 宇川 暹, いすの力学的性能 (第1報), 静荷重試験および繰返し衝撃試験, 木材誌, 22 , 661 (1976).	A-142	X IV
中川洋介, 伏谷賢美, 蕪木自輔, スギ圧縮アテ材の材質の特徴 (第1報), 応力緩和の特徴と温度依存性について, 東京農工大学演習林報告, No. 13, 13 (1976).	D-192	X IV
中川洋介, 伏谷賢美, 蕪木自輔, スギ圧縮アテ材の材質の特徴 (第2報), 微細構造の変動と応力緩和との関連性, 東京農工大学演習林報告, No. 13, 27 (1976).	D-193	X IV
半田 隆, 吉澤秀二, 池田康久, 斉藤 実, 木材-ポリマー複合体 (WPC) 中のポリマーの状態の動的粘弾性に及ぼす影響, 高分子論文集, 33 , 147 (1976).	D-199	X IV
杉山英男, 菊池重昭, 野口弘行, 実大建物加力試験を通して見た枠組壁工法による合板張り耐力壁のせん断耐力, 日本建築学会論文集, 第247号, 11 (1976).	D-204	X IV
野口弘行, 杉山英男, 枠組壁工法建物内における層せん断力の流れについて (第1報), 日本建築学会論文集, 第248号, 1 (1976).	D-205	X IV
大迫靖雄, アカマツの形成初期における物性に関する研究, 熊本大学教育学部紀要, 第25号, 自然科学, 5 (1976).	D-210	X V
McNATT, J.D. and F. WERREN, Fatigue properties of three particleboards in tension and interlaminar shear, Forest Prod. J., 26 , No. 5, 45 (1976).	E-85	X III
NEMETH, L.J. and C.D. EPLING, Impact loading experimentation, Forest Prod. J., 26 , No. 2, 49 (1976).	E-86	X III
HOYLE, R.J., Jr., Designing wood structures bonded with elastomeric adhesives, Forest Prod. J., 26 , No. 3, 28 (1976).	E-87 X V	X III
MADSEN, B. and D. BARRETT, Duration of load, Forest Prod. J., 26 , No. 2, 57 (1976).	E-88	X III
ROBERT, J., and R.J. HOYLE, Jr., Designing wood structures bonded with elastomeric adhesives. Forest Prod. J., 26 , No. 3, 28 (1976).	E-87	X V
ATHERTON, G.H., A. POLENSEK and S.E. CORDER, Human response to walking and impact vibration of wood floors, Forest Prod. J., 26 , No. 10, 40 (1976).	E-91	X IV
WILKINSON, T.L., Vibrational loading of mechanically fastened wood joints, USDA Forest Service Research Paper, FPL 274, (1976).	F-12	X IV
HILTON, K.C., A. POLENSEK and G.H. ATHERTON, Effect of nail spacing on rigidity of a plywood-wood joint, Wood Science, 8 , 234 (1976).	H-54	X III
POLENSEK, A., Damping of roof diaphragms with tongue-and-groove decking, Wood Science, 9 , 70 (1976).	H-60	X IV
KIRBACH, E., L. BACH, R.W. WELLWOOD and J.W. WILSON, On the fractional stress relaxation of coniferous wood tissues, Wood and Fiber, 8 , 74 (1976).	H-59	X IV
UGOLEV, B.N., General laws of wood deformation and rheological properties of hardwood, Wood Science and Technology, 10 , 169 (1976).	H-61	X IV
STRICKLER, M.D., R.F. PELLERIN and J.W. MARTIN, Duration of load characteristics		

- of structural members in bending and tension, Washington State University, College of Engineering Bull. 340, 1 (1976). H-62 X IV
- DONG, C.C., and HOYLE, R. Jr., Elastomeric adhesive properties-shear strength, shear modulus, creep, and recovery. Wood and Fiber, 8, 98 (1976). H-71 X V
- RADU, A. und D. BRENNDÖRFER, Zur zerstörungsfreien Prüfung des Holzes durch Schwingungsversuche, Holz als Roh- und Werkstoff, 34, 219 (1976). I-157 X III
- PERKITNY, T. und Z. HOFFMANN, Zur Relaxation von Holz nach verschieden langer, konstanter Durchbiegung, Holz als Roh- und Werkstoff, 34, 167 (1976). I-158 X III
- EYERE, P. und P. BÖHRINGER, Mikrohärteprüfung an Spanplatten, Spanplattenbeschichtung und Vollholz, Holz als Roh- und Werkstoff, 34, 251 (1976). I-159 X III
- BOEHME, C., Verbesserung der Kriechverhaltens von Holzwerkstoffen durch GFK-Beplankung, Holz als Roh- und Werkstoff, 34, 453 (1976). I-161 X IV
- NARAYANAMURTI, D., G.D. MOHAN and V.S. DEVARAJAN, Impact strength properties of plywood, Holzforschung und Holzverwertung, 28, 130 (1976). K-61 X IV
- ROCENS, K., Die rheologische Eigenschaften von mit Ammoniak plastifiziertem Holz, Holztechnologie, 17, 40 (1976). K-59 X III
- ILLE, R., Eigenschaften und Verarbeitung von Fichtenresonanzholz für Meistergeigen (II), Holztechnologie, 17, 32 (1976). K-60 XII
- HUNT, D.G., Rupture tests of wood chipboard under long-term loading, J. Inst. Wood Sci., 7, No. 3, 13 (1976). O-10 X III
- RACZKOWSKI, J., W. WIECHOWICZ, Pelzanie i wytrzymałość drewna zginanego w środowisku gazowego chloru (Creep and strength of wood subjected to bending in the medium of gaseous chlorine), Roczniki Akademii Rolniczej w Poznaniu-81, 97 (1976). (英要約あり) Z-7 X III
- HELIŃSKA-RACZKOWSKA, L., J. RACZKOWSKI, S. WARDULEŃSKI, Wpływ początkowych naprężeń ściskających na dociskowe ciśnienie pęcznienia drewna (Effect of initial compression stresses on swelling pressure of wood under bearing loads), Poznańskie towarzystwo przyjaciół nauk wydział nauk technicznych prace komisji technologii drewna tom 6, 31 (1976). (英要約あり) Z-018 X III
- PIERCE, C.B., The Weibull distribution and the determination of its parameters for application to timber strength data, Building Research Establishment Current Paper, No.CP 26/76 (1976). O-17 X VIII
- 林 燦輝, 大熊幹章, 構造用パーティクルボードの耐久性 (第1報), 繰り返し荷重試験による耐水性の評価, 木材誌, 23, 660 (1977). A-162 X V
- 青木 務, 山田 正, 木材の非晶化過程および非晶化材のクリープ, 木材誌, 23, 10 (1977). A-143 X IV
- 青木 務, 山田 正, 木材のケモレオロジー (第1報), 酸加水分解過程における木材の応力緩和, 木材誌, 23, 107 (1977). A-144 X IV
- 青木 務, 山田 正, 木材のケモレオロジー (第2報), 酸加水分解過程における木材の振り, 木材誌, 23, 125 (1977). A-145 X IV
- HIRAI, N. and K. OKAMURA, Studies on piezoelectric effect of wood. VI. Temperature absorption of complex piezoelectric modulus of wood, 木材誌, 23, 413 (1977). A-146 X IV
- 大迫靖雄, 加藤英郎, 木材の形成と物性に関する研究 (第4報), アカマツの新生枝材について, 木材誌, 23, 521 (1977). A-147 X IV
- 平嶋義彦, 鴛海四郎, 枠組壁工法住宅床組の構造耐力試験 (I), 木材工業, 32, 396 (1977). B-59 X IV
- 大迫靖雄, 宮川秀俊, アカマツ苗条の力学的性質に関する研究, 材料, 26, 424 (1977). D-190 X IV
- 奥村昌和, 白石信夫, 佐道 健, 横田徳郎, 木材-PMMA 複合体の粘弾性挙動の温度依存性, 材料, 26, 465 (1977). D-191 X IV
- 白石信夫, 木材の結晶領域内を含む化学加工, 接着協会誌, 13, 49 (1977). D-198 X IV
- 半田 隆, 吉澤秀二, 池田康久, 斉藤 実, 木材-ポリマー複合体 (WPC) 中のポリスチレン (PSt) と木材の相互作用, 高分子論文集, 34, 195 (1977). D-200 X IV
- 丸山 武, 伊藤勝彦, 宮野 博, 連結壁体パネルのせん断性能, 北林産試験報, No. 66,

- 109 (1977). D-194 XIV
- 藤田修身, 坂田 正, 増井久男, 矢入 徹, 家具用棚材のクリープに関する研究 (第1報), パーティクルボードを芯材としたパネル, 静岡県工業試験場報告, No. 21, 37 (1977). D-195 XIV
- AOKI, T., M. NORIMOTO and T. YAMADA, Some physical properties of wood and cellulose irradiated with gamma rays, Wood Research, No. 62, 19 (1977). D-196 XIV
- 飯田生穂, 引張荷重下における木材の収縮挙動 (4), セットに関与する2, 3の因子について (その1), 京都府立大学農学部演習林報告, No. 21, 14 (1977). D-197 XIV
- 伊藤勝彦, 丸山 武, 宮野 博, 倉田久敬, 山本 宏, 工藤 修, メタルプレート接合トラスの性能, 北林産試月報, No. 1, 8 (1977). D-211 XV
- OROSZ, I., Relationship between transverse free vibration E and other properties as affected by knots, Forest Prod. J., 27, No. 1, 23 (1977). E-93 XIV
- MACKAY, J.F.G., E.A. HAMM and R.O. FOSCHI, Reducing crook in kiln-dried northern aspen studs, Forest Prod. J., 27, No. 3, 33 (1977). E-94 XIV
- WARREN, W.G. and B. MADSEN, Computer-assisted experimental design in forest products research: A case study based on testing the duration-of-load effect, Forest Prod. J., 27, No. 3, 45 (1977). E-95 XIV
- HALL, H., J. HAYGREEN and B. NEISSE, Creep of particleboard and plywood floor deck under concentrated loading, Forest Prod. J., 27, No. 5, 23 (1977). E-92 XIV
- KAISERLIK, J.H. and R.F. PELLERIN, Stress wave attenuation as an indicator of lumber strength, Forest Prod. J., 27, No. 6, 39 (1977). E-96 XIV
- GERHARDS, C.C., Effect of duration and rate of loading on strength of wood and wood-based materials, USDA Forest Service Research Paper, FPL 283, (1977). F-11 XIV
- KONARSKI, B. and J. WAŻNY, Zusammenhang zwischen der Ultraschallgeschwindigkeit und den mechanischen Eigenschaften pilzbefallenen Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, 35, 341 (1977). I-160 XIV
- MOHLER, K. and K. HEMMER, Verformungs- und Festigkeitsverhalten von Nadelvoll- und Brettschichtholz bei Torsionsbeanspruchung, Holz als Roh- und Werkstoff, 35, 473 (1977). I-162 XIV
- SOLAR, F., Erforschung einiger aktueller Probleme bei brettschichtverleimten Trägern, Teil I. Herstellung von Versuchsträgern mit gezielt eingebauten Produktionsfehlern, Ermittlung der Temperaturverteilung im Jahresablauf sowie Untersuchung der durch verschieden feuchte Lamellen auftretenden Schubspannungen in einem Holzer-Träger, Holzforschung und Holzverwertung, 29, 1 (1977). K-62 XIV
- NARAYANAMURTI, D., V.S. DEVARAJAN and G.D. MOHAN, Interrelationship between the modulus of elasticity and modulus of rupture of 3ply plywood with various defects, Holzforschung und Holzverwertung, 29, 32 (1977). K-63 XIV
- TOMIN, M., Zur Rißausbreitung im Holz bei Schwingbeanspruchung, Holztechnologie, 18, 1 (1977). K-66 XV
- RACZKOWSKA, L.H. und J. RACZKOWSKI, Die mechanischen Eigenschaften von Holz, das unter Zugspannung längs zu den Fasern getrocknet wurde, Holztechnologie, 18, 201 (1977). K-67 XV
- KÄLLSNER, B. and NOREN, B., Creep buckling of wood columns, Med. Svensk, Träf. A. No. 518, 28 (1978).
- SCHNIEWIND, A.P., Fracture toughness and duration of load factor, Wood and Fiber, 9, 216 (1977).
- GERHARDS, C.C., Time-related effects of loads on strength of wood, Proc. Conference on Environmental Degradation of Engineering Materials, 613 (1977). H-85 XVII
- PEARSON, R.G., An interim industry standard for deriving allowable unit values for structural particleboard in bending, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No. 11, 333 (1977). H-87 XVII
- VICTOR, V.J., B.S. ASWATHANARAYANA, L. SEETHARAMU, K. SHYAMASUNDAR, V. PADMINI

- and M.V. NAIDU, Hardwood structural plywood: Part I Physical-mechanical properties of structural plywood from gurjan, pali and hollong, *J. Ind. Acad. Wood Sci.*, **8**, 65 (1977). W-6 X VII
- KYOKONG, B. and E.D. BELLO, Relationship of dynamic modulus of elasticity with static modulus of elasticity and modulus of rupture of DIPTEROCARPUS GRANDIFLORUS and SHOREA POLYSPERMA, *Pterocarpus*, **3**, No. 1, 43 (1977). Z-9 X VIII
- 辻野哲司, 木質箱型梁の曲げに関する研究, *木材誌*, **24**, 39 (1978). A-151 X V
- 半田 隆, 吉澤秀二, 福岡正芳, ポリスチレンによる木材-ポリマー-複合体 (WPC) の低温領域における誘電特性, *高分子論文集*, **35**, 307 (1978). D-220 VI
- 友松昭雄, 伏谷賢美, 蕪木自輔, 低サイクルにおける木材の衝撃曲げ疲労, *東京農工大学演習林報告*, No. 14, 1 (1978). D-207 X IV
- 森本 健, 伏谷賢美, 木材-ポリメタクリル酸メチル複合体の粘弾性の温度依存性, *東京農工大学演習林報告*, No. 14, 17 (1978). D-206 X IV
- 坂田良二, 植木芳茂, 徳武道雄, スキー材料の疲労特性に関する研究, *長野県工業試験所報告*, No. 46, 42 (1978). D-238 X VIII
- ISHIHARA, K., N. SOBUE and T. TAKEMURA, Effect of grain angle on complex young's modulus E of spruce and hoo, *木材誌*, **24**, 375 (1978). A-150 X V
- 森泉 周, 岡野 健, 木材の粘弾性と構造 (第4報), 含水率および時間に依存した結晶格子ひずみの挙動, *木材誌*, **24**, 1 (1978). A-152 X V
- 土井 登, 伏谷賢美, 蕪木自輔, ドライングセットによる木材中のセルロース結晶の格子面間隔変化, *木材誌*, **24**, 217 (1978). A-159 X V
- 佐道 健, 武沢 宏, 土屋昌一, 中戸莞二, エラストマー接着層をもつ単板積層材 (第1報), 曲げ力学的性質の特徴, *木材誌*, **24**, 294 (1978). A-148 X V
- 青木 務, 山田 正, 木材のケモレオロジー (第3報), 溶液拡散過程における木材の応力緩和, *木材誌*, **24**, 380 (1978). A-149 X V
- MUKUDAI, J., S. SAKAMOTO, H. KADITA and S. YATA, Evaluating of linear viscoelastic behavior of wood. I. On deflection of plate shear test specimen being subjected to load changing with lapse of time. *木材誌*, **24**, 447 (1978). A-153 X V
- MUKUDAI, J. and S. SAKAMOTO, Evaluating of linear viscoelastic behavior of wood. II. On change of load on plate shear test specimen being subjected to deflection changing with lapse of time. *木材誌*, **24**, 605 (1978). A-154 X V
- 青木 務, 山田 正, 木材のケモレオロジー (第4報), 緩和時間と反応速度定数, *木材誌*, **24**, 784 (1978). A-156 X V
- 木迫靖雄, 木材の形成と物性に関する研究 (第7報), クロマツ新生木部の粘弾性的性質, *木材誌*, **24**, 852 (1978). A-160 X V
- 佐道 健, 岩木成土, 西口信吾, 中戸莞二, エラストマー接着層をもつ単板積層材 (第2報), 曲げ力学的性質に及ぼす接着層の効果, *木材誌*, **24**, 873 (1978). A-157 X V
- 林 燦輝, 大熊幹章, 構造用パーティクルボードの耐久性 (第2報), 繰り返し荷重試験によるたわみの増加, *木材誌*, **24**, 879 (1978). A-161 X V
- 中井 孝, ボード類の曲げクリープ試験 (1), *木材工業*, **33**, 158 (1978). B-60 X V
- 中井 孝, ボード類の曲げクリープ試験 (2), 完, *木材工業*, **33**, 247 (1978). B-61 X V
- 伊藤勝彦, 丸山 武, 宮野 博, 森泉 周, 接合工法の異なる屋根トラスの強度性能, *北林産試月報*, No. 8, 17 (1978). D-209 X V
- 伏谷賢美, 乾湿繰返し処理による木材の物性安定化, *木材工業*, **33**, 202 (1978). B-058 X V
- 山本 宏, 高橋政治, 川口信隆, 滝沢忠昭, カラマツ生材の狂いの拘束 (1), 一心持ち正角材のネジレ拘束トルクについて一, *北林産試月報*, No. 6, 7 (1978). D-0123 X V
- HALL, H. and J. HAYGREEN, Flexural creep of 5/8-inch particleboard and plywood during 2 years of concentrated loading. *Forest Prod. J.*, **28**, No. 6, 19 (1978). E-97 X V
- LYON, D.E. and H.M. BARNES, Time-dependent properties of particleboard decking in flexure. *Forest Prod. J.*, **28**, No. 12, 28 (1978). E-98 X V
- PASCHALIS, P., Bestimmung der Korrelation zwischen ausgewählten Festigkeitseigenschaften und Strukturmerkmalen von Holz mit Anwendung des Resonanz- und

- Ultraschallverfahrens, *Holztechnologie*, **19**, 14 (1978). K—64 XV
- BACHMANN, G. und W. HÄßLER, Das Verhalten von waagerechten tragenden Möbelbaugruppen bei Dauerstandbelastung, *Holztechnologie*, **19**, 44 (1978). K—68 XV
- RACZKOWSKA, L.H., and J. RACZKOWSKI, Creep in pine wood subjected previously to atmospheric corrosion in contact with rusting iron. *Holzforschung und Holzverwertung*, **30**, 50 (1978). K—65 XV
- POLENSEK, A., Properties of components and joints for rational design procedure of wood-stud walls. *Wood Science*, **10**, 167 (1978). H—65 XV
- GERHARDS, C.C., Comparison of two nondestructive instruments for measuring pulse transit time in wood. *Wood Science*, **11**, 13 (1978). H—66 XV
- MENNATT, J.D., Linear regression of fatigue data. *Wood Science*, **11**, 39 (1978). H—67 XV
- HOYLE, R., Jr., and J.K. HSU, Shear strength and shear modulus of an elastomeric adhesive subject to repeated stress. *Wood Science*, **11**, 65 (1978). H—69 XV
- GERHARD, C.C., Effect of earlywood and latewood on stress-wave measurements parallel to the grain. *Wood Science*, **11**, 69 (1978). H—70 XV
- ARIMA, T. and P.U.A. GROSSMAN, Recovery of wood after mechano-sorptive deformation, *J. Institute of Wood Science*, **8**, 47 (1978). O—018 XV
- LYON, D.E. and A.P. SCHNIEWIND, Prediction of creep in plywood part 1. Prediction models for creep in plywood, *Wood and Fiber*, **10**, 28 (1978). H—78 XVI
- DINWOODIE, J.M., The properties and performance of particleboard adhesives, *J. Inst. Wood Sci.*, **8**, 59 (1978). O—12 XVI
- DUNLOP, J.I., Damping loss in wood at mid kilohertz frequencies, *Wood Science and Technology*, **12**, 49 (1978). H—63 XIV
- HSU, J.K. and R.J. HOYL Q., Jr., Factors affecting measurement of shear modulus for an elastomeric construction adhesive, *Wood Science*, **10**, 105 (1978). H—64 XIV
- SUPERFESKY, M.J., and T.J. RAMAKER, Hardboard-webbed I-beams: Effect of long-term loading and loading environment, *Research Paper FPL 306* (1978). F—14 XVIII
- MCDONALD, K.A., Lumber defect detection by ultrasonics, *Forest Service Research Paper, FPL 306* (1978). F—15 XVIII
- MCDONALD, K.A., Lumber quality evaluation using ultrasonics, *Proc. 4th Symposium on Nondestructive Testing of Wood*, **5** (1978). H—91 XVIII
- BARRETT, J.D., and R.O. FOSCHI, Duration of load and probability of failure in wood (Part 1) Modelling creep rupture, *Canadian Journal of Civil Engineering*, **5**, 505 (1978). S—10 XVIII
- BARRETT, J.D., and R.O. FOSCHI, Duration of load and probability of failure in wood (Part 2) Constant, ramp, and cyclic loadings, *Canadian Journal of Civil Engineering*, **5**, 515 (1978). S—11 XVIII
- SANYAL, S.N., and C.N. PANDEY, Relationship between ultrasound attenuation and specific gravity of timber, *Indian Forester*, **104**, 615 (1978). W—8 XVIII
- 齋藤藤市, 末松充彦, 横井健二, 平井信之, パーティクルボードの動的弾性率, 動的損失におよぼすボード製造因子ならびに湿度条件の影響, *木材誌*, **25**, 50 (1979). A—158 XV
- SOBUE, N. and T. TAKEMURA, Poisson's ratios in dynamic viscoelasticity of wood as twodimensional materials, *木材誌*, **25**, 258 (1979). A—164 XV
- 池田友寿, 竹村富男, パーティクルボードのクリープに及ぼすチップ長さの影響, *木材誌*, **25**, 332 (1979). A—163 XV
- 金川 靖, 服部芳明, 木材の収縮経過 (その2), 細胞の落ち込みに基づく収縮応力, *木材誌*, **25**, 184 (1979). A—060 XV
- 菅野国男, 大坪正夫, 拘束条件と膨潤応力の関係について (第4報), 試験体形状が膨潤応力に及ぼす影響について, *木材誌*, **25**, 318 (1979). A—062 XV
- JENKINS, J.L., A. POLENSEK, and K.M. BASTENDORFF, Stiffness of nailed wall joints under short and long term lateral loads. *Wood Science*, **11**, 145 (1979). H—68 XV
- POLENSEK, A. and K.M. BASTENDORFF, Damping of roof diaphragms: Tongue-and-groove decking constructed with glued lumber panels. *Wood Science*, **11**, 155 (1979). H—73 XV

徳田迪夫, 竹下昌彦, 杉山英男, メタルプレートコネクター接合部の引張クリープ性状, 木材誌, 25 , 399 (1979).	A-167	XVI
徳田迪夫, 竹下昌彦, 杉山英男, 繰返し引張荷重を受けたときのメタルプレートコネクター接合部の性状, 木材誌, 25 , 408 (1979).	A-168	XVI
小野晃明, 片岡明雄, 楽器響板用材の動的ヤング率および内部摩擦の周波数依存性 (第1報), 撓み振動における回転慣性および剪断力の影響, 木材誌, 25 , 461 (1979).	A-165	XVI
小野晃明, 片岡明雄, 楽器響板材の動的ヤング率および内部摩擦の周波数依存性 (第2報), ヤング率および内部摩擦の周波数依存性ならびに力学的周波数分散, 木材誌, 25 , 535 (1979).	A-166	XVI
浜野義昭, 松本 勲, 木材の衝撃吸収機構の研究 (第1報), 木材誌, 25 , 567 (1979).	A-169	XVI
鈴木正治, 木材の内部摩擦と構造の関係について, 木材誌, 25 , 623 (1979).	A-170	XVI
久田卓興, 木材乾燥におけるクリープとセット (第1報), 含水率の変化範囲が異なる時のクリープについて, 木材誌, 25 , 688 (1979).	A-171	XVI
久田卓興, 木材乾燥におけるクリープとセット (第2報), 引張りとクリープにおよぼす応力レベルの影響, 木材誌, 25 , 697 (1979).	A-172	XVI
半田 隆, 福岡正芳, 吉澤秀二, 橋爪吉則, 鈴木昌明, 含水木材の低温領域における誘電特性, 高分子論文集, 36 , 703 (1979).	D-214	XVI
則元 京, マイクロ波による木材の塑性曲げ加工, 木材研究資料, No. 14, 13 (1979).	D-219	XVI
林 知行, 増田 穩, 佐々木光, メタルプレートコネクターを用いた木材継手の回転曲げ疲労特性, 材料, 28 , 623 (1979).	D-218	XVI
小松幸平, 堀江秀夫, 倉田久敬, ラチス梁に関する研究 (第2報), ラチス梁の曲げ性能について, 北林産試月報, No. 333, 11 (1979).	D-217	XVI
FUNCK, J.W., D.R. PRESTEMON, and D.W. BENSEND, Modulus of rupture and dynamic and static modulus of elasticity of eastern cottonwood two-by-fours, Forest Prod. J., 29 , No. 11, 35 (1979).	E-100	XVI
GNANAHARAN, R. and J. HAYGREEN, Comparison of creep behavior of a basswood wafer-board to that of solid wood, Wood and Fiber, 11 , 155 (1979).	H-74	XVI
PIERCE, C.B., J.M. DINWOODIE and B.H. PAXTON, Creep in chipboard part. 2. The use of fitted response curves for comparative and predictive purposes, Wood Science and Technology, 13 , 265 (1979).	H-77	XVI
MORZE, Z. und J. SYNOWIEC, Über die Änderungen der Elastizitätseigenschaften von Holzfaserhartplatten während wiederholter zyklischer Befeuchtung und Trocknung, Holzforschung und Holzverwertung, 31 , 9 (1979).	K-	XVI
PIŽURIN, A.A. und V.J. SOBAŠKI, Zur Anwendung des Ultraschalls für die Ermittlung von Fehlern in Spanplatten aus Holz, Holztechnologie, 20 , 22 (1979).	K-74	XVI
RABIEJ, R., Untersuchungen zur Verformung geklebter Rahmeneckverbindungen bei Dauerbelastung, Holztechnologie, 20 , 91 (1979).	K-71	XVI
RÓNAI, F., Untersuchungen zum Deformationsverhalten von Holzkonstruktionen bei Dauerbelastung, Holztechnologie, 20 , 96 (1979).	K-69	XVI
NIEMZ, P., Über einige Erkenntnisse zum Kriechverhalten von Holzpartikelwerkstoffen, Holztechnologie, 20 , 131 (1979).	K-73	XVI
MORZE, Z., J. OLSEWSKI und O. PAPRZYCKI, Untersuchungen der Elemente des dynamischen Schubmoduls des Holzes, Holztechnologie, 20 , 179 (1979).	K-72	XVI
HOLZ, D., Untersuchungen zum Einfluß von klebfugen und -schichten auf die akustisch wichtigen Eigenschaften von Resonanzplatten aus Voll- und Lagenholz, Holztechnologie, 20 , 201 (1979).	K-70	XVI
CHAN, W.W., Strength properties and structural use of tempered hardboard, J. Inst. Wood Sci., 8 , 147 (1979).	O-11	XVI
BARRETT, J.D. and R.O. FOSCHI, On the application of brittle fracture theory, fracture mechanics and creep-rupture models for the prediction of the reliability of wood structural elements, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 1 (1979)	S-3	XVII
IVANOV, Y.M., Evaluation of long-term bearing capacity of wood structures by their		

performance under short-term loading, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 63 (1979).	S—4	XVII
MADSEN, B., Time-strength relationship for lumber, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 111 (1979).	S—5	XVII
MINDISS, S., B. MADSEN and J. D. BARRETT, Rate of loading and duration of load tests on Douglas-fir in tension perpendicular to the grain, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 143 (1979).	S—6	XVII
SCHNIEWIND, A.P., A seven year tale: Or how boards have breakdowns from everyday pressure, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 219 (1979).	S—7	XVII
SPENCER, R., Rate of loading effect in bending for Douglas-fir lumber, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 259 (1979).	S—8	XVII
SUGIYAMA, H., Theoretical analysis of the behavior of bending creep in wooden beams, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 281 (1979).	S—9	XVII
CHOW, P., Effects of load level, core density and shelling ratio on creep behavior of hardboard composites, Wood and Fiber, 11 , 57 (1979).	H—102	XIX
SANYAL, S.N. and A.S. GULATI, Compressive strength of timber by ultrasonic pulse technique, Indian Forester, 105 , 179 (1979).	W—9	XVIII
本橋健司, 富田文一郎, 木材—ポリ酢酸ビニルエマルジョン接着剤複合系の動的粘弾性, 26 , 87 (1980).	A—174	XVI
ONO, T., The dynamic rigidity modulus and internal friction of several woods in torsional vibration, 木材誌, 26 , 139 (1980).	A—176	XVI
MUKUDAI, J. and M. TAGUCHI, Non-linear viscoelastic behavior and non-linear superposition of wood in bending I. Non-linear creep behavior and evaluation of stepped-load creep deflection at non-linear stress level, 木材誌, 26 , 146 (1980).	A—177	XVI
MUKUDAI, J. and M. TAGUCHI, Non-linear viscoelastic behavior and non-linear superposition of wood in bending II. Evaluation of load of stress relaxation by stepped-deflections at non-linear strain level, 26 , 159 (1980).	A—178	XVI
浦上弘幸, 福山萬治郎, ベイマツおよびアカマツの曲げの応力緩和におよぼす晩材率の影響, 木材誌, 26 , 227 (1980).	A—173	XVI
久田卓興, 木材乾燥におけるクリープとセット (第3報), テンションセットの生成における応力履歴の影響, 木材誌, 26 , 233 (1980).	A—175	XVI
鈴木正治, 水分による木材の動的ヤング率の減少量と比重の関係, 木材誌, 26 , 299 (1980).	A—179	XVI
平井信之, 木材の圧電効果に関する研究, 静岡大学農学部演習林報告, No. 3, 11 (1974).	D—215	XVI
飯島泰男, 吉田直隆, 中川 宏, 小径材による LVL の構造的利用 (第2報), LVL トラスの挙動と耐力, 木材と技術, No. 40, 1 (1980).	D—216	XVI
久田卓興, 木材乾燥におけるクリープとセット (第4報), 圧縮クリープやセットにおよぼす応力レベルの影響, 木材誌, 26 , 519 (1980).	A—180	XVII
末松充彦, 平井信之, 斉藤藤市, 熱圧縮木材の材質 (第1報), 吸湿, 吸水性および動的粘弾性, 木材誌, 26 , 581 (1980).	A—181	XVII
今山延洋, 木材の疲れに関する研究 (第3報), 疲れき裂の伝ば方向と年輪構造, 木材誌, 26 , 595 (1980).	A—182	XVII
斉藤藤市, 池田正行, 小川克己, パーティクルボードの長期曲げ負荷における変形挙動, 木材誌, 26 , 714 (1980).	A—184	XVII
石原茂久, 佐々木光, 長田 勲, 長谷川純一, 梶原秀樹, 予熱混練式射出成形による木材・樹脂複合材料の製造と性質, 木材工業, 35 , 71 (1980).	B—61	XVII
中谷 浩, 沢田 稔, 釘着材の剪断性能, 北海道大学農学部演習林研究報告, 37 , 687 (1980).	D—225	XVII
松尾 博, 沢田 稔, 木材と木質平面材料の釘接合における剪断耐力 (第1報), 北海道大学農学部演習林研究報告, 37 , 721 (1980).	D—226	XVII
伊藤勝彦, 丸山 武, 宮野 博, 森 泉周, 屋根トラスの長期荷重試験, 北林産試月報, No. 347, 1 (1980).	D—222	XVII

- 佐道 健, 木材の乾燥, 塑性加工, はりの異常たわみ—水分変化過程の木材の力学的挙動をめぐって, 木材工業, **35**, 455 (1980). B—62 XVII
- 伊東隆夫, 山口和穂, 黒田宏之, 島地 謙, 角谷和男, ヒノキおよびスギの材質におよぼす植栽密度の影響, 木材研究・資料, No. 15, 45 (1980). D—239 XVIII
- 則元 京, マイクロ波による木材の塑性曲げ加工の研究レポートから, 月刊木機ジャーナル, **2**, No. 10, 3 (1980). D—235 XVIII
- 則元 京, 和田 博, 長谷川賢司, 飯田生穂, マイクロ波加熱による木材の曲げ加工, 日本レオロジー学会誌, **8**, 166 (1980). D—232 XVIII
- GRESSEL, P., Prüfung und Beurteilung der Dauerhaftigkeit von Spanplattenverleimungen Ein Beitrag zur Aufstellung klebstoffunabhängiger Prüfrichtlinien Teil 1, Holz als Roh- und Werkstoff, **38**, 17 (1980). I—163 XVI
- GRESSEL, P., Prüfung und Beurteilung der Dauerhaftigkeit von Spanplatten-Verleimungen Ein Beitrag zur Aufstellung klebstoffunabhängiger Prüfrichtlinien Teil 2, Holz als Roh- und Werkstoff, **38**, 61 (1980). I—164 XVI
- OKUMURA, M., K. ASO, N. SHIRAISHI and T. YOKOTA, Temperature dependence of viscoelastic behavior of wood-polymethyl acrylate composite, Holzforschung, **34**, 23 (1980). I—8 XVI
- ATHERTON, G.H., K.E. ROWE and K.M. BASTENDORFF, Damping and slip of nailed joints, Wood Science, **12**, 218 (1980). H—76 XVII
- M McNATT, J.D., M.J. SUPERFESKY and K.J. KANVIK, Stacking method for long-term concentrated load testing of floor panels, Forest Prod. J., **30**, No. 9, 47 (1980). E—102 XVII
- MARTIN, J.W., The analysis of life data for wood in the bending mode, Wood Science and Technology, **14**, 187 (1980). H—78 XVII
- GEIMER, R.L., Predicting flakeboard properties: Improvements in bending properties by aligning a mixture of flakes, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No. 14, 59 (1980). H—84 XVII
- BECKER, H.F., Viskoelastische Eigenschaften von Buchenholz bei periodischer Biegeanspruchung, Holz als Roh- und Werkstoff, **38**, 301 (1980). I—165 XVII
- HAYASHI, T., H. SASAKI and M. MASUDA, Fatigue properties of wood butt joints with metal plate connectors, Forest Prod. J., **30**, No. 2, 49 (1980). E—101 XVI
- MORNER, W., P. NIEMZ und K. THEIS, Anwendung der Schallemissionsanalyse zur Untersuchung von Bruch- und Kriechvorgängen in Werkstoffen aus Holz, Holztechnologie, **21**, 77 (1980). K—76 XVII
- NIEMZ, P., Über einige Erkenntnisse zum Kriechverhalten von Vollholz, Holztechnologie, **21**, 195 (1980). K—77 XVII
- GONTSCHAROW, N.A., Zerströrungsfreie Prüfungen an geklebten Holzkonstruktionen mit Hilfe von Ultraschall, Holzindustrie, **33**, 76 (1980). K—79 XVII
- MORZE, Z. und K. STRUK, Änderung zäh-elastischer Eigenschaften von Spanplatten infolge zyklischer Befeuchtung und Trocknung, Holzforschung und Holzverwertung, **32**, 113 (1980). K—78 XVII
- PINTUS, L.V., O.E. POTASEV und G.M. FISMAN, Methode zur schnellen Bestimmung des Dauerstandverhaltens waagerechter tragender Möbelbauteile, Holztechnologie, **21**, 243 (1980). K—92 XIX
- MORGNER, W., P. NIEMZ und K. THEIS, Anwendung der Schallemissionsanalyse zur Untersuchung von Bruch- und Kriechvorgängen in Werkstoffen aus Holz, Holztechnologie, **21**, 77 (1980). K—88 XVIII
- MAYO, A.P., Long-term performance tests on trussed rafters, Building Research Establishment Current Paper, No. CP 1/80 (1980). O—18 XVIII
- 北原龍士, 梶 壽一, 松本 勲, 静的くり返し曲げ荷重を受けた木材の力学的な挙動と細胞壁の観察, 木材誌, **27**, 1 (1981). A—185 XVII
- 森 光正, 伏谷賢美, 佐藤正夫, 木材の柎目面荷重における曲げクリープ破壊の確率過程論による解析, 木材誌, **27**, 363 (1981). A—183 XVII

宮川秀俊, 森 稔, 木材および木質材料の衝撃的性質 (第7報), 引張側に半円形切欠きをもつ木材はりの衝撃曲げ疲労, 木材誌, 27, 372 (1981).	A-186	XVII
久田卓興, 木材乾燥におけるクリープとセット (第5報), クリープにおよぼす乾燥温度の影響, 木材誌, 27, 381 (1981).	A-187	XVII
久田卓興, 木材乾燥におけるクリープとセット (第6報), クリープにおよぼす乾燥速度の影響, 木材誌, 27, 390 (1981).	A-188	XVII
SUZUKI, M., Physical characteristics of multilayer particleboard, 木材誌, 27, 397 (1981).	A-189	XVII
齊藤藤市, 木質材料の長期曲げ負荷における変形と強度, 木材工業, 36, 107 (1981).	B-63	XVII
神谷文夫, 平嶋義彦, 畑山蟻男, 金谷紀行, 木質パネル構造に関する研究 (第1報), 耐力壁の面内剪断性能に及ぼす試験方法ならびに壁長さの影響, 林試研報, No. 315, 15 (1981).	D-223	XVII
平嶋義彦, 神谷文夫, 畑山蟻男, 金谷紀行, 木質パネル構造に関する研究 (第2報), 間伐材利用実物大建物の加力試験, 林試研報, No. 315, 39 (1981).	D-224	XVII
松尾 博, 沢田 稔, 木材と木質平面材料の釘接合における剪断耐力 (第3報), 北海道大学農学部演習林研究報告, 38, No. 2, 285 (1981).	D-255	XIX
室田達郎, 有馬孝礼, 佐藤雅俊, 齊藤完治, 益田恵吾, 在来軸組工法木造住宅の地震時挙動に関する実大静的繰返し水平加力試験, 建築研究資料, No. 28 (1981).	D-254	XIX
小松幸平, 倉田久敬, カラマツ釘着ラチス梁の製造実験, 北林産試月報, No. 355, 8 (1981).	D-249	XIX
祖父江信夫, 岩崎吉男, 合板の動的粘弾性の面内異方性におよぼす単板構成の影響, 木材誌, 27, 457 (1981).	A-190	XVIII
長沢長八郎, 熊谷八百三, 小野昌孝, 繰返し曲げによる接着接合の疲労について, 木材誌, 27, 541 (1981).	A-191	XVIII
祖父江信夫, 岩崎吉男, 二板張の挽板積層材の動的粘弾性におよぼす接着剤の影響, 木材誌, 27, 597 (1981).	A-192	XVIII
長沢長八郎, 熊谷八百三, 小野昌孝, 疲労特性におよぼす接着接合部の寸法効果, 木材誌, 27, 633 (1981).	A-193	XVIII
平井信之, 前川 有, 西村洋二, 山野覚裕, 木材の曲げクリープに及ぼす温度の影響, 木材誌, 27, 703 (1981).	A-194	XVIII
平嶋義彦, 金谷紀行, 畑山蟻男, 神谷文夫, 筋違入り軸組の剪断性能とその構造解析 (第1報), 軸組の水平剪断試験, 木材誌, 27, 845 (1981).	A-195	XVIII
平嶋義彦, 金谷紀行, 畑山蟻男, 神谷文夫, 筋違入り軸組の剪断性能とその構造解析 (第2報), 軸組の構造解析, 木材誌, 27, 855 (1981).	A-196	XVIII
飯田生穂, 本邦産材の乾燥中の曲げクリープ, 木材工業, 36, 335 (1981).	B-64	XVIII
(財) 建築業協会, 建設廃棄物処理再利用委員会, 解体木材の有効利用について (3), 木材工業, 36, 417 (1981).	B-65	XVIII
則元 京, マイクロ波を用いた木材の曲げ加工法, 木材の研究と普及, 29, No. 329, 14 (1981).	D-236	XVIII
則元 京, マイクロ波による木材の曲げ加工, 木材機械, No. 104, 10 (1981).	D-237	XVIII
増田 稔, 冬木敏夫, 瀧野真二郎, 佐々木光, ストレススキンパネルの曲げ疲労特性, 材料, 30, 691 (1981).	D-227	XVIII
有馬孝禮, 佐藤雅俊, 益田恵吾, 木質材料及び部材の長期耐力評価に関する研究, 建研報告, No. 95, 1 (1981).	D-240	XVIII
林 和行, 佐々木光, メタルプレートコネクターを用いた継手における疲労強度の時間依存性, 材料, 30, 697 (1981).	D-228	XVIII
小野晃明, ピアノ響板用材の選別とその動力学的性質との関連, 材料, 30, 719 (1981).	D-229	XVIII
堀江秀夫, 倉田久敬, フォンガー・ジョイント材 (F・J材) の強度性能 (第2報), 北林産試月報, No. 356, 5 (1981).	D-230	XVIII
森 泉周, 木質ボードのプレートせん断クリープについて, 北林産試月報, No. 359, 6 (1981).	D-231	XVIII
飯田生穂, 則元 京, マイクロ波加熱による曲げ加工, 横方向のクリープ, 日本レオロジー学会誌, 9, 25 (1981).	D-234	XVIII

- 則元 京, 大釜敏正, 小野晃明, 田中文男, 針葉樹細胞壁のヤング率, 日本レオロジー学会誌, **9**, 169 (1981). D-233 X VIII
- PELLICANE, P.J. and J. BODIG, Sampling error in the bending strength distribution of dimension lumber, Wood Science and Technology, **15**, 211 (1981). H-89 X VIII
- DUNLOP, J.I., Testing of poles by using acoustic pulse method, Wood Science and Technology, **15**, 301 (1981). H-90 X VIII
- CLAD, W. und CH. SCHMIDT-HELLERAU, Zeitstandversuche mit Spanplatten (Teil 1), Ergebnisse von Untersuchungen an industriell hergestellten Spanplatten, Holz als Roh- und Werkstoff, **39**, 217 (1981). I-166 X VIII
- ALLES, G., Einfluß der Bewegungscharakteristik auf die Ergebnisse bei mechanischen Dauerprüfungen an Möbelschubladen, Holz als Roh- und Werkstoff, **39**, 361 (1981). I-167 X VIII
- KÜHNE, G. und P. NIEMZ, Untersuchungen zum Einfluß der Plattenschichten auf das Kriechverhalten von Spanplatten, Holztechnologie, **22**, 9 (1981). K-85 X VIII
- KÜHNE, G., P. NIEMZ, O. WIENHAUS und P. ZANGOLIES, Orientierende Untersuchungen zum Einfluß des Acetylierens der Partikeln auf die Eigenschaften von Spanplatten, Holztechnologie, **22**, 67 (1981). K-86 X VIII
- HOLZ, D., Zum Alterungsverhalten des Werkstoffes Holz — einige Ansichten, Untersuchungen, Ergebnisse, Holztechnologie, **22**, 80 (1981). K-87 X VIII
- NIEMZ, P., Untersuchungen zum Wesen der Kriechverformung von Spanplatten, Holztechnologie, **22**, 215 (1981). K-89 X VIII
- DZBENSKI, W., Versuche zur Anwendung der Ultraschall-Meßtechnik bei der Gütesortierung von Konstruktionsholz nach seiner Festigkeit, Holzforschung und Holzverwertung, **33**, 105 (1981). K-84 X VIII
- SADOH, T., Viscoelastic properties of wood in swelling systems, Wood Science and Technology, **15**, 57 (1981). H-79 X VII
- DINWOODIE, J.M., B.H. PAXTON and C.B. PIERCE, Creep in chipboard Part 3: Initial assessment of the influence of moisture content and level of stressing on rate of creep and time to failure, Wood Science and Technology, **15**, 125 (1981). H-86 X VII
- RAJAGAN, E., Some differences in physico-acoustic characteristics of "resonant" and Standard spruce wood, Acustica, **48**, 58 (1981). K-99
- KÜHNE, G., P. NIEMZ und P. ZANGOLIES, Einfluß der Art der Deckschichtpartikeln auf das Kriechverhalten von Spanplatten bei Dauerstand- Biegebelastung, Holzindustrie, **34**, 20 (1981). K-80 X VII
- HOLZ, D., Untersuchungen zum Älterungsverhalten des Werkstoffes Holz, Holzindustrie, **34**, 40 (1981). K-82 X VII
- STELLER, S., Beitrag zur Problematik der Dauerfestigkeit von Sperrholz, Holzindustrie, **34**, 39 (1981). K-81 X VII
- 平井卓郎, 沢田 稔, 木材の釘面圧試験方法について, 木材誌, **28**, 39 (1982). A-197 X VIII
- 平嶋義彦, 金谷紀行, 畑山穡男, 神谷文夫, 面材張り壁体および塗壁の剪断性能とその構造解析 (第1報), 壁体の水平剪断試験, 木材誌, **28**, 97 (1982). A-198 X VIII
- 菅野国男, 水分非平衡下における木材の弾性率, 吸水過程の動的弾性率, 木材誌, **28**, 208 (1982). A-199 X VIII
- 角谷和男, 島地 謙, 伊東隆夫, 黒田宏之, 異なった密度で植栽されたスギ, ヒノキ材の物性に関する一考察, 木材誌, **28**, 255 (1982). A-200 X VIII
- 上岡宏彰, 片岡明雄, 超音波による木材の弾性率決定に影響する各種測定要因, 木材誌, **28**, 274 (1982). A-201 X VIII
- 藤川晋輔, 乾燥過程の木材の横引張クリープ (1), 横引張荷重下の収縮経過, 鹿大農学術報告, No. 32, 167 (1982). D-241 X VIII
- 祖父江信夫, 都築範仁, 木質ボード類の動的粘弾性, 木材工業, **37**, 79 (1982). B-66 X VIII
- 上岡宏彰, 片岡明雄, 縦振動共振法による木材の弾性率と内部摩擦, 結果に及ぼす測定条件の影響, 木材誌, **28**, 336 (1982). A-202 X IX
- 則元 京, 楽器用材の物性 (第1報). ピアノ響板材の選別について, 木材誌, **28**, 407

- (1982). A-203 XIX
- 浦上弘幸, 福山萬治郎, 木材曲げクリープの粘弾性模型の適用と要素定数, 木材誌, **28**, 414 (1982). A-204 XIX
- HIRAI, T. and M. SAWADA, Linear load-slip relationship of bolted joints of glued laminated lumber, 木材誌, **28**, 609 (1982). A-207 XIX
- 平井卓郎, 沢田 稔, 側材に鋼板を用いたボルト接合部の剪断耐力, 荷重が材軸方向に作用する場合, 木材誌, **28**, 685 (1982). A-205 XIX
- 和田 博, 的場三輪子, 則元 京, 木材工業, **37**, 431 (1982). B-67 XIX
- 小松幸平, 倉田久敬, カラマツ釘着ラチス梁の製造と性能 (第4報), 生材時に製造した梁の狂いについて, 北林産試月報, No. 368, 8 (1982). D-248 XIX
- 丸山 武, 伊藤勝彦, 工藤 修, 森 泉周, 宮野 博, ポールコンストラクションによる実大建物の水平加力試験, 北林産試月報, No. 369, 11 (1982). D-257 XIX
- 川村恵洋, アラカン材放射組織の収縮と粘弾性に関する研究, 新潟大学農学部演習林報告, **15**, 67 (1982). D-250 XIX
- 浦上引幸, 福山萬治郎, 木材の曲げクリープにおける流動について, 京都府立大学農学部演習林報告, **26**, 36 (1982). D-251 XIX
- 藤井 毅, 単板積層材の強度性能, 木材工業, **37**, 367 (1982). B-68 XIX
- HILSON, B.O. and P.D. RODD, An approach to the developinent of a new structural beam system with particular reference to the hirnbeam, Journal of the Institute of Wood Science, **9**, 104 (1982). O-20 XIX
- HUNT, D.G., Limited mechano-sorptive creep of beech wood, Journal of the Insttute of wood Science, **9**, 136 (1982). O-19 XIX
- MACNATT, J.D. and M.O. Hunt, Creep of thick structural flakeboards in constant and cyclic humidity, Forest Prod. J., **32**, No. 5, 49 (1982). E-104 XIX
- JUNG, J., Properties of parallel-laminated veneer from stress-wave-tested veneers, Forest Prod. J., **32**, No. 7, 30 (1982). E-105 XIX
- CHOW, P., Bending creep behavior of Acer Saccharum Marsh veneered medium-density fiberboard composite, Wood Science and Technology, **16**, 203 (1982). H-101 XIX
- MARTIN, J.W., A model for testing the efficiency of material selection using life data, Wood Science and Technology, **16**, 223 (1982). H-98 XIX
- HUMPHRIES, M. and A.P. SCHNIEWIND, Behavior of wood colume under cyclic relative humidity, Wood Science, **15**, 44 (1982). H-96 XIX
- MORGAN, K., H.R. THOMAS and R.W. LEWIS, Numerical modeling of stress reversal in timber drying, Wood Science, **15**, 139 (1982). H-97 XIX
- POLENSEK, A., Creep prediction for nailed joints under constant and incresing loading, Wood Science, **15**, 183 (1982). H-100 XIX
- GERHARDS, C.C., Effect of moisture content and temperature on the mechanical properties of wood: An analysis of immediate effects, Wood and Fiber, **14**, 4 (1982). H-92 XVIII
- BOEHME, C., Der Einfluß verfahrenstechnischer Parameter auf die Formbeständigkeit von Buchenfurnierplatten, teil 1. Aufgabenstellung-Planung und Durchführung der Versuche-Teilergebnisse, Holz als Roh- und Werkstoff, **40**, 89 (1982). I-171 XIX
- BOEHME, C., Der Einfluß verfahrenstechnischer Parameter auf die Formbeständigkeit von Buchenfurnierplatten, Teil 2. Klima und Zeit- Plattenformat, Holz als Roh- und Werkstoff, **40**, 133 (1982). I-171 XIX
- WAUBKE, N.V. und J. MÄRKL, Einsatz der Ultraschall-Impulslaufzeitmessung für die Sortierung von Bauhölzern, Teil 1. Vorversuche mit Kanthölzern, Holz als Roh- und Werkstoff, **40**, 189 (1982). I-168 XIX
- NIEZ, P., Gleichungssystem zur approximation des verlaufs von Kriechkurven bei statischer Dauerstand-Biegebelastung, Holzindustries, **35**, 11 (1982). K-91 XIX
- DOZAJ, A., Verformung von Holz bei Dauerstand-Biegebelastung im Außenklima, Holztechnologie, **23**, 36 (1982). K-90 XIX
- MATEJAK, M., Der Einfluß von trocknung und Anfeuchtung auf die Schwindung von

Eichen-, Buchen- und Kiefernholz, <i>Holzforschung und Holzverwertung</i> , 34 , 101 (1982).	K-93	XIX
GERHARDS, C.C., Longitudinal stress waves for lumber stress grading: Factors affecting applications: State of the art, <i>Forest Prod. J.</i> , 32 , No. 2, 20 (1982).	E-103	XVIII
祖父江信夫, 合板の動的曲げ弾性率・損失正接の予測, <i>木材誌</i> , 29 , 14 (1983).	A-206	XIX
師岡淳郎, 則元 京, 山田 正, 白石信夫, カプリル化木材とポリエチレン, ナイロンおよびポリエステルとのブレンド物の混和性, <i>木材研究・資料</i> , No. 17, 75 (1983).	D-242	XIX
飯田生穂, 則元 京, 今村祐嗣, マイクロ波加熱による木材の曲げ加工, 横方向曲げ処理材の水分・熱回復, <i>木材研究・資料</i> , 17 , 99 (1983).	D-243	XIX
林 知行, 佐々木光, 鋼板くぎ打ち接合部の疲労特性, <i>木材研究・資料</i> , No. 17, 112 (1983).	D-244	XIX
則元 京, 師岡淳郎, 青木 務, 白石信夫, 山田 正, 田中文男, ベンジルエーテル化木材の2, 3の物性, <i>木材研究・資料</i> , 17 , 181 (1983).	D-245	XIX
則元 京, 木材を曲げる, 高分子加工, 32 , 136 (1983).	D-246	XIX
小野晃明, 木材の動力学的性質に及ぼす繊維傾斜角の影響, <i>材料</i> , 32 , 108 (1983).	D-247	XIX
米田昌世, 丸山 武, 堀江秀夫, 長谷川雅浩, 伊藤勝彦, 屋根トラスの長期荷重試験(第2報), <i>北林産試月報</i> , No. 376, 1 (1983).	D-256	XIX
則元 京, 比ヤング率による木材の性能値, <i>ニューランパーマン</i> , 13 , No. 47, 10 (1983).	D-253	XIX
ONO, T. and M. NORIMOTO, Study on Young's modulus and internal friction of wood in relation to the evaluation of wood for musical instruments, <i>Japanese Journal of Applied Physics</i> , 22 , 611 (1983).	D-252	XIX
森 光正, 伏谷賢美, 脇谷慶之, ヒノキ材における破壊たわみのばらつきに關与する因子, <i>木材誌</i> , 29 , 361 (1983).	A-215	XX
佐藤敬一, 野口昌巳, 伏谷賢美, 数種の荷重様式において発生する木材のアコースティック・エミッションの特性, <i>木材誌</i> , 29 , 409 (1983).	A-214	XX
外崎真理雄, 岡野 健, 浅野猪久夫, 縦振動およびたわみ振動によるシトカスプールの振動特性, <i>木材誌</i> , 29 , 547 (1983).	A-209	XX
中尾哲也, 岡野 健, 浅野猪久夫, 木材の損失正接におよぼす熱処理の影響, <i>木材誌</i> , 29 , 657 (1983).	A-210	XX
林 知行, 佐々木光, 冬木敏夫, メタルプレートコネクターを用いた LVI 継手の疲労特性に及ぼす突付け間隙の影響, <i>木材誌</i> , 29 , 663 (1983).	A-211	XX
丸山 武, 伊藤勝彦, 工藤 修, 森泉 周, 宮野 博, エポールコンストラクションによる実大建物の水平加力試験, <i>林産試験場研究報告</i> , No. 72, 124 (1983).	D-265	XX
森泉 周, 伊藤勝彦, 米田昌世, 工藤 修, 丸山 武, 宮野 博, 長谷川雅浩, II. ポールの水平加力試験, <i>林産試験場研究報告</i> , No. 72, 135 (1983).	D-263	XX
工藤 修, 伊藤勝彦, 宮野 博, 丸山 武, 森泉 周, III. 小屋細トラスの試験, <i>林産試験場研究報告</i> , No. 72, 158 (1983).	D-264	XX
堀江秀夫, 倉田久敏, フィンガー・ジョイント材 (F・J材) の強度性能 (第4報), <i>量産実大フィンガー・ジョイント材の欠点除去基準と強度性能</i> , <i>北林産試月報</i> , No. 381, 14 (1983).	D-262	XX
金谷紀行, ネイルプレートを用いた接合部の強度性能, <i>材料</i> , 32 , 922 (1983).	D-268	XX
平井信之, 祖父江信夫, 浅野猪久美, 放射組織の結晶配向度と弾性および圧電性, <i>静岡大学農学部研究報告</i> , No. 33, 57 (1983).	D-261	XX
杉本吉正, 丸山則義, 有馬孝礼, 岡崎 光, 使用環境下の棚板のクリープ試験, <i>静岡大学農学部研究報告</i> , No. 33, 71 (1983).	D-260	XX
WELLONS, J.D., R.L. KRAHMER, M.D. SANDOE and R.W. JOCKERST, Thickness loss in hotpressed plywood, <i>Forest Prod. J.</i> , 33 , No. 1, 27 (1983).	E-106	XX
ATHERTON, G.H., Ultimate strength of structural particleboard diaphragms, <i>Forest Prod. J.</i> , 33 , No. 5, 22 (1983).	E-107	XX
MOORE, G.R., D.E. KLINE and P.R. BLANKENHORN, Dynamic mechanical properties of epoxy-poplar composite materials, <i>Wood and Fiber Science</i> , 15 (4), 358 (1983).	H-103	XX
MUKUDAI, J., Evaluation of linear and non-linear viscoelastic bending loads of wood as a function of prescribed deflections, <i>Wood Science and Technology</i> , 17 , 203 (1983).	H-104	XX

- SUBRAMANIAN, R.V. and R. HOFMANN, Study of the kinetics of in situ polymerization in wood by dynamic mechanical measurements, *J. Polymer Science, Polymer Letters*, **21**, 105 (1983). H—105 XX
- ONO, T., On dynamic mechanical properties in the trunks of woods for musical instruments, *Holzforschung*, **37**, 245 (1983). J—9 XX
- NIEMZ, P., M. WAGNER und K. THEIS, Stand und Mglichkeiten der Anwendung der Schallemissionsanalyse, *Holztechnologie*, **24**, 91 (1983). K—95 XX
- OLSZEWSKI, J. und K. STRUK, Einflu der Feuchtigkeit auf die richtungsorientierten dynamischen Schubmoduln einer Spanplatte, *Holztechnologie*, **24**, 165 (1983). K—96 XX
- ARMSTRONG, L.D., Mechanical-sorptive deformations in collapsible and non-collapsible species of wood, *J. Institute of Wood Science*, **9**, 206 (1983). O—21 XX
- MUKUDAI, J., Evaluation on non-linear viscoelastic bending deflection of wood, *Wood Science and Technology*, **17**, 39 (1983). H—95 XIX
- NAKAI, T. and P.U.A. GROSSMAN, Deflection of wood under intermittent loading, Part 1: Fortnight cycles, *Wood Science and Technology*, **17**, 55 (1983). H—99 XIX
- BARISKA, M., Zur dynamischen Torsionselastizitt von Holz, Teil 1. Untersuchungen im Temperaturbereich von 23 bis 350°C, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **41**, 109 (1983). I—169 XIX
- BARISKA, M., Zur dynamischen Torsionselastizitt von Holz, Teil 2. Zyklische Temperaturbelastung von Holz als Roh- und Werkstoff, **41**, 203 (1983). I—170 XIX
- NIEMZ, P., Untersuchungen zum Einflu der Struktur auf die Eigenschaften von Spanplatten, Teil 2. Einflu von Partikelorientierung, Art der Deckschichtpartikeln, Struktur der Partikeloberflche und Oberflchenbeschichtung, *Holztechnologie*, **24**, 14 (1983). K—94 XIX
- 関野 登, 鈴木正治, イソシアネートによって結合された配向性パーティクルボードの膨潤とクリープ, *木材誌*, **30**, 17 (1984). A—216 XX
- 林 知行, 佐々木光, メタルプレートコネクターを用いた木材継手の疲労損傷, *木材誌*, **30**, 23 (1984). A—212 XX
- 祖父江信夫, 中野晴之, 浅野緒久夫, 楽器用スプルー合板の振動特性, *木材誌*, **30**, 93 (1984). A—208 XX
- 徳田迪夫, メタルプレートコネクターで構成されたトラスへの LVL の利用に関する研究, *木材誌*, **30**, 139 (1984). A—213 XX
- 野口昌己, 木材とアコースティック・エミッション, *木材工業*, **39**, 14 (1984). B—69 XX
- 則元 京, マイクロ波加熱による木材の曲げ加工, *木材工業*, **39**, 319 (1984). B—70 XX
- 野崎健三, 大石件次, 神長邦雄, 伊藤久志, マイクロ波による曲げ木加工の研究 (第2報), 曲げ木に及ぼす二三の処理効果, *静岡県工業試験場報告*, No. 28, 13 (1984). D—258 XX
- 藤田修身, 家具用棚板のクリープに関する研究 (第2報), パーティクルボードを芯材としたフラッシュパネル, *静岡県工業試験場報告*, No. 28, 53 (1984). D—259 XX
- 小泉章夫, 上田恒司, 2層釘着梁の曲げ変形と耐力, *北海道大学農学部演習林研究報告*, **41**, 261 (1984). D—266 XX
- HOLZ, D., ber einige Zusammenhnge zwischen forstlich-biologischen und akustischen Eigenschaften von Klangholz (Resonanzholz), *Holztechnologie*, **25**, 31 (1984). K—97 XX
- KNOLL, K.H., H.J. DEPPE und R. GILL, Ergnzende Untersuchungen zur Verwendung von Altpapier und Mll-Faserleichtfraktionsmaterial bei Erzeugung von Spanplatten-deckschichten, *Holzforschung und Holzverwertung*, **36**, 32 (1984). K—98 XX
- STILLWELL, S.T.C., "Collapse" in Timber. Removal of the defect by means of high temperature steaming treatment. *The Timber Trades Journal*, 500 (1931). O—015 IV
- 真島正市, 木材の「枯し」に対する一実験, *理化学研究所彙報*, **13**, 163 (1934). D—035 VI
- STAMM, A.J. and L.A. HANSEN, Minimizing wood shrinkage and swelling: Replacing water in wood with nonvolatile materials, *Ind. Eng. Chem.*, **27**, 1480 (1935). H—03 VI
- KAPUR, S.N. and A. REHMAN, The occurrence of collapse in certain Indian woods during drying, and a study of the methods of its removal, *Indian Forester*, 699 (1935). W—02 IV
- PERKITNY, T., ber den Einflu mechanischer Hindernisse auf die Quellung und

Schwundung von Kiefernholz, Holz als Roh- und Werkstoff, 1 , 449 (1938).	I—015	V
KNICHT, R.A.G. and R.J. NEWALL, Permanent set of timber, Forestry, 12 , 125 (1938).	O—05	IV
BOAS, I.H., Collapse and the reconditioning of collapse timber, C.S.I.R.O., Div. Forest Prod. Trade Circular No. 20, 1 (1942).	P—05	IV
井阪三郎, 板の幅の収縮, 北海道林試彙報, 4 , 33 (1943).	D—048	VIII
KOLLMANN, F., Sorption und Quellung des Holzes, Die Naturwissenschaften, Haft 14/ 26 , 121 (1944).	K—05	III
BARKAS, W.W., Swelling stresses in gels, D.S.I.R. Forest Prod. Res. special rep. No. 6, (1945).	L—01	V
BANKS, W.H. and W.W. BARKAS, Collapse of capillaries in the drying of porous gels, Nature, 158 , 341 (1946).	N—02	V
STEVENS, W.C., Distortion in timber with particular reference to laminated boards, Wood, 11 , 157 (1946).	O—01	IV
MILLETT, M.A. and J.P. HOHF, Dimensional stability of synthetic board materials used as core stock, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 2 , 280 (1948).	E—062	VI
ÖGLANO, N.J., Harda trafiberskivors svällning och krympning. I., Svensk Papperstidning, 51 , 357 (1948).	T—06	VI
小原二郎, 加圧収縮に関する 2, 3 の実験, 木材工業, 4 , 508 (1949).	B—05	IV
SELBO, M.L., Durability of woodworking glues for swelling, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 3 , 361 (1949).	E—085	VI
CLAUSEN, V.H., L.W. REES and F.H. KAUFERT, Development of collapse in aspen lumber, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 3 , 460 (1949).	E—063	VI
BARKAS, W.W., The swelling of wood under stress, D.S.I.R. Forest Prod. Res. Lab. (1949).	L—011	V
加納 孟, 木材々質の森林生物学的研究 (第 2 報), トドマツ材の湿気的特性について, 林試報, No. 46, 71 (1950).	C—021	VII
GARLICK, G.G., The place of water-repellent preservatives in forest products, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 4 , 241 (1950).	E—083	VI
AKINS, V. and M.Y. PILLOW, Occurrence of gelatinous fibers and their effect upon properties of hardwood species, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 4 , 254 (1950).	E—084	VI
BISSET, I.J.W. and E.L. Ellwood, The relation of differential collapse and shrinkage to wood anatomy in <i>Eucalyptus regnans</i> F.v.M. and <i>E. Gigantea</i> Hook. F., Aust. J. Appl.Sci., 2 , 175 (1950).	P—028	IV
BARKAS, W.W., The swelling of wood under stress (1), Svensk Papperstidning, 53 , 385 (1950).	T—01	VI
BARKAS, W.W., The swelling of wood under stress (2), Svensk Papperstidning, 53 , 431 (1950).	T—02	VI
BARKAS, W.W., The swelling of wood under stress (3), Svensks Papperstidning, 53 , 465 (1950).	T—03	VI
BARKAS, W.W., The swelling of wood under stress (4), Svensks Papperstidning, 53 , 509 (1950).	T—04	VI
渡辺治人, 安蘇国猛, 筒本卓造, 膨潤を阻止された木材の乾縮過程について (予報), 日林講 (第59回), 211 (1951).	D—040	V
PILLOW, M.Y., Some characteristics of Brazilian parana pine affecting its use for millwork, Proc. Forest Prod. Res. Soc., 5 , 297 (1951).	E—086	VI
How, is casehardening in kiln-dried lumber determined?, U.S. Forest Prod. Lab. Report, No. D 1769-10 (1951).	F—013	IV
菅野襄作, ランバコア合板の性質—特にその狂いについて, 木材工業, 7 , 76 (1952).	B—043	XII
平井信二, 清水 翰, 澤和直義, 合板に関する研究 (第10報), 心板の条件と合板の狂いとの関係, 木材工業, 7 , 393 (1952).	B—038	XII
HOLCOMBE, R.A., Surface checking in furniture panels, J. Forest Prod. Res. Soc., 2 , No. 5, 122 (1952).	E—073	VI

鈴木 寧, 木材の乾燥による応力と歪について, 日林講 (第62回), 217 (1953).	A—05	IV
小原二郎, 木材の老化に関する研究 (第V報), 古材の伸縮性, 西京大学術報, 5, 81 (1953).	D—041	VI
神 和雄, 富田明政, 合板の狂いについて (第2報), 熱圧合板の狂いの防止法, 附合板の狂いの矯正法, 北林指月報, No. 23, 7 (1953).	D—077	XII
RISHELL, C., The human side of research projects, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, No. 1, 10 (1953).	E—0105	VI
JOHNSON, E.S., Observations on west german furniture production methods in 1952, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, No. 1, 21 (1953).	E—0106	VI
CRANDALL, H.C., Wood storage problems in the pulp and paper industry, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, No. 1, 72 (1953).	E—0107	VI
JAYNE, B.A., Finish checking of hardwood veneered panels as related to face veneer quality, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, No. 3, 7 (1953).	E—074	VI
PECK, E.C., Reducing checking in heavy white oak shipbuilding material during storage and construction, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, No. 4, 22 (1953).	E—0118	VI
ELLWOOD, E.L., Properties of beech in tension perpendicular to the grain and their relation to drying, J. Forest Prod. Res. Soc., 3, 202 (1953).	E—046	V
小原二郎, 古材について, 木材工業, 9, 355 (1954).	B—028	VI
天塩川木材, 米国コー社ドライヤーについて, 木材工業, 9, 573 (1954).	B—025	IV
井坂三郎, 梅原 誠, 木材の狂いに関する研究, 林試報, No. 71, 121 (1954).	C—017	IV
FLEISCHER, H. O., Shrinkage and the development of defects in veneer drying, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 30 (1954).	E—093	VI
MCINTOSH, D. C., Some aspects of the influence of rays on the shrinkage of wood, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 39 (1954).	E—092	VI
ENGLAND, R. F., The cyclical exposure test as a tool in laminating quality control, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 61 (1954).	E—095	VI
SELBO, M. L. and A.C. KNAUSS, Wood laminating comes of age, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 69 (1954).	E—096	VI
GRAHAM, R.D., Seasoning and preservative treatment of tanoak, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 92 (1954).	E—097	VI
HEEBINK, B.G., Dimensional stabilizing effect of paper overlays when applied to lumber, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 149 (1954).	E—098	VI
CHURCHILL, J.W., The effect of time, temperature and relative humidity on the relief of casehardening stresses, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 264 (1954).	E—011	IV
KING, W.W., Alleviating bow and crook in southern yellow pine dimension with chemicals, J. Forest Prod. Res. Soc. 4, 271 (1954).	E—064	VI
ELLWOOD, E.L., Properties of American beech in tension and compression perpendicular to the grain and their relation to drying, Yale Univ., School of Forestry Bull., No. 61, 1 (1954).	H—02	IV
KÜHNE, H., Materialtechnische Probleme des neuzeitlichen Holzparketts, Holz als Roh- und Werkstoff, 12, 358 (1954).	I—045	IV
NEUSSER, H. und U. KRAMS, Das Verhalten von Spanplatten gegenüber Feuchtigkeit unter besonderer Berücksichtigung der Quellung, II, Holzforschung und Holzverwertung, 17, 57 (1954).	K—020	V
TURNER, H.D., Effect of particle size and shape on strength and dimensional stability of resin-bonded wood-particle panels, J. Forest Prod. Res. Soc., 4, 210 (1954.)	E—0168	XVII
浅野猪久夫, 木材の落込みの研究, 日林講 (第64回), 320 (1955).	A—014	IV
小倉武夫, 木材の乾燥中に生ずる歪, 木材工業, 10, 440 (1955).	B—016	IV
小倉武夫, 木材の水分移動性および乾燥中に生ずる温度による影響, 林試報, No. 77, 35 (1955).	C—02	III・IV
小倉武夫, わが国の木材乾燥について, 北林指月報, No. 45, 1 (1955).	D—078	XII
寺沢 真, 木材人工乾燥の実務, 特にナラ・ブナ材について, 北林指月報, No. 45, 14		

(1955).	D-079	XII
MCINTOSH, D.C., Effect of rays on radial shrinkage of beech, Forest Prod. J., 5, 67 (1955).	E-099	VI
MCMILLEN, J.M., Drying stresses in red oak, Forest Prod. J., 5, 71 (1955).	E-03	IV
SELBO, M.L. and H.W. ANGEL, Performance of laminated preservative-treated railroad bridge stringers, Forest Prod. J., 5, 84 (1955).	E-0100	VI
HEEBINK, B.G., R.J. SEIDL, D.F. LAUGHNAN and R.F. BLOMQUIST, Some potentialities of overlaid lumber, Forest Prod. J., 5, 97 (1955).	E-0101	VI
WINEBRENNER, L.I., The place of water repellents in the preservative field, Forest Prod. J., 5, 146 (1955).	E-0102	VI
EDDY, A.A. and R.D. GRAHAM, The effect of drying conditions on strength of coast-type Douglas-fir, Forest Prod. J., 5, 226 (1955).	E-0103	VI
ERICKSON, H.D., Tangential shrinkage of serial sections within annual rings of Douglas-fir and western red cedar, Forest Prod. J., 5, 241 (1955).	E-094	VI
BATEY, JR., T.E., Minimizing face checking of plywood, Forest Prod. J., 5, 277 (1955).	E-075	VI
SNODGRASS, J.D., Young-growth Douglas-fir: Is it predisposed to warp?, Forest Prod. J., 5, 406 (1955).	E-065	VI
LUTZ, J.F., Causes and control of end waviness during drying of veneer, Forest Prod. J., 5, 114 (1955).	E-014	IV
CHUDNOFF, M., The effect of zinc chloride on some shrinkage properties of <i>Eucalyptus rostrata</i> wood, Forest Prod. J., 5, 139 (1955).	E-048	IV
MCMILLEN, J.M., Drying stresses in red oak: Effect of temperature, Forest Prod. J., 5, 230 (1955).	E-04	IV
PRATT, G.H., et al., High-temperature drying of African mahogany, Appendix I. II. III., D.S.I.R., Forest Prod. Res. Lab., Princes Risborough. (1955).	L-08	IV
FECHT, P., Das Trocknen grossflächiger Deckblattschälurniere, Holz als Roh- und Werkstoff, 13, 372 (1955).	I-047	IV
鈴木 寧, 木材の加熱乾燥による収縮について, 木材誌, 2, 43 (1956).	A-03	IV
筒本卓造, 単板乾燥における木口割れ及び波打ちについて, 木材誌, 2, 88 (1956).	A-015	IV
浅野猪久夫, 木材の落ち込みの研究 (第2報), 木材誌, 2, 104 (1956).	A-013	IV
CANTRELL, W.R., Vapor drying of western woods, Forest Prod. J., 6, 30 (1956).	E-087	VI
ROSS, J.D., Chemical resistance of western woods, Forest Prod. J., 6, 34 (1956).	E-088	VI
WORKS, W.R., Plastic overlays for wood products, Forest Prod. J., 6, No. 1, 18-A (1956).	E-089	VI
WINKEL, L.D., Casehardening stress relief of ponderosa pine, Forest Prod. J., 6, 124 (1956).	E-066	VI
LADELL, J.L., High-temperature drying of yellow birch, Forest Prod. J., 6, 469 (1956).	E-031	IV
UCOLJEW, B.N., Restspannungen in Holz und Methoden zu ihrer Beseitigung, Holz als Roh- und Werkstoff, 14, 375 (1956).	I-012	III
VODOZ, J., Eine neue Versuchsanlage zur Prüfung des Verhaltens der verschiedenen Holzarten bei der Hochfrequenz-Trocknung, Holz als Roh- und Werkstoff, 14, 407 (1956).	I-065	VI
JOHNSTON, D.D., The effect of mechanical restraint during drying on the subsequent distortion of timber, D.S.I.R., Forest Prod. Res. Lab., Princes Risborough, (1956).	L-010	IV
GOTTSTEIN, J.W. and B. MCCOMBE, Recent studies on "ash" type hardwoods. C.S.I.R.O., Div. Forest Prod. Newsletter, No. 216 1 (1956).	P-020	IV
SHEINBERG, S.E., Experience in high-temperature drying of wood in pentrolatum, translated from Wood Working Industry (USSR), 5, No. 10, 6 (1956), C.S.I.R.O. trans. No. 3802 (1958).	Q-04	IV
IVANOV, Y.M., Measurement of swelling pressure of wood, Composite Wood, 3, 91 (1956).	W-01	III
NARAYANAMURTI, D. and P.C. MAHAJAN, Rheology of wood-Part II, The swelling and shrinkage of wood under mechanical restraint, Appl. Sci. Res., Section A, 5, 389 (1956).	Z-015	V
筒本卓造, 単板乾燥における木口の割れ及び波打ちの防止法, 木材工業, 12, 99 (1957).	B-019	IV
井阪三郎, 木材の狂い (1), 木材工業, 12, 394 (1957).	B-044	XII

井阪三郎, 木材の狂い (2), 木材工業, 12 , 444 (1957).	B-045	XII
井阪三郎, 木材の狂いに関する研究, 板の反りを考慮した木取法, 林試報, No. 99, 73 (1957).	C-022	VIII
富田明政, 春田淑郎, 合板の狂いについて (第3報), “これ” 単板を中板にした “しな” 合板の狂い, 北林指月報, No. 66, 7 (1957).	D-080	XII
山岸祥恭, ペーパーオーバーレイ及びオーバーレイ合板の狂いについて (その2), 北林指月報, No. 67, 1 (1957).	D-081	XII
森 滋, 山岸祥恭, ペーパーオーバーレイ及びオーバーレイ合板の狂いについて (その3), 北林指月報, No. 69, 1 (1957).	D-082	XII
富田明政, 春田淑郎, 合板の狂いについて (第4報), “これ” 中板 “しな” 合板の合板構成と狂い, 北林指月報, No. 70, 1 (1957).	D-083	XII
山岸祥恭, 井村純夫, スプリント合板の狂いについて (第1報), 北林指月報, No. 70, 3 (1957).	D-084	XII
CURRIER, R.A., Effect of cyclic humidification on dimensional stability of commercial hardboard, <i>Forest Prod. J.</i> , 7 , 95 (1957).	E-067	VI
PECK, E.C., How wood shrinks and swells, <i>Forest Prod. J.</i> , 7 , 235 (1957).	E-090	VI
NARAYANAMURTI, D., Die Bedeutung der Holzextraktstoffe, <i>Holz als Roh-und Werkstoff</i> , 15 , 370 (1957).	I-049	V
JOHNSTON, D.D., The effect of mechanical restraint during drying on the subsequent distortion of timber, Appendix, D.S.I.R., <i>Forest Prod. Res. Lab., Princes Risborough</i> , (1957).	L-07	IV
JOHNSTON, D.D., Effect of mechanical restraint during drying on the subsequent distortion of timber, <i>Timber Technology</i> , 65 , 453 (1957).	O-03	IV
PERKITNY, T., J. STEFANIAK and L. DULSKI, The effect of tensile stresses upon swelling and shrinkage of wood, <i>Prace Instytutu Technologii Drewna</i> , 5 , 18 (1957).	Z-010	IV
(英要約あり)		
森 滋, 山岸祥恭, ペーパーオーバーレイ及びオーバーレイ合板の狂いについて (その4), オーバーレイ合板の片面含湿による弯曲, 北林指月報, No. 73, 14 (1958).	D-085	XII
山岸祥恭, 井村純夫, スプリント合板の狂いについて (第2報), 北林指月報, No. 78, 5 (1958).	D-086	XII
山岸祥恭, 岡田幹夫, 熱圧条件が合板表面割れに及ぼす影響 (その1), 正北林指月報, No. 82, 5 (1958).	D-087	XII
小原二郎, 古材に関する研究, 千葉大工研報, 9 , No. 15, 1, No. 16, 23 (1958).	D-125	VI
CLARK, W.P., Effect of tension wood on seasoning and machining of eastern cottonwood, <i>Forest Prod. J.</i> , 8 , 109 (1958).	E-0115	VI
HUFFMAN, J.B., Kiln drying of southern hardwood crossties, <i>Forest Prod. J.</i> , 8 , 156 (1958).	E-0117	VI
TARKOW, H. and H.D. TURNER, The swelling pressure of wood, <i>Forest Prod. J.</i> , 8 , 193 (1958).	E-01	III
LLOTD, R.A. and A.J. STAMM, Effect of resin treatment and compression upon the weathering properties of veneer laminates, <i>Forest Prod. J.</i> , 8 , 203 (1958).	E-0116	VI
YOUNGS, R.L. and C.B. NORRIS, A method of calculating internal stresses in drying wood, U.S.F.L. Rep. No. 2133, (1958).	F-02	III
LUNDGREN, A., Die hygroskopischen Eigenschaften von Holzfaserplatten, <i>Holz als Roh-und Werkstoff</i> , 16 , 122 (1958).	I-026	V
PERKITNY, T., Untersuchungen über den Quellungsdruck des Holzes, <i>Holz als Roh-und Werkstoff</i> , 16 , 241 (1958).	I-011	IV
JOHNSTON, D.D., Die weikung mechanischer Hemmung während des Trocknens auf das anschließende Verwerfen des Holzes, <i>Holz als Roh-und Werkstoff</i> , 16 , 449 (1958).	I-017	IV
KAUMAX, W.G., The influence of drying stresses on collapse in <i>Eucalyptus regnans</i> , C.S.I.R.O., Div. Forest Prod. Technological Paper, No. 3, 1 (1958).	P-08	IV
NARAYANAMURTI, D., Some aspects of the rheology of wood, Proceedings of the fourth congress on theoretical and applied mechanics, 53 (1958).	W-07	V

PERKITNY, T. and J. STEFANIAK, Über den einfluss gleichzeitiger belastung und befeuchtung auf die biegefestigkeit des holzes, Roczniki Wyzszej Szkoty Rolniczej w Poznaniu, 3 , 3 (1958). (独要約あり)	Z-011	IV
井阪三郎, プラスチック仮オーバーレイ製品の反り, 木材工業, 14 , 425 (1959).	B-04	IV
後川卯三郎, 化粧合板のヒワレについて, 木材工業, 14 , 534 (1959).	B-026	IV
大沼加茂也, 斎藤寿義, 木材の収縮経過に関する 2, 3 の考察, 林試報, No. 116, 75 (1959).	C-01	III・IV
大野福也, モザイクフローリングの狂い, 特に接着温度と外気温度の差の影響について (1), 北林指月報, No. 89, 7 (1959).	D-088	XII
吉田直隆, 乾燥材の落込みの進展について, 北林指月報, No. 93, 19 (1959).	D-089	XII
山岸祥恭, 岡田幹夫, 合板製品の表面割れについて—熱圧条件及び単板の裏割れが合板表面割れに及ぼす影響 (I)—, 北林指研報, No. 14, 57 (1959).	D-073	XII
VERRALL, A.F., Preservative moisture-repellent treatments for wooden packing boxes. Forest Prod. J., 9 , 1 (1959).	E-0111	VI
KEMP, A.E., Collapse in aspen during kiln drying, Forest Prod. J., 9 , 124 (1959).	E-047	IV
SCHNEWIND, A.P., Transverse anisotropy of wood: A function of gross anatomic structure, Forest Prod. J., 9 , 350 (1959).	E-0112	VI
YOUNGS, R.L. and C.B. NORRIS, Internar stresses in wood, Forest Prod. J., 9 , 367 (1959).	E-02	III
STAMM, A.J., Effect of polyethylene glycol on the dimensional stability of wood, Forest Prod. J., 9 , 375 (1959).	E-0113	VI
LUND, A.E. and M.A. TARAS, Kiln drying chemically treated scarlet oak and white oak lumber, Forest Prod. J., 9 , 398 (1959).	E-0114	VI
NORTHCOTT, P.L., H.G.M. COLBECK, W.V. HANCOCK and K.C. SHEN, Undercure casehardening in plywood, Forest Prod. J., 9 , 442 (1959).	E-068	VI
PERKITNY, T., M. LAWNICZAK und H. MARCINIAK, Über den Einfluß des Dämpfens auf den Quellungsdruck des Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, 17 , 54 (1959).	I-01	IV
EBERL, W. und A. GRATZL, Quellen und Schwinden des Holzes, Holzforschung und Holzverwertung, 11 , 60 (1959).	K-023	VI
JOHNSTON, D.D., Further experiments on the effect of mechanical restraint during drying on the subsequent distortion of timer, D.S.I.R., Forest Prod. Res. Lab., Princes Risborough, (1959).	L-05	IV
CORTES, R.T. and W.G. KAUMAN, Effect of partial or complete replacement of water with various liquids on the intensity of collapse in <i>Eucalyptus regnans</i> , C.S.I.R.O., Div. Forest Prod. Report, No. 23. 1 (1959).	P-027	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (I), 概説及びラワン材の乾燥について (1), 木材工業, 15 , 58 (1960).	B-06	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (I), 概説及びラワン材の乾燥について (2), 木材工業, 15 , 121 (1960).	B-07	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (II), メダンジョシコン及びブナ材の乾燥, 木材工業, 15 , 278 (1960).	B-08	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (III), シナ材の乾燥 (1), 木材工業, 15 , 380 (1960).	B-09	IV
小倉武夫, 木材乾燥によって生ずる応力, 木材工業, 15 , 425 (1960).	B-017	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (III), シナ材の乾燥 (2), 木材工業, 15 , 435 (1960).	B-027	IV
山岸祥恭, 岡田幹夫, 合板製品の表面割れについて (第2報), 熱圧条件及び単板厚さが合板表面割れに及ぼす影響, 北林指研報, No. 16, 17 (1960).	D-074	XII
中川 宏, 吉田直隆, 遠藤 諒, 単板乾燥における単板の“おどり”について, 北林試月報, No. 99, 10 (1960).	D-090	XII
ELLWOOD, E.L., B.A. ECKLUND and E. ZAVARIN, Collapse in wood: Exploratory experiments in its prevention, Forest Prod. J., 10 , 8 (1960).	E-032	IV
ELMENDORF, A. and T.W. VAUGHAN, Means for reducing the checking of Douglas-fir		

plywood, Forest Prod. J., 10 , 45 (1960).	E-0104	VI
SMITH, H.H. and J.R. DITTMAN, Lumber drying and quality control of moisture content in kiln-dried lumber, Forest Prod. J., 10 , 353 (1960).	E-0109	VI
HERRICK, F.W. and R.J. CONCA, The use of bark extracts in cold-setting waterproof adhesives, Forest Prod. J., 10 , 361 (1960).	E-0110	VI
KAUMAN, W.G., Collapse in some Eucalyptus after treatment in inorganic salt solutions, Forest Prod. J., 10 , 463 (1960).	E-049	IV
BRYAN, E.L., Collapse and its removal in Pacific madrone, Forest Prod. J., 10 , 598 (1960).	E-050	IV
KÜBLER, H., Drying stresses and stress relief in thin sections of wood, U.S. Forest Prod. Lab. Report, No. 2164 (1960).	F-03	IV
PERKITNY, T., Die Durckschwandungen in verschieden vorgepreßten und dann starr eingeklammerten Holzkörpern, Holz als Roh- und Werkstoff, 18 , 200 (1960).	I-08	III・IV
STEFANIAK, J. and E. CHOLECKI, Über den Einfluß gänzlicher und teilweiser Quellungsbehinderung auf die darauffolgende Schwindung des Holzes, Jahresber. d. Landw. Hochschule Poznan, 1 , 123 (1958), Abstract in Holz als Roh- und Werkstoff, 18 , 322 (1960).	I-077	XI
SCHNIEWIND, A.P., On the nature of drying stresses in wood, Holzforschung, 14 , 161 (1960).	J-02	III
BACHER, F., Das Stehvermögen von glatten Türen mit Preßplatten bei laboratoriums-mäßiger Prüfung und im praktischen Einsatz, Holzforschung und Holzverwertung, 12 , 22 (1960).	K-013	IV
STEVENS, W.C., Twist in Sitka spruce, Timber Trades J., 232 , 83 (1960).	O-04	IV
STEVENS, W.C. and D.D. JOHNSTON, Distortion caused by spiralled grain, Timber Technology, 68 , 217 (1960).	O-02	IV
KAUMAN, W.G., Contributions to the theory of cell collapse in wood: Investigations with <i>Eucalyptus regnans</i> , Australian J. Appl. Sci., 11 , 122 (1960).	P-09	IV
BARKAS, W.W., The swelling of wood under stress (5). Svensk Papperstidning, 53 , 543 (1960).	T-05	VI
RACZKOWSKI, J., Anisotropy of swelling pressure of wood, Folia Forestalia Polonica, 2 , 115 (1960). (英要約あり)	Z-012	IV
大倉精二, 小沢勝治, 高島恵治, 竹入勝美, 木材のねじれ狂い, 木材誌, 7 , 205 (1961).	A-017	IV
TARKOW, H. (横田訳), 木材と水の相互作用, 木材工業, 16 , 111 (1961).	B-02	III
寺沢 真, 人工乾燥スケジュールについて (1), 木材工業, 16 , 372 (1961).	B-021	IV
寺沢 真, 人工乾燥スケジュールについて (2), 木材工業, 16 , 419 (1961).	B-022	IV
野間達一, 厚材の人工乾燥について, 木材工業, 16 , 469 (1961).	B-013	V
NARAYANAMURTI, D. and R.C. GUPTA, Swelling pressure of wood, 材料, 10 , 431 (1961).	D-01	III
高橋 徹, 山田 正, 梶田 茂, 木材乾燥応力の一測定法について, 京大農演習林報, No. 32, 33 (1961).	D-02	III・IV
中川 宏, 遠藤 諒, 武田行夫, 乾燥材の狂い, 栈木ずれによる板の反り, 北林指月報, No. 116, 9 (1961).	D-024	V
中川 宏, 吉田直隆, 遠藤 諒, 鍋田 弘, 武田行夫, 単板乾燥における含水率の管理及び単板の“おどり”について, 北林指月報, No. 21, 1 (1961).	D-075	XII
中川 宏, 吉田直隆, 遠藤 諒, 鍋田 弘, 武田行夫, 単板乾燥における含水率の管理及び単板のおどりについて, 北林指研報, No. 21, 3 (1961).	D-025	IV
VERRALL, A.F., Brush, dip, and soak treatments with water-repellent preservatives Forest Prod. J., 11 , 23 (1961).	E-0120	VI
POST, P.W., Relationship of flake size and resin content to mechanical and dimensional properties of flake board, Forest Prod. J., 11 , 34 (1961).	E-0151	XI
PANKEVICIUS, E.R., Influence of position in tree on recoverable collapse in wood, Forest Prod. J., 11 , 131 (1961).	E-09	IV
HEEBINK, B.G., Paper overlaid lumber, Forest Prod. J., 11 , 167 (1961).	E-0121	VI

KÜBLER, H., Drying stresses in veneer and their relief, <i>Forest Prod. J.</i> , 11 , 324 (1961).	E—010	III・IV
CAMPBELL, G.S., The value of presteamng for drying some collapse-susceptible Eucalypts, <i>Forest Prod. J.</i> , 11 , 343 (1961).	E—042	IV
STEVENS, W.C., Distortions of wood: Drying with and without restraint, <i>Forest Prod. J.</i> , 11 , 348 (1961).	E—07	VI
KAUMAN, W.G., Effect of thermal degradation on shrinkage and collapse of wood from 3 Australian species, <i>Forest Prod. J.</i> , 11 , 445 (1961).	E—026	IV
MINIUTTI, V.P., E.A. MRAZ and J.M. BLACK, Measuring the effectiveness of water-repellent preservatives, <i>Forest Prod. J.</i> , 11 , 453 (1961).	E—0122	VI
SCHNIEWIND, A.P. and P.C. KERSAVAGE, A quantitative evaluation of second order drying stresses, <i>Forest Prod. J.</i> , 11 , 523 (1961).	E—013	III
KOLLMANN, F., A. SCHNEIDER und R. TEICHGRÄBER, Untersuchungen über die Erwärm- und, Verwölbung und Trocknung hölzerner Bildtafeln bei starker Belluchtung, <i>Holz als Roh- und Werkstoff</i> , 19 , 41 (1961).	I—030	IV
GEFART, J., Temperaturverhalten und mechanische Spannugen im nassen Holz bei Hochfrequenzerwärmung. <i>Holz als Roh- und Werkstoff</i> , 19 , 270 (1961).	I—064	VI
NARAYANAMURTI, D., S.S. GHOSH und G.M. VERMA, Structural changes in wood caused by swelling and shrinkage under mechanical restraint, <i>Holzforschung und Holzwertung</i> , 13 , 31 (1961).	K—012	IV
PERKITNY, T., K. NOWAK und O. PAPRZYCKI, Untersuchungen über die vom arbeitenden Holz ausgeübten Kräfte, <i>Holzindustrie</i> , 14 , 192 (1961).	K—018	V
JOHNSTON, D.D. and M.J. BAUD, The influence of over-drying and reweting before release of restraint, D.S.I.R., <i>Forest Prod. Res. Lab., Princes Risborough</i> , (1961).	L—06	IV
STEVENS, W.C., Rates of change in the dimensions and moisture contents of wooden pancls resulting from changes in the ambient air conditions, <i>Studies in Conservation</i> , 6 , 21 (1961).	O—014	IV
RACZKOWKI, J., Swelling pressure of scots pine wood, <i>Roczniki Wyzszej Szkoty Rolniczej w Poznaniu</i> , 11 , 35 (1961). (英要約あり)	Z—013	IV
LAWNICZAK, M., Locked-up tensile stresses occuring during linear shrinking of wood in across the fibre direction. <i>Roczniki Wyzszej Szkoty Rolniczej w Poznaniu</i> , 11 , 301 (1961). (英要約あり)	Z—014	IV
大倉精二, 小沢勝治, 木材のねじれ狂い (第2報), <i>木材誌</i> , 8 , 105 (1962).	A—018	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (Ⅳ), 100℃以上の高温乾燥について (1), <i>木材工業</i> , 17 , 51 (1962).	B—010	IV
野間達一, 厚材の人工乾燥について, <i>木材工業</i> , 17 , 68 (1962).	B—014	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (Ⅳ), 100℃以上の高温乾燥について (2), 完, <i>木材工業</i> , 17 , 107 (1962).	B—011	IV
七沢喜男, 歪取りを考慮した木材乾燥の実際 (Ⅴ), 天然乾燥材の乾燥, <i>木材工業</i> , 17 , 358 (1962).	B—012	IV
野間達一, 木材乾燥スケジュール決定の方法について, <i>木材工業</i> , 17 , 562 (1962).	B—015	IV
寺沢 真, 小玉牧夫, プナ床板材の人工乾燥スケジュールについて, <i>林試報</i> , No. 135, 103 (1962).	C—014	IV
福山萬治郎, 木材の乾燥応力について, <i>京府大報</i> , No. 14, 92 (1962).	D—018	IV
HAYGREEN, J.G., A study of the kiln-drying of chemically seasoned lumber, <i>Forest Prod. J.</i> , 12 , 11 (1962).	E—061	VI
NELSON, D.E., Seasoning lumber to meet rigid moisture specifications. <i>Forest Prod. J.</i> , 12 , 24 (1962).	E—043	VI
PANKEVICIUS, E.R., Collapse intensity in two Eucalypts after treatment with hydrochloric acid and sodium chloride solutions, <i>Forest Prod. J.</i> , 12 , 39 (1962).	E—037	IV
LUTZ, J.F., H.H. HASKELL and R. McALISTER, Slicewood — A promising new wood product, <i>Forest Prod. J.</i> , 12 , 219 (1962).	E—0123	VI
GATSLICK, H.B., The potential of the forced-air drying of northern hardwoods, <i>Forest</i>		

Prod. J., 12, 385 (1962).	E—0124	VI
NARAYANAMURTI, D., R.C. GUPTA und J. SINGH, Quellungsdruck-Messungen an Holzwerkstoff-Platten, Holz als Roh- und Werkstoff, 20, 89 (1962).	I—07	III
RACZKOWSKI, J., Über den durch Teile eines Probekörpers ausgeübten Quellungsdruck — Erste Mitteilung: Der Schwellen-Quellungsdruck, Holz als Roh- und Werkstoff, 20, 185 (1962).	I—037	VI
KEYLWERTH, R., Untersuchungen über freie und behinderte Quellung — Zweite Mitteilung: Behinderte Quellung, Holz als Roh- und Werkstoff, 20, 292 (1962).	I—04	III・IV
NARAYANAMURTI, D. and R.C. GUPTA, Swelling pressure of compressed wood, Holzforchung und Holzverwertung, 14, 28 (1962).	K—04	III
NARAYANAMURTI, D., S.S. CHOSH, N.C. JAIN and B.S. NEGI, Structural changes in wood caused by compression, Holzforchung und Holzverwertung, 14, 47 (1962).	K—024	VI
PERKITNY, T., Beiträge zur Ermittlung der Qualität von Spanplatten, Holztechnologie, 3, 64 (1962).	K—019	V
PERKITNY, T., Über das unterschiedliche Verhalten von Holz, Span- und Faserplatten bei Feuchtigkeitsänderung und gleichzeitiger Belastung, Holzindustrie, 15, 312 (1962).	K—18	VI
ARZUMANYAN, G.A., Swelling pressure of compressed pine sapwood, C.S.I.R.O. trans. No. 5740, (1962).	Q—01	III
LAWNICZAK, M. and J. RACZKOWSKI, A study of desorption stresses developed during the shrinkage of certain tropical woods perpendicular to the grain, C.S.I.R.O. trans. No. 6062, (1962).	Q—02	III
IVANOV, Yu.M., Elongation and longitudinal shrinkage of timber during swelling, translated from Akad. Nauk USSR. Inst. Lesa. Trudy, 51, 107(1962), C.S.I.R.O. trans. No. 6462, (1963).	Q—06	IV
IVANOV, Yu.M., Study of timber swelling, translated from Akad. Nauk USSR. Inst. Lesa. Trudy, 51, 91(1962), C.S.I.R.O. trans. No. 6463 (1963).	Q—05	IV
LAWNICZAK, M. and J. Raczkowski, A study of resorption stresses developed in the contraction of certain tropical woods, Revue Bois et Forets des Tropiques, No. 82, 53 (1962).	U—03	IV
大倉精二, 小沢勝治, 高垣宜裕, 木材のねじれ狂い(第4報), 繊維方向を考慮した場合の板材のねじれ狂いについて, 9, 121 (1963).	A—066	XVI
小倉武夫, 梅原 誠, 小玉牧夫, 木材乾燥によって生じた応力の除去について, 林試報, No. 150, 1 (1963).	C—012	IV
寺沢 真, 木材乾燥中に生ずる歪について, 木材工業, 18, 354 (1963).	B—024	IV
NARAYANAMURTI, D., R.C. GUPTA and J. SINGH, Swelling pressure of plastic boards—Furthner experiments, 材料, 12, 355 (1963).	D—038	V
井阪三郎, 木材の狂いについて, 材料, 12, 695 (1963).	D—046	VIII
大倉精二, 幹材のねじれ, ねじれによる応力, 材料, 12, 740 (1963).	D—047	VIII
中川 宏, 吉田直隆, 由利良重, 欠点材(節材)はどのように狂うか, 北林指月報, No. 137, 8 (1963).	D—031	IV
斉藤藤市, フィンランドにおけるパーティクルボードの研究(抄訳), 北林指月報, No. 137, 14 (1963).	D—091	XII
NELSON, D.E., The effect of temperature in the relief of drying stresses, Forest Prod. J., 13, 124 (1963).	E—044	IV
HANN, R.A., J.M. BLACK and R.F. BLOMQUIST, How durable is particleboard? Part II: The effect of temperature and humidity, Forest Prod. J., 13, 169 (1963).	E—076	VI
ELLWOOD, E.L. and B.A. ECKLUND, The effect of organic liquids on collapse and shrinkage in wood: I. Effect of degree of replacement, Forest Prod. J., 13, 291 (1963).	E—030	VI
ELLWOOD, E.L. and B.A. ECKLUND, The effect of organic liquids on collapse and shrinkage of wood: II. Effect of drying temperatures, Forest Prod. J., 13, 350 (1963).	E—029	IV
STEVENS, W.C., The transverse shrinkage of wood, Forest Prod. J., 13, 386 (1963).	E—091	VI
ELLWOOD, E.L., B.A. ECKLUND and E. ZAVARIN, The effect of organic liquids on collapse		

- and shrinkage of wood: III. Chemical influences, *Forest Prod. J.*, **13**, 401 (1963). E-036 IV
- HUBER, H.A. and A.W. KLIMASZEWSKI, Studies on predrying and polyethylene glycol treatment of green oak, *Forest Prod. J.*, **13**, 439 (1963). E-0119 VI
- SCHNIEWIND, A.P., Mechanism of check formation, *Forest Prod. J.*, **13**, 475 (1963). E-018 III
- McMILLEN, J.M., Stresses in wood during drying, U.S. Forest Prod. Lab. Report, No. 1652, (1963). F-01 IV
- PERKITNY, T. und L. HELIŃSKA, Der Quellungsdruck des Holzes in Wasser und wassergesättigter Luft, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **21**, 19 (1963). I-06 III
- BAVENDAMM, W., H. WILLEITNER und M. KRÜZNER, Praxisnahe Untersuchungen über die Bildung von Trockenrissen an imprägniertem Bauholz — Erste Mitteilung: Der Einfluß einer Schutzbehandlung auf die Rißbildung, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **21**, 369 (1963). I-069 VI
- KEYLWERTH, R., Untersuchungen über freie und behinderte Quellung — Dritte Mitteilung: Quellung im Klebeparkett, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **21**, 415 (1963). I-029 IV
- NEUSSER, H., Mixolit, eine halbhart Holzfaserverplatte, hergestellt in einem speziellen Naß verfahren, *Holzforschung und Holzverwertung*, **15**, 70 (1963). K-025 VII
- NARAYANAMURTI, D., N.C. JAIN, R.C. GUPTA and H.C. PANT, Growth stresses in trees, *Silvae Genetica*, **12**, 89 (1963). K-003 VI
- KELSEY, K.E., A critical review of the relationship between the shrinkage and structure of wood, C.S.I.R.O., Div. Forest Prod. Technol. Paper No. 28 (1963). P-031 VI
- CALVERT, W.W., High-temperature kiln-drying of pre-dried yellow birch lumber, *Canada Lumberman*, February, 23 (1963). S-02 VI
- 柳下 正, 岡西高男, 合板の表面割れに関する研究, 第一報, *林試報*, No. 167, 29 (1964). C-016 IV
- 中川 宏, 吉田直隆, 遠藤 諒, 武田行夫, 木材乾燥による板の変形, 乾燥温度と調湿処理の影響について, *北林指研報*, No. 33, 1 (1964). D-022 IV
- CECH, M.Y., Development of drying stresses during high-temperature kiln-drying, *Forest Prod. J.*, **14**, 69 (1964). E-025 IV
- LENEY, L., Checking of planed and rough red oak during kiln drying, *Forest Prod. J.*, **14**, 103 (1964). E-069 VI
- YOUNGS, R.L. and B.A. BENDTSEN, Tensile, compressive, and shearing stresses developed in red oak as it dries, *Forest Prod. J.*, **14**, 113 (1964). E-05 III
- BARMACLE, J.E. and G.S. CAMPBELL, Drying problems associated with high pressure preservation treatment of karri crossarms, *Forest Prod. J.*, **14**, 265 (1964). E-0130 VI
- JOHNSON, J.W., Effect of exposure cycles on stability of commercial particleboard, *Forest Prod. J.*, **14**, 277 (1964). E-070 VI
- KAUMAN, W.G. and G. MITTAK, Problems in drying Chilean coigüe, *Forest Prod. J.*, **14**, 359 (1964). E-0129 VI
- KLINGA, L.O. and E.L. BACK, Drying stresses in hardboard and the introduction of cross-linking stresses by a heat treatment, *Forest Prod. J.*, **14**, 425 (1964). E-017 IV
- BLOMQUIST, R.F. and W.Z. OLSON, Durability of fortified urea-resin glues exposed to exterior weathering, *Forest Prod. J.*, **14**, 461 (1964). E-0125 VI
- KEITH, C.T., Surface checking in veneered panels, *Forest Prod. J.*, **14**, 481 (1964). E-0126 VI
- SELBO, M.L., Ten-year exposure of laminated beams treated with oilborne, and waterborne preservatives, *Forest Prod. J.*, **14**, 517 (1964). E-0127 VI
- MINIUTTI, V.P., Preliminary observations microscale changes in cell structure at softwood surfaces during weathering, *Forest Prod. J.*, **14**, 571 (1964). E-0128 VI
- LAWNICZAK, M., Über die Formänderung von Holz nach aufgebobener Quellungsbehinderung, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **22**, 89 (1964). I-02 IV
- KAUMAN, W.G., Zellkollaps im Holz — Erste Mitteilung: Verhütung, Verminderung und Prognose des Zellkollaps und seine Rückbildung, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **22**, 183 (1964). I-038 IV
- KEYLWERTH, R., Untersuchungen über freie und behinderte Quellung — Fünfte Mittei-

lung: V. Parallel zur Faserrichtung behinderte Quellung, Holz als Roh- und Werkstoff, 22 , 295 (1964).	I—05	III
KEYLWERTH, R., Über das Heißpressen von Holz, Holz als Roh- und Werkstoff, 22 , 413 (1964).	I—070	VI
KAUMAN, W.G., Zellkollaps im Holz — Zweite Mitteilung: Verhütung, Verminderung und Prognose des Zellkollaps, Holz als Roh- und Werkstoff, 22 , 465 (1964).	I—039	IV
WNUK, M., Die Druckschwankungen in vorgepreßten und dann starr eingeklammerten Spanplattenproben im Vergleich zu Kiefernspiltholz, Holztechnologie, 5 , 88 (1964).	K—021	V
寺沢 真, 南洋材の乾燥スケジュール, 木材工業, 19 , 250 (1964).	B—056	XIV
寺沢 真, 木材乾燥スケジュールの簡易決定法, 木材工業, 20 , 216 (1965).	B—018	IV
七沢喜男, 小林正憲, ランバーコア—合板の反りに及ぼすマンボ材の含水率の影響について, 木材工業, 20 , 241 (1965).	B—020	IV
KASS, A.J., Shrinkage stresses in externally restrained wood, Forest Prod. J., 15 , 225 (1965).	E—06	III
SELBO, M.L., Performance of melamine resin adhesives in various exposures, Forest Prod. J., 15 , 475 (1965).	E—0131	VI
KOCH, P., Effects of seven variables on properties of southern pine plywood — Part IV: Minimizing face checking, Forest Prod. J., 15 , 495 (1965).	E—071	VI
MORÉN, R., Die Polyäthylenglykol-Imprägnierung von Holz und ihre Auswirkungen bei Holz Trocknung und Holzbearbeitung, Holz als Roh- und Werkstoff, 23 , 142 (1965).	I—071	VI
NEČESANÝ, V., Der Quellungsdruck von Holz und seinen Bestandteilen, Holz als Roh- und Werkstoff, 23 , 183 (1965).	I—062	V
NARAYANAMURTI, D., and R.K. KAUL, Quellen und Wasseraufnahme heißhandellen Preßholzes, Holztechnologie, 6 , 173 (1965).	K—03	IV
CALVERT, W.W., High-temperature kiln-drying of Eastern Canadian species, Canadian Wood Prod. Industries, (1965).	S—01	IV
高橋 徹, 大野則道, 光弾性応力計による木材の内部応力の測定 (第2報), 収縮応力について, 木材誌, 12 , 67 (1966).	A—01	III
岡 康寛, 則元 京, 山田 正, ヒノキ柁目および木口材の反りについて, 木材研究, No. 39, 29 (1966).	D—010	III・IV
中川 宏, 熱気乾燥における板材の収縮と変形に関する研究, 北林試研報, No. 48, 1 (1966).	D—026	IV
南 義夫, 木材の吸水による膨張力, 第10回材料試験連合会講演会, 前刷, 147 (1966).	D—09	III
寺沢 真, 佐藤庄一, カンボジア産材 8 樹種の乾燥スケジュール, 林試報, No. 190, 62 (1966).	C—015	IV
BROWN, F.L., D.L. KENAGA and R.K. GOOCH, Impregnation to control dimensional stability of particleboard and fiberboard, Forest Prod. J., 16 , No. 11, 45 (1966).	E—072	VI
ERICKSON, R.E., Drying prefrozen redwood, Forest Prod. J., 16 , 57 (1966).	E—021	IV
HEEBINK, B.G., Reaction of unbalanced panel construction to slow and rapid changes in relative humidity, U.S. Forest Service Res. Note FPL-0116 (1966).	F—016	VII
KUFNER, M., Entwicklung eines Verfahrens zur Prüfung des Formänderungsverhaltens von plattenförmigen Holzwerkstoffen, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 4 (1966).	I—040	IV
BARISKA, M., Über den Einfluß der Teerölimprägnierung auf das Schwindverhalten von Buchenholz, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 18 (1966).	I—068	VI
KEINESWERTH, R., Praxis und Fortschritte der Holz Trocknung, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 205 (1966).	I—046	IV
DEPPE, H. J. et al., Beständigkeit von Carbamid- und Phenolharz-verleimungen bei Holzspanplatten, Holz als Roh- und Werkstoff, 24 , 285 (1966).	I—022	III・IV
KEHR, E., H. WATZKE und S. KARGER, Untersuchungen über die Eignung verschiedener Holzstellung von Spanplatten, Holztechnologie, 7 , 277 (1966).	K—07	IV
KLINGA, L.O. and H. TARKOW, Dimensional stabilization of hardboard by acethlation, Tappi, 49 , 23 (1966).	G—01	XIV

中川 宏, 前田市雄, 河原田洋三, 千葉宗明, 板材の収縮及び割れからみた乾燥スケジュール (1), 北林試月報, No. 181, 7 (1967).	D—011	IV
中川 宏, 吉田直隆, 遠藤 諒, 板材の収縮及び割れからみた乾燥スケジュール (2), 北林試月報, No. 182, 11 (1967).	D—012	IV
吉田弥明, 野崎兼司, 田口 崇, プナ合板の狂いの測定, 北林試月報, No. 182, 15 (1967).	D—092	XII
中川 宏, 開田市雄, 河原田洋三, 千葉宗明, 板材の収縮及び割れからみた乾燥スケジュール (3), 北林試月報, No. 183, 12 (1967).	D—028	IV
中川 宏, 前田市雄, 河原田洋三, 千葉宗明, 板材の収縮及び割れからみた乾燥スケジュール (4), 北林試月報, No. 184, 1 (1967).	D—029	IV
中川 宏, 前田市雄, 河原田洋三, 木材乾燥における湿度処理の効果について—乾燥板材の吸湿と寸度の変化—, 北林試月報, No. 11, 1 (1967).	D—076	XII
藤田晋輔, 高橋 徹, 桜井敏夫, 熱帯産木材の乾燥性について, 島根大農研報, No. 1, 83 (1967).	D—044	VII
岡 康寛, 山田 正, 木材表層の乾湿に伴う反りについて, 木材研究, No. 41, 46 (1967).	D—045	VII
HEEBINK, B.G., A look at degradation in particleboards for exterior use, Forest Prod. J., 17, No. 1, 59 (1967).	E—077	VI
YLINEN, A. and P. JUMPPANEN, Theory of the shrinkage of wood, Wood Science and Technology, 1, 241 (1967).	H—013	
LAWNICZAK, M., Einfluß der Erwärmung von Rotbuche in Wasser auf das rheologische Verhalten bei zyklischer Belastung quer zur Faser, Holz als Roh- und Werkstoff, 25, 5 (1967).	I—048	IV
PERKITNY, T. und E. NOWICKI, Untersuchungen über die Wölbungskräfte trocknenden Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, 25, 217 (1967).	I—041	IV
WILLEITNER, H. und G. LANGNER, Praxisnahe Untersuchungen über die Bildung von Trockenrissen an imprägniertem Bauholz — Zweite Mitteilung: Der Einfluß einer Rißbildung auf den Schutzerfolg, Holz als Roh- und Werkstoff, 25, 268 (1967).	I—066	VI
KÜBLER, H. und A. GEISSEN, Studie über das Stehvermögen von Türen bei einseitiger Klimaeinwirkung, Holz als Roh- und Werkstoff, 25, 429 (1967).	I—067	VI
KALNIN'S A.J., T.A. DARZIN'S, A.D. JUKNA und G.V. BERZIN'S Riga, Physikalisch-mechanische Eigenschaften mit Ammoniak chemisch plastifizierten Holzes, Holztechnologie, 8, 23 (1967).	K—010	IV
OERTEL, J., Untersuchungen über Kriechverhalten, Spannungsrelaxation und Quellungsdruckspannung an Holzspanplatten, Holztechnologie, 8, 119 (1967).	K—014	IV
PERKITNY, T. und L. HELIŃSKA-RACZKOWSKA, Über den Einfluß der Trocknungstemperatur auf das Entstehen von Schwundrissen im Holz, Holztechnologie, 8, 225 (1967).	K—015	IV
SADOH, T. and R.S.T. KINGSTON, Longitudinal shrinkage of wood — Part II: The relation between longitudinal shrinkage and structure, C.S.I.R.O., Reprinted from: Wood Science and Technology, 1, 81 (1967).	P—029	IV
SCHMIDT, J., Press drying of beechwood, Forest Prod. J., 17, No. 9, 107 (1967).	E—0158	X III
MOTTET, A.L., The particle geometry factor in particleboard manufacturing, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No. 1, 23 (1967).	H—029	XVII
竹村富男, 金川 靖, 中戸莞二, 木材の可塑性に対する緩和理論の応用, 木材誌, 14, 395 (1968).	A—78	X
椋代純輔, 積層接着された木材の内部応力に関する研究, 林試報, No. 211, 1 (1968).	C—020	V
IWASHITA, M. and A.M. STASHEVSKI, Studies on particle board (XI), Studies on overlaid particle board (2), The influence of physical properties of some Japanese particle boards and high pressure decorative laminates on the stability of overlaid boards, 林試報, No. 215, 1 (1968).	C—022	VII
山田 正, 木材の Hygrostress (引張圧縮の場合), 木材研究, No. 44, 1 (1968).	D—039	V
満久崇磨, 佐々木光, 石原茂久, 木本 馨, 加茂弘雄, 複合パネルの 2, 3 の性質について, 木材研究, No. 44, 21 (1968).	D—043	VII

- 横田竹松, パネルの反狂防止と接着条件について (第1報 (1)), 接着, **12**, 39 (1968). D-049 VIII
- 横田竹松, パネルの反狂防止と接着条件について (第1報 (2)), 接着, **12**, 237 (1968). D-050 VIII
- 大久保勲, 北沢政幸, 斉藤藤市, オーバーレイパーティクルボードの寸度変化と接着性能, 北林産試月報, No. 6, 1 (1968). D-052 XI
- 斉藤藤市, 穴沢 忠, 大久保勲, 北沢政幸, フェノールパーティクルボード製造における熱処理の効果, 北林産試月報, **8**, 5 (1968). D-051 X
- GJOVIK, L.R. and R.H. BAECHLER, Field tests on wood dethiaminized for protection against decay, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 1, 25 (1968). E-0132 VI
- GILFEDDER, J., W.G. KEATING and I. ROBERTSON, Influence of certain preservatives on pole splitting, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 1, 28 (1968). E-0133 VI
- BELLO, E.D., Effect of transverse compressive stress on equilibrium moisture content of wood, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 2, 69 (1968). E-057 V
- RYAN, T.R. and J.G. HAYGREEN, Shear stresses resulting from swelling in laminated assemblies, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 2, 78 (1968). E-051 V
- MERZ, R.W. and G.A. COOPER, Effect of polyethylene glycol on stabilization of black oak blocks, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 3, 55 (1968). E-0134 VI
- SPALT, H.A. and R.F. SUTTON, Buckling of thin surfacing materials due to restrained hygroexpansion, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 4, 53 (1968). E-059 V
- CECH, M.Y. and M. GOULET, Transverse compression treatment of wood to improve its drying behavior, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 5, 90 (1968). E-0135 VI
- CECH, M.Y., Effect of alcohol in preventing collapse under extreme drying conditions, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 6, 35 (1968). E-054 V
- TURKIA, K. and J. HAYGREEN, Platen drying of aspen sapwood, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 6, 43 (1968). E-0139 VI
- ERICKSON, R.W., Drying of prefrozen redwood — Fundamental and applied considerations, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 6, 49 (1968). E-078 VI
- ERICKSON, H.D., R.N. SCHMIDT and J.R. LAING, Freeze-drying and wood shrinkage, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 6, 63 (1968). E-0136 VI
- HAYGREEN, J.G. and K. TURKIA, Technical and economic considerations in the platen drying of aspen sapwood and paper birch cut-stock, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 8, 43 (1968). E-0137 VI
- STEINMETZ, P.E. and D.J. FAHEY, Resin treatments for improving dimensional stability of structural fiberboard, *Forest Prod. J.*, **18**, No. 9, 71 (1968). E-079 VI
- SIMPSON, W.T. and C. SKAAR, Effect of restrained swelling on wood moisture content, U.S. Forest Service Res. Note FPL-0196 (1968). F-014 VI
- PERKITNY, T. und W. KOKOCIŃSKI, Untersuchungen über das Eindringen von Wasser und Fortschreiten der Quellungsenergie in befeuchteten Holzkörpern, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **26**, 469 (1968). I-063 VI
- OERTEL, J., Vergleichende Untersuchungen an Holzspan- und harten Faserplatten, 2 Mitteilung: Zusammenhang zwischen Quellungsdruckspannung und freier Quellung bei Wasserlagerung, *Holztechnologie*, **9**, 89 (1968). K-016 V
- KRZYSIK, F., Probleme der Klangholzsortierung und Klangholzverwendung, *Holzindustrie*, **21**, 3 (1968). K-032 XII
- NARAYANAMURTI, D. and K.L. BHARGAVARAMA, The swelling and shrinkage of wood under mechanical restraint — Some further experiments, *Drevársky Výskum*, 77 (1968). Z-016 IX
- HEEBINK, B.G. and F.B. HEFTY, Steam post treatments to reduce thickness swelling of particleboard, *Proc. Washington State University Symposium on Particleboard*, No. 2, 343 (1968). H-030 XVII
- 藤田晋輔, 乾燥割れに関する研究 (第6報) 拘束乾燥によって発生した割れの顕微鏡的観察, *木材誌*, **15**, 99 (1969). A-040 XII
- 佐藤庄一, 星出 昭, ヘムロック角材の乾燥試験について, *木材工業*, **24**, 277 (1969). B-029 VII

- 佐々木徹, 山田 正, 木材の収縮応力 (1), 木材の収縮応力に及ぼす初期引張応力の影響, 木材研究, No. 48, 31 (1969). D-042 VI
- 池田修三, 宮野 力, 若井 実, ペーパーコアパネルの品質試験 (4)―表裏板異種構成パネルの吸湿反りについて―, 北林産試月報, No. 3, 1 (1969). D-053 XI
- 斉藤藤市, 穴沢 忠, パーティクルボードの膨潤圧, 北林産試月報, No. 10, 16 (1969). D-054 XI
- ERICKSON, R.W. and H.D. PETERSEN, The influence of prefreezing and cold water extraction on the shrinkage of wood, Forest Prod. J., 19, No. 4, 53 (1969). E-060 VI
- CARROLL, M.N., E.G. BERGIN and A.O. FEIHL, Accelerated and 5-year exposure tests on exterior type poplar plywood, Forest Prod. J., 19, No. 5, 43 (1969). E-0138 VI
- RIETZ, R.C., Influence of initial drying temperatures on development of warp in one-inch hard maple, Forest Prod. J., 19, No. 7, 37 (1969). E-080 VI
- HEEBINK, B.G. and F.V. HEFTY, Treatment to reduce thickness swelling of phenolic-bonded particleboard, Forest Prod. J., 19, No. 11, 17 (1969). E-081 VI
- KUBLER, H., Bowing of panels in one-sided atmospheres, Forest Prod. J., 19, No. 11, 43 (1969). E-082 VI
- RIETZ, R.C., News and views of this kiln drying business: Dip treatment in polyethylene glycol not effective in preventing surface checking, U.S. Forest Service Res. Note FPL-0204 (1969). F-015 VII
- IVAOV, Yu.M., Physikalisch-mechanische Prüfmethode für modifiziertes Holz, Holztechnologie, 10, 12 (1969). K-022 VI
- CUEVAS, L.E., Shrinkage and collapse studies on *Eucalyptus viminalis*, J. Inst. Wood Sci., No. 23, 29 (1969). O-016 VI
- UGOLEV, B.N. and U.G. LAPSHIN, The mechanism of development of residual deformations during the drying of wood, C.S.I.R.O., Trans. No. 9670 (1969), (Translated from: Derevoobrabatyvayushchaya Promyshlennost, 16,(7) 9 (1967)). Q-07 VII
- 岩下 睦, 複合材料の反り (I), 木材工業, 25, 106 (1970). B-031 VII
- 岩下 睦, 複合材料の反り (II), 木材工業, 25, 165 (1970). B-032 VII
- 前田市雄, 鷹栖紀明, カラマツ材の熱盤乾燥条件について, 北林産試月報, No. 8, 11 (1970). D-055 XI
- NARAYANAMURTI, D., Some investigations on the rheology of wood, Proceedings of the Fifth International Congress on Rheology, 2, 625 (1970). D-176 XII
- COOPER, G.A., R.W. ERICKSON and J.G. HAYGREEN, Drying behavior of prefrozen black walnut, Forest Prod. J., 20, No. 1, 30 (1970). E-0140 VII
- VICK, C.B., X-ray used in drying studies to detect honeycomb, Forest Prod. J., 20, No. 3, 52 (1970). E-0141 VII
- WECKSTEIN, S.T. and W.W. RICE, A system for controlling warp when kiln-drying plantation-grown red pine, Forest Prod. J., 20, No. 9, 70 (1970). E-0145 VIII
- BURMESTER, A., Einfluß der Holzfeuchtigkeit bei der Diisocyanat-Ttänkung auf physikalische und mechanische Eigenschaften von Polymerholz, Holz als Roh- und Werkstoff, 28, 183 (1970). I-073 VII
- PERRITNY, T. und S. ZALEJSKI, Über den Einfluß verschiedener Trocknungstemperaturen auf die Verwölbung von Buchenbrettern, Holz als Roh- und Werkstoff, 28, 193 (1970). I-072 VII
- RACZKOWSKY, J., Über den durch Teile eines Probekörpers ausgeübten Quellungsdruck — Zweite Mitteilung: Der Stempel-Quellungsdruck, Holz als Roh- und Werkstoff, 28, 292 (1970). I-074 VII
- JAIN, N.C., R.C. GUPTA and D. RAM, Swelling pressure of plywood, Holzforschung und Holzverwertung, 22, 74 (1970). K-026 VIII
- PERRITNY, J. and J. RACZKOWSKI, Effect of polyethylene glycol content in beech wood on its swelling pressure, Holzforschung und Holzverwertung, 22, 105 (1970). K-027 VIII
- KLEM, G.S., Betydningen av sterk tilvekstøkning hos vanlig furu for trevirkets tørkeskader, bøyefasthet og skjærfasthet, Norsk Skogindustri, 24, 43 (1970). T-07 VII

- NARAYANAMURTI, D. and G.M. VERMA, Swelling and shrinkage of wood under mechanical restraint: Influence of various factors, Part I, J. Indian Acad. Wood Sci., **1**, 67 (1970). W-08 IX
- NARAYANAMURTI, D., S.S. ZOOLAGUD and T.S. RANGARAJU, Swelling and shrinkage of wood under mechanical restraint — Influence of temperature, Drevársky Výskum, **43** (1970). Z-017 IX
- HALLGAN, A.F., A review of thickness swelling in particleboard, Wood Science and Technology, **4**, 301 (1970). H-022 X V
- 寺沢 真, 乾燥経過中の内部応力を考慮したスケジュールの考え方, 木材工業, **26**, 550 (1971). B-033 VIII
- 大山幸夫, 河原田洋三, 橋本博和, 菅野新六, エゾマツ有節材の乾燥試験—板類の節割れ防止—, 北林産試月報, No. 3, 1 (1971). D-056 XI
- 前田市雄, 鷹栖紀明, 熱盤乾燥によるカラマツ材の品質, 北林産試月報, No. 4, 8 (1971). D-057 XI
- 大山幸夫, 河原田洋三, 米田昌世, 千葉宗昭, カラマツ間伐材の乾燥に関する研究 (第1報)—集成柱用正割材の人工乾燥 (1)—, 北林産試月報, No. 6, 7 (1971). D-070 XII
- 大山幸夫, 河原田洋三, 米田昌世, 千葉宗昭, カラマツ間伐材の乾燥に関する研究 (第1報)—集成柱用正割材の人工乾燥 (2)—, 北林産試月報, No. 7, 7 (1971). D-071 XII
- 大久保勲, 北沢政幸, 波岡保夫, フェノール樹脂を接着剤とするパーティクルボードの熱処理—小片含水率と熱処理時間について—, 北林産試月報, No. 12, 10 (1971). D-066 XII
- CECH, M.Y., Dynamic transverse compression treatment to improve drying behavior of yellow birch, Forest Prod. J., **21**, No. 2, 41 (1971). E-0142 VIII
- MEYER, R.W. and G.M. BARTON, A relationship between collapse and extractives in western red cedar, Forest Prod. J., **21**, No. 4, 58 (1971). E-0150 XI
- KOCH, P., PROCESS for straightening and drying southern pine 2 by 4's in 24 hours, Forest Prod. J., **21**, No. 5, 17 (1971). E-0143 VIII
- ERICKSON, R., L. DEMAREE, P. JOHNSTON and E. MORTON, Prefreezing alone and combined with presteaming in the drying of redwood dimension, Forest Prod. J., **21**, No. 7, 54 (1971). E-0144 VIII
- SIMPSON, W.T., Moisture changes induced in red oak by transverse stress, Wood and Fiber, **3**, 13 (1971). H-04 VIII
- KUBINSKY, E., Influence of steaming on the properties of *Quercus rubra* L. wood, Holz-forschung, **25**, 78 (1971). J-04 IX
- BURMESTER, A. and C.Z. OLSEN, Verbesserung der Formbeständigkeit von Buchenholz durch Tränkung mit Diisocyanat nach WAN-Trocknung, Holzforschung, **25**, 84 (1971). J-03 IX
- NEUSSER, H., K. HÄDINGER und M. ZENTNER, Über das Stehvermögen von Spanplatten und halbhartem Faserplatten, Holzforschung und Holzverwertung, **23**, 110 (1971). K-028 IX
- BARNACLE, J.E., Rapid effect of drying on development of heart cracks, Australian Forestry, **35**, 251 (1971). P-032 IX
- NARAYANAMURTI, D. and G.M. VERMA, Swelling and shrinkage of wood under mechanical restraint: Influence of various factors, Part II, *Dalbergia sissoo*, J. Indian Acad. Wood Sci., **2**, 1 (1971). W-09 IX
- 齋藤藤市, パーティクルボードの厚さ回復, 木材工業, **27**, 14 (1972). B-060 X V
- 竹村富男, 放湿過程の木材の記憶効果 (第3報), 乾燥応力の予測原理, 木材誌, **18**, 1 (1972). A-019 IX
- 竹村富男, 放湿過程の木材の記憶効果 (第4報), 乾燥応力の予測, 木材誌, **18**, 105 (1972). A-020 IX
- 佐々木徹, 山田 正, 木材の収縮応力 (第2報), 重ね合わせの適用について, 木材誌, **18**, 169 (1972). A-021 IX
- 三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第1報), 木材の膨潤圧におよぼす試験体の形状, 寸法および試験体の水中浸漬高の影響, 木材誌, **18**, 381 (1972). A-022 IX
- 藤田晋輔, 乾燥割れに関する研究 (第8報), 横引張による組織構造帯の変形, 木材誌,

18, 427 (1972).	A—023	IX
寺沢 真, 林 和男, 木材乾燥にみられる落込み, 木材工業, 27 , 526 (1972).	B—034	IX
西尾 茂, カップ法による木材乾燥応力の推定, 木材工業, 27 , 596 (1972).	B—046	XII
大山幸夫, 河原田洋三, 米田昌世, 千葉宗昭, 建築用針葉樹製材品の乾燥, 北林産試月報, No. 3, 1 (1972).	D—069	XI
吉田弥明, 田口 崇, 異樹種構成3 プライ合板の反り, 北林産試月報, No. 8, 1 (1972).	D—068	XI
大山幸夫, 河原田洋三, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, カラマツ間伐材の乾燥に関する研究 (第2報)—板, 正角の狂い防止—, 北林産試月報, No. 9, 6 (1972).	D—067	XI
酒田金治, 木材の加圧収縮についての一実験, 鳥取大学農学部研究報告, 26 , 25 (1972).	D—062	XI
吉田直隆, 竹中 健, 石黒信二, 鷺岡 雅, ダフリカカラマツ小径材の人工乾燥特性, 木材と技術, No. 8, 8 (1972).	D—098	XII
竹中 健, 吉田直隆, 信州カラマツ間伐材ひき材の人工乾燥試験, 木材と技術, No. 11, 10 (1972).	D—099	XII
神長邦雄, 和田良雄, 池上元一, 榊原寿一, 森 学, 内田隆三, 複合構成の研究 (第1報) フラッシュパネルの波打ちについて, 静岡県工業試験場報告, No. 16, 23 (1972).	D—097	XII
西尾 茂, 中村昭二, Cup 法による木材乾燥応力経過の推定, 鳥取県工業試験場研究報告, 昭和46年度, (1972).	D—0101	XII
DOST, W.A. and D.G. ARGANBRIGHT, Steaming under restraint to remove warp in dried softwood studs, Forest Prod. J., 22 , No. 3, 42 (1972).	E—0146	IX
HEEBINK, B.G., Irreversible dimensional change in panel materials, Forest Prod. J., 22 , No. 5, 44 (1972).	E—0147	IX
CAVE, I.D., Swelling of a fibre reinforced composite in which the matrix is water reactive, Wood Science and Technology, 6 , 157 (1972).	H—05	IX
LESSE, P.F., Osmotic stress in wood — Part I: The analogy between thermal and swelling stress, Wood Science and Technology, 6 , 204 (1972).	H—012	XI
PERKITNY, T. and R.S.T. KINGSTON, Review of the sufficiency of research on the swelling pressure of wood, Wood Science and Technology, 6 , 215 (1972).	H—08	X
LESSE, P.F. and R.S.T. KINGSTON, Osmotic stress in wood — Part II: On the computation of drying stresses in wood, Wood Science and Technology, 6 , 272 (1972).	H—011	XI
MACKAY, J.F.G., Recovery of collapse in <i>Eucalyptus delegatensis</i> by use of anhydrous ammonia and steam. Wood and Fiber, 4 , 126 (1972).	H—07	X
KINGSTON, R.S.T. and T. PERKITNY, Zusammenhänge zwischen aktivem Quellungsdruck und passiver Zusammendrückbarkeit von Holz durch äußere Kräfte, Holz als Roh- und Werkstoff, 30 , 18 (1972).	I—075	IX
PERKITNY, H., G. HRUZIK und J. PERKITNY, Freie und mechanisch behinderte Verwölbung von Buchenbrettern bei ihrer Trocknung und Wiederbefeuchtung, Holz als Roh- und Werkstoff, 30 , 309 (1972).	I—076	IX
MACKAY, J.F.G., The occurrence, development and control of checking in Tasmanian <i>eucalyptus obliqua</i> , Holzforschung, 26 , 121 (1972).	J—05	IX
MCINTYRE, I.S., Estimation of the distortion of wood-based panels — particularly doors subject to a climatic differential, J. Inst. Wood Sci., 6 , 3 (1972).	O—017	IX
BALODIS, V., Cupping in seasoned boards from plantation softwood thinnings, CSIRO, Division of Forest Products Technological Paper No. 63 (1972).	P—033	IX
NARAYANAMURTI, D. and G.M. VERMA, Swelling and shrinkage of wood under mechanical restraint, influence of various factors on <i>Tectona grandis</i> , Holzforschung und Holzverwertung, 24 , 83 (1972).	K—036	XIV
MACKAY, J.F.G., The occurrence, development and control of checking in Tasmanian <i>Eucalyptus obliqua</i> , Holzforschung, 26 , 121 (1972).	J—08	XII
寺沢 真, 人工乾燥操作における研究課題, 木材誌, 19 , 207 (1973).	A—042	XIII
久田卓興, 筒本卓造, 南洋材のドラインセットについて, 木材工業, 28 , 61 (1973).	B—048	XIII
竹村富男, 乾燥応力のミニピュータシミュレーション, 材料, 22 , 943 (1973).	D—0134	XVII
三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第2報), 木材の膨潤圧におよぼす初期含水率の		

- 影響, 木材誌, **19**, 63 (1973). A—025 X
- 斉藤藤市, 吸湿, 吸水処理による熱圧縮木材の厚さの回復, 木材誌, **19**, 221 (1973). A—024 X
- 三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第3報), 木材の膨潤圧におよぼす初期応力の影響, 木材誌, **19**, 255 (1973). A—027 X
- 斉藤藤市, 熱圧縮木材の膨潤圧, 木材誌, **19**, 261 (1973). A—026 X
- 徳本守彦, ドライング・セットの水分回復 (第1報), セット材の全膨潤経過, 木材誌, **19**, 577 (1973). A—129 XI
- 徳本守彦, ドライング・セットの水分回復 (第2報) セットの回復に及ぼす吸着水分量および乾湿繰り返し効果, 木材誌, **19**, 585 (1973). A—033 XI
- 斉藤藤市, パーティクルボード, 木材工業, **28**, 211 (1973). B—037 XI
- 西尾 茂, 中村昭二, カップ法による木材乾燥応力の推定について (第2報), 鳥取県工業試験場研究報告, 昭和47年度, (1973). D—0102 XII
- 吉田弥明, 木質積層パネルの反りについて—その理論的考察—, 北林産試月報, No. 5, 5 (1973). D—072 XII
- 大山幸夫, 奈良直哉, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, カラマツ間伐材の乾燥に関する研究 (3)—とくに圧縮乾燥の適正条件について (1)—, 北林産試月報, No. 6, 1 (1973). D—065 XI
- 吉田弥明, 田口 崇, 合板の反りに与える単板含水率の影響, 北林産試月報, No. 8, 9 (1973). D—064 XI
- 大山幸夫, 奈良直哉, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, カラマツ間伐材の乾燥に関する研究 (3)—とくに圧縮乾燥の適正条件について (2)—, 北林産試月報, No. 9, 7 (1973). D—063 XI
- 大山幸夫, 乾燥による割れ防止試験 (予報)—針葉樹心持角の PEG 処理—, 北林産試月報, No. 10, 10 (1973). D—061 XI
- 金森勝義, 河原田洋三, 千野 昭, 傾斜挽き木口円板の乾燥による損傷の軽減, 北林産試月報, No. 11, 1 (1973). D—060 XI
- MCNATT, J.D., Buckling due to linear expansion of hardboard siding, Forest Prod. J., **23**, No. 1, 37 (1973). E—0148 X
- MACKAY, J.F.G., Surface checking and drying behavior of *Pinus radiata* sapwood boards treated with CCA preservative, Forest Prod. J., **23**, No. 9, 92 (1973). E—0153 XII
- CHOONG, E.T., J.F.G. NACKAY and C.M. STEWART, Collapse and moisture flow in kiln-drying and freeze-drying of woods, Wood Science, **6**, 127 (1973). H—010 XI
- RACZKOWSKA H.L., G. LIPOVSKY and J. RACZKOWSKI, Effect of polymethyl methacrylate content in beech wood on its swelling pressure, Holzforschung und Holzverwertung, **25**, 12 (1973). K—029 X
- GONET, B., Der Einfluß des Dämpfens auf die Eigenschaften von Rotbuchenholz, Holztechnologie, **14**, 70 (1973). K—031 XI
- SURDYK, L.V., Some causes of warp in particleboard production, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No. 7, 165 (1973). H—025 X VII
- TAKAHASHI, A. and A. SCHNIEWIND, Deformation and drying set during cyclic drying and wetting under tensile loads, 木材誌, **20**, 9 (1974). A—128 XI
- 金川 靖, 木材の吸湿膨潤性 (第1報), 木材の膨潤応力について, 木材誌, **20**, 63 (1974). A—028 XI
- 金川 靖, 木材の吸湿膨潤性 (第2報), 吸着水の膨潤性について, 木材誌, **20**, 71 (1974). A—029 XI
- 寺沢 真, 林 和男, 飽水バルサ材の細胞の落込みに関する研究 (第1報), 収縮経過, 水分分布からみた細胞の落込み構機, 木材誌, **20**, 205 (1974). A—030 XI
- 林 和男, 寺沢 真, 飽水バルサ材の細胞の落込みに関する研究 (第2報), Prefreezing による細胞の落込み軽減効果, 木材誌, **20**, 306 (1974). A—031 XI
- 斉藤藤市, パーティクルボードの膨潤圧について, 木材誌, **20**, 441 (1974). A—032 XI
- 寺沢 真, 小林拓治郎, 木材乾燥における高温蒸煮の影響 (その1), 木材工業, **29**, 327 (1974). B—039 XII
- 寺沢 真, 小林拓治郎, 木材乾燥における高温蒸煮の影響 (その2), 完, 木材工業, **29**, 378 (1974). B—040 XII

- 菅野国男, スプルース材の片面吸水による反りについて, 木材工業, **29**, 427 (1974). B-035 XI
- 米田昌世, 大山幸夫, カラマツ間伐材の乾燥に関する研究 (第4報), 一圧縮圧力と柾木間隔について一, 北林産試月報, No. 3, 1 (1974). D-058 XI
- 奈良直哉, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, 大山幸夫, カラマツ間伐材の乾燥に関する研究 (第5報), 一天然乾燥材の損傷について一, 北林産試月報, No. 5, 1 (1974). D-059 XI
- 大山幸夫, 奈良直哉, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, 菅野新六, 乾燥による割れの防止試験 (1), 一針葉樹心持正角の PEG 処理一北林産試月報, No. 12, 1 (1974). D-093 XII
- 西尾 茂, 中村昭二, カップ法による木材乾燥応力の推定について (第3報), 応力値の推定と自動記録, 鳥取県工業試験場研究報告, 昭和48年度, (1974). D-0103 XII
- 竹中 健, 吉田直隆, カラマツ小径材の乾燥試験 一心持正角材採材のための処理条件の影響一, 木材と技術, No. 17, 7 (1974). D-0100 XII
- 飯田生穂, 福山萬治郎, 浦上弘幸, 引張荷重下における木材の収縮挙動 (3), セットされた木材の膨潤, 収縮について, 京都府立大学農学部演習林報告, No. 19, 7 (1974). D-178 XII
- LUTZ, J.F., H. HABERMANN and H.R. PANZER, Press-drying green, flatsliced walnut veneer to reduce buckling and end waviness, Forest Prod. J., **24**, No. 5, 29 (1974). E-0149 XI
- KOCH, P., Serrated kiln sticks and top load substantially reduce warp in southern pine studs dried at 240°F, Forest Prod. J., **24**, No. 11, 30 (1974). E-0152 XII
- HSU, N.N. and R.C. TANG, Internal stresses in wood logs due to anisotropic shrinkage, Wood Science, **7**, 43 (1974). H-09 XI
- RYBARCZYK, W. and R. GANOWICZ, A theoretical description of the swelling pressure of wood, Wood Science and Technology, **8**, 233 (1974). H-014 XI
- BRÖKER, F.W. and M.H. SIMATUPANG, Ursachen der Dimensionsänderung zementgebundener Holzwerkstoffe, Holz als Roh- und Werkstoff, **32**, 150 (1974). I-079 XI
- BURMESTER, A., Veränderung der Darrabmessungen von Holz durch Umlagerung wasserlöslicher Stoffe in der Zellwand, Holz als Roh- und Werkstoff, **32**, 229 (1974). I-078 XI
- BOLTON, A.J., P. JARDINE, M.H. VINE and J.C.E. WALKER, The swelling of wood under mechanical restraint, Holzforschung, **28**, 138 (1974). J-06 XI
- KUBLER, H., Drying tree disks simply and without defects, Forest Prod. J., **24**, No. 7, 33 (1974). E-0169 X VIII
- 大山幸夫, 小径木からの製材品の乾燥 (1), 木材工業, **30**, 341 (1975). B-066 X VII
- 大山幸夫, 小径木からの製材品の乾燥 (2), 木材工業, **30**, 392 (1975). B-067 X VII
- 木材部・林産化学部, 南洋材の性質 21. 南洋材の材質および加工性の評価, 林試研報, No. 277, 87 (1975). C-024 X III
- 奈良直哉, 大山幸夫, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, 小径広葉樹材の乾燥 (1), 一心持ち材の PEG 処理一, 北林産試月報, No. 286, 5 (1975). D-0110 X III
- 三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第6報), 木材の膨潤圧と樹種, 初期含水率, 膨潤率および横圧縮ヤング係数との関係, 東京大学農学部演習林報告, No. 68, 111 (1975). D-0113 X III
- 三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第4報), 木材の膨潤圧におよぼす年輪傾角, 木理角および側面の膨潤拘束の影響, 木材誌, **21**, 62 (1975). A-034 XII
- 三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第5報), 木材の膨潤圧におよぼす膨潤剤の影響, 木材誌, **21**, 217 (1975). A-035 XII
- 藤田晋輔, 乾燥割れに関する研究 (第9報), 乾燥過程の応力の発生と木材の構成要素の変形, 木材誌, **21**, 231 (1975). A-036 XII
- 林 和男, 寺沢 真, 飽水バルサ材の細胞の落ち込みに関する研究 (第3報), 引張応力による落ち込み量の変化, 木材誌, **21**, 278 (1975). A-037 XII
- 藤田晋輔, 乾燥割れに関する研究 (第10報), 収縮応力におよぼす乾燥温度の影響, 木材誌, **21**, 357 (1975). A-038 XII
- 金川 靖, 木材の吸湿膨潤性 (第3報), 膨潤特性値の比重依存性について, 木材誌, **21**, 395 (1975). A-039 XII
- 佐道 健, 木村泰男, ねじり変形下における木材中の水分応力の変化, 木材誌, **21**, 430 (1975). A-041 XII

林 和男, 寺沢 真, 木材乾燥における落ち込み発生機構 (1), 木材工業, 30, 383 (1975).	B-041	XII
林 和男, 寺沢 真, 木材乾燥における落ち込み発生機構 (2), 木材工業, 30, 439 (1975).	B-042	XII
寺沢 真, 林 和男, 木材乾燥における落ち込みの発生機構 (3), 完, 木材工業, 30, 536 (1975).	B-047	XII
大山幸夫, 奈良直哉, 橋本博和, 米田昌世, 千葉宗昭, 小杉隆至, 菅野弘一, パネルボード, エンボスボード製造試験 (2), 一乾燥試験一, 北林産試月報, No. 4, 1 (1975).	D-094	XII
大山幸夫, 奈良直哉, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, 菅野新六, 乾燥による割れの防止試験 (2), 一カラマツ心持正角の適正乾燥スケジュール一, 北産試月報, No. 9, 1 (1975).	D-095	XII
藤田晋輔, 木材の春, 夏材層に発生する収縮応力, 静大農研究報告, No. 24, 35 (1975).	D-096	XII
西尾 茂, 中村昭二, カップ法による木材乾燥応力の推定について (第4報), 落ち込み易い材のカップ量変化, 鳥取県工業試験場研究報告, 昭和49年度, (1975).	D-0104	XII
大迫靖雄, 新生圧縮あて材の物性に関する研究, 材料, 24, 849 (1975).	D-0010	XII
KUBLER, H., Study on drying of tree cross sections, Wood Science, 7, 173 (1975).	H-015	XII
COOPER, G.A. and S.H. BARHAM, Effects of soaking in extractives and prefreezing on the drying behavior of eastern cottonwood, Wood Science, 7, 267 (1975).	H-016	XII
HSU, N.N. and R.C. TANG, Distortion and internal stresses in lumber due to anisotropic shrinkage, Wood Science, 7, 298 (1975).	H-017	XII
BEECH, J.C., The thickness swelling of wood particleboard, Holzforschung, 29, 11 (1975).	J-07	XII
NEUSSER, H. und M. ZENTNER, Untersuchungen zur Bestimmung des hygroskopischen Gleichgewichtes sowie der Dicken- und Längenquellung von Holzwerkstoffen, Holzforschung und Holzverwertung, 27, 26 (1975).	K-033	XII
KAUMAN, W.G., Cell collapse in wood, C.S.I.R.O., Div. Forest Prod. Reprint No. 556.	P-030	VI
BARISKA, M., Collapse phenomena in beechwood during and after NH ₃ -impregnation, Wood Science and Technology, 9, 293 (1975).	H-018	X III
POPPER, R. und M. BARISKA, Acylierung des Holzes. 3. Mitteilung: Quellungs und Schwindungseigenschaften, Holz als Roh- und Werkstoff, 33, 415 (1975).	I-079	X III
BIBLIS, E.J., and W.C. LEE, Effect of repeated humidity cycling on properties of southern yellow pine particleboard, Agricultural Experimental Station, Auburn University, No. 223, 3 (1975).	H-031	X VIII
島崎鶴雄, 吉田直隆, シベリア産葉針樹材によるドレスドラランバー製造試験, 一狂いにおよぼす製材木取りの影響一, 木材と技術, No. 25, 1 (1976).	D-0111	X III
奈良直哉, 橋本博和, 千葉宗昭, 大山幸夫, 道南スギ材の乾燥, 北林産試月報, No. 297, 1 (1976).	D-0112	X III
三城昭義, 木材の膨潤圧に関する研究 (第7報), 木材の膨潤圧と緩和, 木材誌, 22, 129 (1976).	A-043	X III
西尾 茂, カップ法による木材乾燥応力の推定 (第2報), カップ法とスライス法との比較, 木材誌, 22, 626 (1976).	A-053	X IV
斉藤藤市, 熱圧縮木質材料の寸法変化 (1), 木材工業, 31, 8 (1976).	B-049	X III
斉藤藤市, 熱圧縮木質材料の寸法変化 (2), 完, 木材工業, 31, 55 (1976).	B-050	X III
菅野国男, 拘束条件と膨潤応力の関係について (第1報), 一針葉樹材の場合一, 木材工業, 31, 196 (1976).	B-051	X III
三城昭義, 有馬孝禮, 大熊幹章, パーティクルボードの水分に対する性質 (I), 木材工業, 31, 299 (1976).	B-052	X III
鷲見博史, ダグラスファー 2''×4'', 2''×6'' 材の高温乾燥に関する研究, 林試研報, No. 285, 1 (1976).	C-025	X III
桜井広明, 金沢 宏, 内田隆三, HC 耐久性試験機による各種接着剤の耐久性試験, 静岡県工業試験場報告, No. 20, 33 (1976).	D-0105	X III
西尾 茂, 木製パネル反りの測定と対策, 鳥取木工研, No. 17, 7 (1976).	D-0106	X III
小野寺重男, 山本 宏, 高橋政治, 川口信隆, 鎌田昭吉, 河島 弘, 大山幸夫, 奈良直		

- 哉, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, 小倉高規, 吉田弥明, 野崎兼司, 高谷典良, 田口 崇, 新得産カラマツの材質と加工試験, 北林産試研報, No. 64, 1 (1976). D-0107 X III
- 大山幸夫, 奈良直哉, 米田昌世, 橋本博和, 千葉宗昭, 菅野新六, カラマツ小径木の乾燥による損傷防止に関する研究, 北林産試研報, No. 64, 116 (1976). D-0108 X III
- 千葉宗昭, 橋本博和, 菅野新六, 大山幸夫, 住宅内部におけるカラマツ材の乾燥特性, 北林産試月報, No. 293, 1 (1976). D-0109 X III
- 山口喜弥太, カラマツのねじりびき法, 林試研報, No. 288, 55 (1976). C-027 X IV
- MACKAY, J.F.G., Delayed shrinkage after surfacing of high-temperature kiln-dried northern aspen dimension lumber, *Forest Prod. J.*, **26**, No. 2, 33 (1976). E-0154 X III
- LEE, W-C. and E.J. BIBLIS, Effect of a high and low relative humidity cycle on properties of southern yellow pine particleboards, *Forest Prod. J.*, **26**, No. 6, 32 (1976). E-0155 X III
- SHUNK, B.H., Drying southern hardwood timbers, crossties, and posts, *Forest Prod. J.*, **26**, No. 4, 51 (1976). E-0156 X III
- COLEMAN, G.E. and E.J. BIBLIS, Properties of particleboard from southern yellow pine and cottonwood mixtures, *Forest Prod. J.*, **26**, No. 1, 48 (1976). E-0157 X III
- LUTZ, J.F., D.J. FAHEY, R.A. PATZER and C.W. POLLEY, Evaluation of synthetic crossbands for wood panels, USDA Forest Service Research Paper, FPL 277, (1976). F-017 X IV
- SUCHSLAND, O., Measurement of swelling forces with load cells, *Wood Science*, **8**, 194 (1976). H-019 X III
- UGOLEV, B.N., General laws of wood deformation and rheological properties of hardwood, *Wood Science and Technology*, **10**, 169 (1976). H-61 X IV
- BOEHME, C., Verbesserung der Kriechverhaltens von Holzwerkstoffen durch GFK-Bepunktung, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **34**, 453 (1976). I-161 X IV
- NEUSSER, H., U. KRAMES und M. ZENTNER, Vergleichsuntersuchung der wichtigsten heimischen Holzarten hinsichtlich ihrer Eignung für die Spanplattenherstellung. Teil II: Das Verhalten unter Feuchteinwirkung, *Holzforschung und Holzverwertung*, **28**, 79 (1976). K-034 X III
- HELIŃSKA-RACZKOWSKA, L., J. RACZKOWSKI, S., WARDULEŃSKI, Wpływ początkowych naprężeń ściskających na dociskowe ciśnienie pęcznienia drewna (Effect of initial compression stresses on swelling pressure of wood under bearing loads), *Poznanskie towarzystwo przyjaciół nauk wydział nauk technicznych prace komisji technologii drewna tom 6*, 31 (1976). (英要約あり) Z-018 X III
- GROSSMAN, P.U.A., Requirements for a model that exhibits mechano-sorptive behaviour, *Wood Science and Technology*, **10**, 163 (1976). H-021 X V
- KININMONT, J.A., and A.N. HASLETT, Drying stresses cause cupping of recut radiata pine boards, *Forest Institute Review*, **7**, No. 10, 1 (1976). Z-020 X VIII
- 高田秀樹, 林弘一郎, 堀部 哲, 田中重盛, 未利用材の資源化技術研究, 岐阜県工業試験所報告, 1 (1977). D-0141 X VIII
- 後藤輝男, 木材の材質改良の動向について (3), 完, *木工機械*, No. 81, 20 (1977). D-0134 X VI
- 林 和男, 寺沢 真, 飽水バルサ材の細胞の落ち込みに関する研究 (第4報), 蒸煮処理による落ち込み量増大の原因, *木材誌*, **23**, 25 (1977). A-050 X IV
- 林 和男, 寺沢 真, 飽水バルサ材の細胞の落ち込みに関する研究 (第5報), 細胞内腔に発生する水の引張力の大きさの推定, *木材誌*, **23**, 30 (1977). A-051 X IV
- 西尾 茂, カップ法による木材乾燥応力の推定 (第3報), 乾燥条件別, 板厚別カップ量の変化, *木材誌*, **23**, 180 (1977). A-052 X IV
- 菅野国男, 拘束条件と膨潤応力の関係について (第2報), 膨潤応力と木材の諸性質の関係, *木材誌*, **23**, 419 (1977). A-055 X IV
- 西尾 茂, カップ法による木材乾燥応力の推定 (第4報), タンオーク材の乾燥応力, *木材誌*, **23**, 427 (1977). A-054 X IV
- 井阪三郎, 乾燥応力を利用した木材乾燥スケジュールの自動制御について (1), *木材工業*, **32**, 8 (1977). B-053 X IV
- 井阪三郎, 乾燥応力を利用した木材乾燥スケジュールの自動制御について (2), 完, 木

- 材工業, **32**, 58 (1977). B-054 XIV
- 小林好紀, 脇田裕行, ベイスギ材の乾燥性—重さの異なる材の乾燥スケジュール試験—, 木材工業, **32**, 61 (1977). B-055 XIV
- 板倉祥文, 徳本守彦, 水分回復の拘束によりドウイング・セット材に発生する力について, 材料, **26**, 413 (1977). D-0114 XIV
- 小野寺重男, 高橋政治, 山口信隆, 北海道産造林木の材質試験(Ⅱ). カラマツとその F_1 類 (ニホンカラマツ, グイマツ, チョウセンカラマツ, グイマツ F_1 , チョウセンカラマツ F_1), 北林産試月報, No. 66, 30 (1977). D-0115 XIV
- 小杉隆至, 菅野弘一, 加藤幸一, 米田昌世, 倉田久敬, 長原芳男, カラマツ小径材から造作用集成柱の製造試験, 北林産試月報, No. 2, 1 (1977). D-0116 XIV
- 奈良直哉, 千葉宗昭, 橋本博和, 大山幸夫, カラマツ心持ち材の軸組みによる形質変化, 北林産試月報, No. 4, 12 (1977). D-0117 XIV
- 川上英夫, 山科 創, 中野隆人, 種田健造, 官能性樹脂による WPC 化(2), 一官能性オリゴマー添加の影響—, 北林産試月報, No. 8, 16 (1977). D-0118 XIV
- 川上英夫, 奈良直哉, 山科 創, 中野隆人, 種田健造, 官能性樹脂による WPC 化(4), 一重合性, 材の狂いに及ぼす材の含有水分, アニール処理の影響—, 北林産試月報, No. 11, 13 (1977). D-0122 XIV
- 中西文昭, 粟村幸一, 木材の真空乾燥に関する研究(第2報), ナラ, ニヤトー材の乾燥性について, 広島県立工芸試験場研究報告, No. 6, 14 (1977). D-0119 XIV
- 森 靖弘, 吉田直陸, 中川 宏, 厚単板の熱盤圧縮乾燥(第1報), 木材と技術, No. 29, 10 (1977). D-0120 XIV
- 神長邦雄, 伊藤久志, 大石件次, 池上元一, マイクロ波による木材乾燥について(第1報), 静岡県工業試験場報告, No. 21, 13 (1977). D-0121 XIV
- 飯田生穂, 引張荷重下における木材の収縮挙動(4), セットに關与する2, 3の因子について(その1), 京都府立大学農学部演習林報告, No. 21, 14 (1977). D-197 XIV
- LLINGWORTH, P. and H. KLEIN, Jr., Microwave drying of ponderosa pine cross-sectional disks, Forest Prod., J., **27**, No. 2, 36 (1977). E-0160 XIV
- KOCH, P. and W.L. WELLFORD, Jr., Continuous tunnel kiln direct-fired with bark to dry 1.75-inch southern pine in 12 hours, Forest Prod. J., **27**, No. 5, 39 (1977). E-0161 XIV
- TAUCHERT, T.R. and N.N. Hsu, Shrinkage stresses in wood logs considered as layered, cylindrically orthotropic materials, Wood Science and Technology, **11**, 51 (1977). H-020 XIV
- KUPCZYK, J. and J. RACZKOWSKI, Effect of cyclic biaxial swelling restraint on the shrinkage of beech wood, Holzforschung, **31**, 133 (1977). J-010 XIV
- RACZKOWSKA, L.H. and J. RACZKOWSKI, Effect of swelling under mechanical restraint on the shrinkage of beech wood modified with polymethyl methacrylate (PMMA) and polystyrene (PST), Holzforschung und Holzverwertung, **29**, 27 (1977). K-035 XIV
- GONET, B., Untersuchungen über das Dämpfen von Buchenholz, Holzindustrie, **10**, 300 (1977). K-037 XIV
- SOLAR, F., Erforschung einiger aktueller Probleme bei brettschichtverleimten Trägern Teil I. Herstellung von Versuchsträgern mit gezielt eingebauten Produktionsfehlern, Ermittlung der Temperaturverteilung im Jahresablauf sowie Untersuchung der durch verschieden feuchte Lamellen auftretenden Schubspannungen in einem Holzer-Träger, Holzforschung und Holzverwertung, **29**, 1 (1977). K-62 XIV
- LEHMANN, W.F., Durability of composition board products, Proc. Washington State University Symposium on Partieleboard, No. 11, 351 (1977). H-028 XVII
- 高田秀樹, 林弘一郎, 堀部 哲, 田中重盛, 未利用材の資原化技術研究, [岐阜県工業試験所報告, 1 (1977). D-0141
- 西尾 茂, カップ法による木材乾燥応力の推定, 木工機械, No.87, 15 (1978). D-0135 XVI
- 加藤弘之, 佐道 健, 松井邦泰, 近藤健二郎, 中戸莞二, 木口円盤の収縮と割れの発生, 京都大学農学部演習林報告, No. 50, 191 (1978). D-0125 XVI
- 寺沢 真, 乾燥初期に発生する割れについて, 木材工業, **33**, 142 (1978). B-063 XVI
- 西尾 茂, カップ法による木材乾燥応力の推定(第5報), 乾燥割れとカップ量, 木材誌,

- 24, 12 (1978). A-056 XV
- 斎藤藤市, 深沢政晶, パーティクルボードの機械的性質 (第2報), 乾湿繰返しの影響, 木材誌, 24, 51 (1978). A-057 XV
- 金川 靖, 服部芳明, 木材の収縮経過 (その1), 木材誌, 24, 441 (1978). A-059 XV
- 菅野国男, 拘束条件と膨潤応力の関係について (第3報), 膨潤応力異方度と木材の諸異方度の関係, 木材誌, 24, 513 (1978). A-058 XV
- 伏谷賢美, 乾湿繰返し処理による木材の物性安定化, 木材工業, 33, 202 (1978). B-058 XV
- 有馬孝禮, 熱圧された変形の回復, 木材工業, 33, 333 (1978). E-059 XV
- 山本 宏, 高橋政治, 川口信隆, 滝沢忠昭, カラマツ生材の狂いの拘束 (1), 一心持ち正角材のネジレ拘束トルクについて一, 北林産試月報, No. 6, 7 (1978). D-0123 XV
- 森 靖弘, 大森幹夫, 吉田直隆, スギ心持ち材の軸組みによる形質変化, 木材と技術, No. 32, 11 (1978). D-0124 XV
- LEHMANN, W.F., Cyclic moisture conditions and their effect on strength and stability of structural flakeboards, Forest Prod. J., 28, No. 6, 23 (1978). E-0162 XV
- ARGANBRIGHT, D.G., J.A. VENTURINO and M. GORVAD, Warp reduction in young-growth ponderosa pine studs dried by different methods with top-load restraint, Forest Prof. J., 28, No. 8, 47 (1978). E-0163 XV
- RANTA, L., Untersuchungen über die Dimensionsänderungen von Spanplatten in Plattenebene, Holz als Roh- und Werkstoff, 36, 37 (1978). I-080 XV
- ARIMA, T. and P.U.A. GROSSMAN, Recovery of wood after mechano-sorptive deformation, J. Institute of Wood Science, 8, 47 (1978). O-018 XV
- 金川 靖, 服部芳明, 木材の収縮経過 (その2), 細胞の落ち込みに基づく収縮応力, 木材誌, 25, 184 (1979). A-060 XV
- 服部芳明, 金川 靖, 寺沢 真, 木材の収縮経過 (その3), 凍結乾燥法による細胞の落ち込み発生経過の観察, 木材誌, 25, 191 (1979). A-061 XV
- 菅野国男, 大坪正夫, 拘束条件と膨潤応力の関係について (第4報), 試験体形状が膨潤応力に及ぼす影響について, 木材誌, 25, 318 (1979). A-062 XV
- KAWAI, S., K. NAKATO and T. SADOH, Computation of drying stresses resulting from moisture gradients in wood during drying. II, Numerical calculation, 25, 木材誌, 272 (1979). A-063 XVI
- 鷺見博史, 佐藤庄一, 温度 100℃ の急速乾燥におけるベイツガ材の割れ, 木材工業, 34, 250 (1979). B-061 XVI
- 寺沢 真, 家具材の人工乾燥, 木材工業, 34, 492 (1979). B-062 XVI
- ARIMA, T., Recovery of wood after mechano-sorptive deformation II. Effects of drying conditions while clamped, 木材誌, 25, 469 (1979). A-064 XVI
- 和田 博, マイクロ波によるヒノキ小径木円盤の乾燥, 奈良県林業試験場報告, No. 8, 35 (1979). D-0130 XVI
- 伊藤久志, 神長邦雄, 大石伴次, 池上元一, マイクロ波による木材乾燥について (第2報), 大型マイクロ波装置を用いて, 静岡県工業試験場報告, No. 23, 13 (1979). D-0132 XVI
- 小松幸平, 堀江秀夫, 倉田久敬, ラチス梁に関する研究 (第1報), 小径カラマツ未乾燥材を用いたラチス梁の試作, 及び梁形状の経時変化の観察, 北林産試研報, No. 330, 1 (1979). D-0128 XVI
- 千葉宗昭, 米田昌世, 奈良直哉, 大山幸夫, 小径材の天然乾燥における損傷防止 (第1報), カラマツ, ハルニレの心持ち正角と平割, 北林産試月報, No. 334, 1 (1979). D-0129 XVI
- 高谷典良, 合板の膨潤圧と接着耐久性南洋材7種の合板膨潤圧, 北林産試月報, No. 335, 13 (1979). D-0127 XVI
- PETER, Y.S. CHEN, P.Y.S. and F.E. BILTONEN, Effect of prefreezing on press-drying of black walnut heartwood, Forest Prod. J., 29, No. 2, 48 (1979). E-0164 XV
- MEIERBEFER, U. und J. SELL, Physikalische Vorgänge in wetterbeanspruchten Holzbauteilen Holz als Roh- und Werkstoff, 37, 447 (1979). I-081 XVI
- FELL, J.D. and L. HILL, Xerographic copies of stress sections can improve drying records, Forest Prod. J., 29, No. 5, 41 (1979). E-0166 XVI

- SHELLY, J.R., D.G. ARGANBRIGHT and M. BIRNBACH, Severe warp development in young-growth ponderosa pine studs, *Wood and Fiber*, **11**, 50 (1979). H—023 X VI
- MEIERHOFER, U.A., Climatic stresses of wooden construction elements, Proc. 1st International Conference on Wood Fracture, 129 (1979). S—02 X VII
- TISCHLER, K., E.W.G. KES, R.M. DE C. HENDRIQUES and H. SCHUSTER, Twist reduction by mechanical restraint during kiln drying, Special Report, National Timber Research Institute, South Africa, No. 169, 17 (1979). Z—019 X VIII
- 斎藤藤市, 杉山 学, パーティクルボードの機械的性質(第4報), 接着耐久性の尺度としてのインターミナせん断強さとはく離強さ, *木材誌*, **26**, 1 (1980). A—065 X VI
- 中野隆人, 山科 創, 川上英夫, 樹脂含浸処理による木材の改質(第2報), 官能性オリゴマ水系エマルジョン含浸 WPC の2, 3の物性, *北林産試月報*, No. 338, 1 (1980). D—0131 X VI
- 吉本 傳, 塩化カルシウム処理による木口割れ防止, *奈良林業試験場報告*, No. 9, 36 (1980). D—0133 X VII
- 土井 登, 伏谷賢美, 蕪木自輔, ドライングセットによる木材中のセルロース結晶の変形, 吸湿及び吸水によるその変形の回復, *木材誌*, **26**, 603 (1980). A—067 X VII
- 末松充彦, 平井信之, 斎藤藤市, 熱圧縮木材の材質(第1報), 吸湿, 吸水性および動的粘弾性, *木材誌*, **26**, 581 (1980). A—181 X VII
- 佐々木光, 加藤昭二, 井上章一, コーナーを“とめ”加工した合板中空部材の性能, *木材工業*, **35**, 366 (1980). B—064 X VII
- 野崎兼司, 高谷典良, 田口 崇, 単板積層材の製造試験(第2報), *北林産試月報*, No. 347, 4 (1980). D—0137 X VII
- PRICE, E.W. and P. KOCH, Kiln time and temperature affect shrinkage, warp, and mechanical properties of southern pine lumber, *Forest Prod. J.*, **30**, No. 8, 41 (1980). E—0167 X VII
- SCHAFFER, E.L., T.L. WILKINSON and B.G. HEEBINK, Roofing nail performance in structural flakeboards, *Wood and Fiber*, **12**, 196 (1980). H—024 X VII
- CARROLL, M.N., We still don't boil houses: Part II Test procedures for particleboard used in general building construction, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No. 14, 39 (1980). H—027 X VII
- GEIMER, R.L., Predicting flakeboard properties: Improvements in bending properties by aligning a mixture of flakes, Proc. Washington State University Symposium on Particleboard, No. 14, 59 (1980). H—84 X VII
- SELL, J., Oberflächenbehandlung und Imprägnierung von Brettschichtträgern. Anforderungen, praktische Erfahrungen und Versuchsergebnisse, *Holz-Zentralblatt*, **106**, 629 (1980). K—038 X VII
- SKAAR, C., W.T. SIMPSON and R.M. HONEYCUTT, Use of acoustic emissions to identify high levels of stress during oak lumber drying, *Forest Prod. J.*, **30**, No. 2, 21 (1980). E—0176 X X
- 浜野義昭, 西尾 茂, 高周波減圧乾燥法について(第1報)—電極板間の含水率分布—, *木材工業*, **36**, 62 (1981). B—065 X VII
- 飯田生穂, 福山萬治郎, テンション・セット材の物理的性質について, *京都府立大学農学部演習林報告*, No. 25, 46 (1981). D—0135 X VII
- 長谷川 智, 坂井正孝, 元木英生, 生材の集成化技術の確立(第2報), 高含水率ラミナによる集成材の乾燥変形, *木材と技術*, No. 47, 7 (1981). D—0140 X VIII
- 楡木 堯, 耐久性能に関する研究(第1報), *建築材料・部材の耐久性能評価*, 建研報告, No. 94, 1 (1981). D—0142 X VIII
- 滝沢忠昭, 川口信隆, 高橋政治, カラマツ心持ち直角材の繊維傾斜度とねじれの関係, *北林産試月報*, No. 357, 7 (1981). D—0138 X VIII
- 斎藤藤市, エンダン・サストラデマジア, 宮川雄二, パーティクルボードの機械的膨潤抑制が小片結合力におよぼす影響, *木材誌*, **27**, 782 (1981). A—068 X VIII
- 有馬孝禮, 佐藤雅俊, 益田恵吾, 木質材料及び部材の長期耐久力評価に関する研究, 建研報告, No. 95, 1 (1981). D—240 X VIII
- DEPPE, H.J. und K. SCHMIDT, Zur Beständigkeit beschichteter Holzspanwerkstoffe, *Holz als Roh- und Werkstoff*, **39**, 139 (1981). I—082 X VII

井村純夫, 峯村伸哉, カラマツランバーコア合板の表面波打ち抑制試験, 北林産試月報, No. 360, 1 (1982).	D-0139	XVII
作野友康, 後藤輝男, 木材の接着力に及ぼす膨潤挙動の影響, 鳥大農研報, 34, 95 (1982).	D-0143	XVII
斎藤藤市, 安藤正史, オーバーレイパーティクルボードの材質 (第1報), オーバーレイパーティクルボードの寸度変化と小片結合力に及ぼす吸水, 乾燥繰返しの影響, 木材誌, 28, 432 (1982).	A-069	XIX
斎藤藤市, エンダン・サストラデマジア, 牧野克己, 水分の繰返し変化を受けるパーティクルボードの抑制膨潤下の挙動, 木材誌, 28, 596 (1982).	A-070	XIX
池淵 隆, 熱圧縮処理による木材の寸法安定性と材色への影響について, 鳥取県立工業技術センター研究報告, No. 19, 11 (1982).	D-0147	XIX
西尾 茂, 低温除湿乾燥の応力経過, 鳥取県工業試験場研究報告, No. 4, 22 (1982).	D-0149	XIX
浜野義昭, 西尾 茂, 心持ち木口円盤と円筒材の乾燥, 鳥取県工業試験場研究報告, No. 4, 32 (1982).	D-0148	XIX
千葉宗昭, 米田昌世, 野呂田隆史, 奈良直哉, 小径材の天然乾燥における損傷防止 (第2報), トドマツ, ミズナラの心持ち正角と平割, 北林産試月報, No. 363, 8 (1982).	D-0150	XIX
KozLIK, C.J., Kiln-drying Douglas-fir pole sections: effects on strength and checking, Forest Prod. J., 32, No. 6, 25 (1982).	E-0170	XIX
MYERS, G.C., Response of experimental hardboard dimensions and weight to cyclic relative humidity, Forest Prod. J., 32, No. 7, 41 (1982).	E-0172	XIX
CHEN, P.Y.S., W.A. HELMER, H.N. ROSEN and D.J. BARTON, Experimental solar-dehumidifier kiln for drying lumber, Forest Prod. J., 32, No. 9, 35 (1982).	E-0171	XIX
FUTÓ, L.P., Über die Spannungsverteilung im Holzgewebe nach der Trocknung (Teil 1) zonen der maximalen und minimalen Schwindungen in Tannenholz-Querschnitten, Holz als Roh- und Werkstoff, 40, 45 (1982).	I-083	XVIII
斎藤藤市, 鈴木克美, オーバーレイパーティクルボードの材質 (第2報), 小片配向ボードをコアにした複合ボードの寸度変化と小片の接着耐久性, 29, 234 (1983).	A-071	XIX
作野友康, 後藤輝男, 木材接着層の膨潤挙動に及ぼす 2, 3 の因子の影響, 鳥根大学農学部研究報告, 35, 34 (1983).	D-0146	XIX
青木 務, 則元 京, マイクロ波加熱による木材の曲げ加工, 繊維方向曲げ加工材の水分回復, 木材研究・資料, No. 17, 88 (1983).	D-0145	XIX
椋代純輔, 積層材の含水率変化によって生じる内部応力の解析, 京都府立大学学術報告, No. 35, 1982 (1983).	D-0151	XX
信田 聡, 千葉宗昭, 奈良直哉, カラマツ丸太の CSF 処理乾燥, 低温スケジュールによる人工乾燥, 北林産試月報, No. 382, 1 (1983).	D-0152	XX
野呂田隆史, 千葉宗昭, 奈良直哉, 太陽熱利用木材乾燥に関する研究, 林産試験場研究報告, No. 72, 95 (1983).	D-0153	XX
往西弘次, 後藤輝男, 官能性オリゴマーとメタクリル酸メチルによる木材の寸法安定化, 材料, 32, 904 (1983).	D-0155	XX
斎藤藤市, 鈴木清文, LVL, 配向パーティクルボードの接着耐久性, 木材誌, 29, 688 (1983).	A-072	XX
服部芳明, 寺沢 真, 最近の落ち込みの情報, 木材工業, 38, 370 (1983).	B-069	XX
有馬孝礼, 丸山則義, 早村俊二, 岡崎 光, キッチンキャビネット用木質系扉の湿度変動下の反り, 材料, 32, 910 (1983).	D-0154	XX
SNELGROVE, T.A. and S. ERNST, Veneer recovery from live and dead lodgepole pine, Forest Prod. J., 33, No. 6, 21 (1983).	E-0173	XX
WARD, J.C. and D.A. GROOM, Bacterial oak: drying problems, Forest Prod. J., 33, No. 10, 57 (1983).	E-0175	XX
BRUMESTER, A., Veränderung von Holzfeuchtigkeit, Dichte und Schwindung bei Laubhölzern durch jahreszeitlich bedingte Einflüsse, Holz als Roh- und Werkstoff, 41, 493 (1983).	I-085	XX
MEIERHOFER, U. und J. SELL, Untersuchungen zur Optimierung des Oberflächenschutzes		

von Holzbauteilen, Teil 3: Bewitterungsversuche an Spanplattenabschnitten, Holz als Roh- und Werkstoff, 41 , 449 (1983).	I—086	XX
RACZKOWSKA, L.H. und J. RACZKOWSKI, Einfluß der Vorbehandlung mit wäßriger Ammoniaklösung auf den Quellungsdruck von Holz, Holztechnologie, 24 , 227 (1983).	K—040	XX
MEIERHOFER, U., Untersuchungen zur Optimierung der Oberflächenschutzes von Holzbauteilen, Teil 2. Bewitterungsversuche an Brettschichtholzabschnitten, Holz als Roh- und Werkstoff, 41 , 197 (1983).	I—084	XIX
飯田生穂, 則元 京, 今村祐嗣, 圧縮セットの水分・熱回復, 木材誌, 30 , 354 (1984).	A—073	XX
三城昭義, ニュージーランド産ラジアタパインの狂い, 木材工業, 39 , 177 (1984)	B—068	XX
斎藤藤市, 池田正行, 鈴木清文, 木質材料の接着性能と内部応力, 木材工業, 39 , 336 (1984).	B—071	XX
ERICKSON, R.W., H.D. PETERSON and T.D. LARSON, Obtaining uniform final moisture content in the high temperature drying paper birch fitches, Forest Prod. J., 34 , No. 2, 27 (1984).	E—0174	XX
RACZKOWSKA, L.H., Einfluß der Vorbehandlung mit Gammastrahlen auf den Quellungsdruck von Holz, Holztechnologie, 25 , 74 (1984).	K—039	XX
DURISOVA, V., Einfluß der Nachbehandlung auf die Qualität von getrocknetem Holz, Holztechnologie, 25 , 23 (1984).	K—041	XX
MARTLEY, J.F., Theoretical calculation of the pressure distribution on the basal section of a tree, Forestry, 2 , 69 (1928).	O—002	V
KOEHLER, A., A new hypothesis as to the cause of shakes and rift cracks in green timber, J. Forestry, 31 , 551 (1933).	H—001	V
JACOBS, M.R., The fiber tension of woody stems, with special reference to the <i>Genus Eucalyptus</i> , Commonwealth Forestry Bureau, Bull. No. 22, (1938).	P—006	X
JACCARD, P., Exzentrisches Dickenwachstum und anatomisch-histologische Differenzierung des Holzes, Ber. Schweiz. Bot. Ges., 48 , 491 (1938).	Z—003	VI
CLARKE, S.H., Stresses and Strains in growing timber, Forestry, 13 , 68 (1939).	O—001	V
JACOBS, M.R., Further studies on fibre tension, Commonwealth Forestry Bureau, Bull. No. 24, (1939).	P—007	X
渡辺治人, 樹幹の内応力に就いて (予報), 日林誌, 24 , 135 (1942).	A—002	V
JACOBS, M.R., The growth stresses of woody stems, Comm. Forestry Bureau Bull., No. 28 (1945).	P—005	VIII
渡辺治人, 樹幹の内応力に就いて (第一報), スギおよびヒノキの樹幹内応力, 日林誌, 26 , 104 (1944).	D—0012	XV
BOYD, J.D., Tree growth stresses I. Growth stress evaluation, Aust. J. Sci. Res., Ser. B, Biol. Sci., 3 , 270 (1950).	P—002	V
BOYD, J.D., Tree growth stresses III. The origin of growth stresses, Aust. J. Sci. Res., Ser. B, Biol. Sci., 3 , 294 (1950).	P—004	V
BOYD, J.D., Tree growth stresses. II. The development of shakes and other visual failures in timber, Aust. J. Appl. Sci., 1 , 296 (1950).	P—003	VI
BIELCZYK, S., Wolym niektórych czynnikow na pekanie surowca bukowego (The influence of some factors on splitting of beech timber), Prace Inst. Bad. Lésn., No. 89 (1953).	Z—002	V
MAYER-WEGELIN, H. and E. MAMMEN, Spannungen und Spannungsrisse im Buchenstammholz, Allgem. Forest- und Jagdzeitung, 125 , 287 (1954).	K—001	V
KÜBLER, H., Studien über Wachstumsspannungen des Holzes — Erste Mitteilung: Die Ursache der Wachstumsspannungen und die Spannungen quer zur Faserrichtung, Holz als Roh- und Werkstoff, 17 , 1 (1959).	I—001	V
KÜBLER, H., Studien über Wachstumsspannungen des Holzes — Zweite Mitteilung: Die Spannungen in Faserrichtung, Holz als Roh- und Werkstoff, 17 , 44 (1959).	I—002	V
KÜBLER, H., Studien über Wachstumsspannungen des Holzes — Dritte Mitteilung: Längenänderungen bei der Wärmebehandlung frischen Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, 17 , 77 (1959).	I—003	V

- 渡辺治人, 樹幹内の生長応力, 木材工業, **15**, 218 (1960). B-001 V
- YOKOTA, T. and H. TARKOW, Hygrothermal properties of wood, **7**, 217 (1961). A-003 VI
- PERKITNY, T. and L. HELIŃSKA, Über den Einfluß gleichzeitiger Temperatur- und Feuchtigkeitsänderung auf die Verformungen des Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, **19**, 259 (1961). I-004 V
- PERKITNY, T., M. LAWNICZAK and A. PELOWSKI, Zmiany wymiarów preparatów mikroskopowych drewna ogrzewanego w wodzie (Dimension changes of wood microscopic section heated in water), Roczniki Wyższej Szkoły Rolniczej w Poznaniu, **11**, 17 (1961). Z-001 V
- 横田徳郎, H. TARKOW, 木材の湿熱性, 林試報, No. 135, 73 (1962). C-001 V
- YOKOTA, T. and H. TARKOW, Changes in dimension on heating green wood, Forest Prod. J., **12**, 43 (1962). E-002 V
- GRZECZYŃSKI, T., Einfluß der Erwärmung im Wasser auf vorübergehende und bleibende Formänderungen frischen Rotbuchenholzes, Holz als Roh- und Werkstoff, **20**, 210 (1962). I-006 VI
- PERKITNY, T., M. LAWNICZAK and B. SOBCZYŃSKI, Über den Einfluß des Heißwassers auf die irreversiblen Verformungen frisch gefällten Buchenholzes, Holzindustrie, **15**, 104 (1962). K-002 V
- 渡辺治人, 堤 寿一, 小島敬吾, 未成熟材に関する研究 (第一報), スギ樹幹についての実験, 木材誌, **9**, 225 (1963). A-001 V
- 渡辺治人, 樹幹の成長応力, 材料, **12**, 709 (1963). D-003 VIII
- NARAYANAMURTI, D., N.C. JAIN, R.C. GUPTA and H.C. PANT, Growth stresses in trees, Silvae Genetica, **12**, 89 (1963). K-003 VI
- JACOBS, M.R., Stresses and strains in tree trunks as they grow in length and width, Comm. Forestry and Timber Bureau. Leaflet No. 96 (1965). P-001 V
- DINWOODIE, J.M., Growth stresses in timber — A review of European investigations, Proc. IUFRO Sect. 41, Melbourne, Committee on Tree Growth Stresses (1965). Z-004 XVIII
- HALLOCK, H., Growth stresses and lumber warp in loblolly pine, Forest Prod. J., **16**, No. 2, 48 (1966). E-001 V
- PERKITNY, T. and L. HELIŃSKA-RACZKOWSKA, Über den Einfluß von Wachstumsspannungen auf die durch Temperatur- und Feuchtigkeitsänderung ausgelösten Verformungen des Holzes, Holz als Roh- und Werkstoff, **24**, 481 (1966). I-005 V
- DINWOODIE, J.M., Growth stresses in timber — A review of literature, Forestry, **39**, 162 (1966). O-003 V
- WATANABE, H., A study of the origin of longitudinal growth stresses in tree stems, 九大農演習林報, No. 41, 169 (1967). D-001 V
- 土肥 修, 片岡更一, 極異方性円筒の残留主応力測定法 (木材原木の残留主応力), 日本機械学会論文集 (第1部), **33**, 667 (1967). D-006 XII
- 土肥 修, 片岡更一, 直交異方性板の残留主応力測定法 (木材平板の残留主応力), 日本機械学会論文集 (第1部), **33**, 673 (1967). D-007 XII
- SKOLMEN, R.G., Heating logs to relieve growth stresses, Forest Prod. J., **17**, No. 7, 41 (1967). E-003 VI
- 大迫靖雄, 山田 正, プナ枝材の粘弾性と生長応力, 木材研究, No. 45, 36 (1968). D-002 V
- GIORDANO, G.P. CURRO and G. GHISI, Contribution to the study of internal stresses in the wood of Eucalyptus, Wood Science and Technology, **3**, 1 (1969). H-002 VI
- NOACK, D., Über die Heißwasserbehandlung von Rotbuchenholz im Temperaturbereich von 100 bis 180°C, Holzforschung und Holzverwertung, **21**, 118 (1969). K-005 VII
- GONET, B., Einfluß des Dämpfens auf die Relaxation der Spannungen in Rotbuchenholz, Holztechnologie, **11**, 120 (1970). K-004 VII
- NICHOLSON, J.E., The effect of storage on level of growth stress in *Eucalyptus regans* logs and trees, IUFRO Report (1971). F-001 X
- NICHOLSON, J.E., A rapid method for estimating longitudinal growth stresses in logs, Wood Science and Technology, **5**, 40 (1971). H-003 VIII

- KIKATA, Y., The effect of lean on level of growth stress in *Pinus densiflora*, 木材誌, **18**, 443 (1972). A-004 IX
- BOYD, J.D. and K.B. SCHUSTER, Tree growth stresses — Part IV: Visco-elastic strain recovery, Wood Science and Technology, **6**, 95 (1972). H-004 IX
- BOYD, J.D., Tree growth stress — Part V: Evidence of an origin in differentiation and lignification, Wood Science and Technology, **6**, 251 (1972). H-007 X
- CILLIS, P.P. and A.K. BURDEN, Heart shakes and growth stresses, Wood and Fiber, **4**, 95 (1972). H-006 X
- NICHOLSON, J.E., G.S. CAMPBELL and D.E. BLAND, Association between wood characteristics and growth stress level: A preliminary study, Wood Science, **5**, 109 (1972). H-009 X
- GIORDANO, G. et P. CURRO, A propos des tensions internes dans les arbres, les grumes et les sciages, Revue Bois et Forêts des Tropiques, No. 145, 39 (1972). U-001 X
- 木方洋二, アフリカ材の生長応力について—未利用樹種の利用開発—, 熱帯林業, No. 30, 11 (1973). D-004 X
- 大迫靖雄, 千代田省蔵, スギ除伐材の物性に関する研究, 熊本大学教育学部紀要, No. 22, 第1分冊, 33 (1973). D-005 X
- NICHOLSON, J.E., J.E. BARNACLE and P.F. LESSE, Evidence of residual stress in small sections of ordinary green *Eucalyptus regans*, Wood Science and Technology, **7**, 20 (1973). H-005 X
- KUBLER, H., Role of moisture in hygrothermal recovery of wood, Wood Science, **5**, 198 (1973). H-008 X
- KUBLER, H., Hygrothermal recovery under stress and release of inelastic strain, Wood Science, **6**, 78 (1973). H-0010 X
- WILHELMY, V. and H. KUBLER, Stresses and checks in log ends from relieved growth stresses, Wood Science, **6**, 136 (1973). H-0011 XI
- NICHOLSON, J.E. and N. DITCHBURNE, Shrinkage prediction based on analysis of three wood properties, Wood Science, **6**, 188 (1973). H-0012 XI
- GILLIS, P.P., Theory of growth stresses, Holzforschung, **27**, 197 (1973). J-001 XI
- GUÉNEAU, P. et Y. KIKATA, Contraintes de croissance, Revue Bois et Forêts des Tropiques, No. 149, 21 (1973). U-002 X
- GUÉNEAU, P., Contraintes de croissance, Cahiers Scientifiques, No. 3, 1 (1973). U-003 XIV
- NICHOLSON, J.E., Growth stress differences in eucalypts, Forest Sci. **19**, 169 (1973). H-0025 XV
- WILHELMY, V. and H. KUBLER, Probe for measurement of strains inside solid bodies, Exp. mech., **13**, 142 (1973). H-0031 XVIII
- GIORDANO, G. et P. CURRO, A propos des tensions internes dans les arbres, les grumes et les sciages, Revue Bois et Forêts des Tropiques, No. 145, 39 (1972). U-001 X
- BECK, J.L., Anisotropic theory of growth stresses in trees, Physics and Engineering Lab. Report No. 452, D.S.I.R., New Zealand (1974). Z-002 XVII
- 木方洋二, 熱帯材の生長応力(その一), 木材工業, **29**, 111 (1974). B-003 XI
- 木方洋二, 熱帯材の生長応力(その二), 木材工業, **29**, 202 (1974). B-002 XI
- KUBLER, H. and Te-Hung CHEN, How to cut tree disks without formation of checks, Forest Prod. J., **24**, No. 7, 57 (1974). E-004 XI
- BOYD, J.D. and R.C. FOSTER, Tracheid anatomy changes as responses to changing, structural requirements of the tree, Wood Science and Technology, **8**, 91 (1974). H-0015 XII
- ARCHER, R.R. and F.E. BYRNES, On the distribution of tree growth stresses — Part I: An anisotropic plane strain theory, Wood Science and Technology, **8**, 184 (1974). H-0013 XI
- OKUYAMA, T. and Y. KIKATA, The residual stresses in wood logs due to growth stresses, 木材誌, **21**, 326 (1975). A-005 XII
- 奥山 剛, 木方洋二, 樹幹の残留応力発生機構に関する考察, 木材誌, **21**, 335 (1975). A-006 XII
- 角谷和男, 山田 正, 木材の生長応力に関する一解析, 材料, **24**, 828 (1975). D-008 XII
- 奥山 剛, 木方洋二, 薄層除去法によって測定した樹幹の残留応力分布について, 材料, **24**, 845 (1975). D-009 XII
- 大迫靖雄, 新生圧縮あて材の物性に関する研究, 材料, **24**, 849 (1975). D-0010 XII

KÜBLER, H. and T.H. CHEN, Prevention of crosscut and heating heart checks in log ends, Wood Science and Technology, 9 , 15 (1975).	H—0014	XII
KUBLER, H., Study on drying of tree cross sections, Wood Science, 7 , 173 (1975).	H—015	XII
PNEVMATICOS, S.M., I.B. FLANN and J. WHITTAKER, Sawing pattern effect on warp loss of hard maple dimension stock, Forest Prod. J., 25 , No. 12, 43 (1975).	E—005	X III
TRENARD, Y. et P. GUÉNEAU, Relations entre contraintes de croissance longitudinales et bois de tension, dans le hêtre (<i>Fagus sylvatica</i> L.), Holzforschung, 29 , 217 (1975).	J—002	X III
SAURAT, J. and P. GUÉNEAU, Growth stresses in beech, Wood Science and Technology, 10 , 111 (1976).	H—0016	X III
HILLIS, W.E., Y. YAZAKI and J. BAUCH, The significance of anomalous extractives in heart-shakes in <i>Dacrydium</i> species, Wood Science and Technology, 10 , 79 (1976).	H—0017	X IV
ARCHER, R.R., On the distribution of tree growth stress Part II: Stresses due to asymmetric growth strains, Wood Science and Technology, 10 , 293 (1976).	H—0018	X IV
KNIGGE, W. und S. LEWARK, Die Streuung der Holzeigenschaften schnellwüchsiger Baumarten, Gegenwartiger Stand der Literatur, Forstarchiv, 47 , No. 12, 251 (1976).	K—009	X VIII
木方洋三, 三輪公夫, 穴あけ法による樹幹の内部応力(生長応力)の測定, 材料, 26 , 429 (1977).	D—0011	X IV
KUBLER, H., Formation of checks in tree stems during heating, Forest Prod. J., 27 , No. 1, 41 (1977).	E—006	X IV
BOYD, D., Relationship between fiber morphology and shrinkage of wood, Wood Science and Technology, 11 , 3 (1977).	H—0019	X IV
CHAFE, S.C., Radial dislocations in the fiber wall of <i>Eucalyptus regnans</i> trees of high growth stress, Wood Science and Technology, 11 , 69 (1977).	H—0020	X IV
TANTICHAIBORIBOON, V. and R.D. COOK, Studies on effect of shape of cut on growth-stress induced cracking in cut timber Part I: Three dimensional stress analysis, Wood Science and Technology, 11 , 237 (1977).	H—0021	X IV
TANTICHAIBORIBOON, V. and R.D. COOK, Studies on effect of shape of cut on growth-stress induced cracking in cut timber Part II: Optimization of axisymmetric cuts, Wood Science and Technology, 11 , 305 (1977).	H—0023	X IV
BYRNES, F.E. and R.R. ARCHER, Calculation of residual strains in log ends due to cross-cutting, Wood Science, 10 , 81 (1977).	H—0022	X IV
VENDHAN, C.P. and R.R. ARCHER, Relief of growth stresses in diametrical planks, Holzforschung, 31 , 90 (1977).	J—003	X IV
WILSON, B.F. and R.R. ARCHER, Reaction wood, introduction and mechanical action, Ann. Rev. Plant Physiol., 28 , 23 (1977).	H—0031	X IX
木方洋二, 熱帯材の割れについて, 熱帯林業, No. 50, 5 (1978).	D—0013	X VI
OKUYAMA, T. and Y. SASAKI, The residual stresses in wood logs due to growth stresses. (IV) The growth stresses piled in the trunk, 木材誌, 24 , 77 (1978).	A—007	X V
SASAKI, Y., T. OKUYAMA and Y. KIKATA, The evolution process of the growth stress in the tree. The surface stresses on the tree, 木材誌, 24 , 149 (1978).	A—008	X V
VENDHAN, C.P. and R.R. ARCHER, Relief of asymmetric growth stresses in logs, Holzforschung, 32 , 123 (1978).	J—004	X V
SWACZYNA, I., Der Einfluß des Abkürzens auf Verformungen und Risse an Rotbuchen-Rundholz, Holztechnologie, 19 , 151 (1978).	K—006	X V
BAMBER, R.K., The origin of growth stresses, IUFRO Conference (1978).	P—009	X VII
GUENEAV, P., Contraintes de croissance, methode de mesure sur pied, echantillonnage, premiers resultats, centre technique de bois, Rapport, No. 1 (1978).	U—004	X IX
木方洋二, 南洋材の成長応力, 木工機械, No. 94, 6 (1979).	D—0014	X VI
大迫靖雄, 前田 弘, クロマツ苗木の水ポテンシャルと生長応力, 材料, 28 , 641 (1979).	D—0015	X VI
OKUYAMA, T. and Y. SASAKI, Crooking during lumbering due to residual stress in the tree, 木材誌, 25 , 681 (1979).	A—009	X VI
ARCHER, R.R., On the distribution of tree growth stresses Part 3: The case of inclined		

- grain, *Wood Science*, **13**, 67 (1979). H—0024 XV
- GILLIS, P.P. and C.H. HSU, An elastic, plastic theory of longitudinal growth stresses, *Wood Science Technology*, **13**, 97 (1979). H—0027 XVI
- YAO, J., Relationships between height and growth stresses within and among white ash, water oak, and shagbark hickory, *Wood Science*, **11**, 247 (1979). H—0028 XVI
- POLGE, H. and F. THIERCELIN, Growth stress appraisal through increment core measurements, *Wood Science*, **12**, 86 (1979). H—0026 XVI
- BANDYOPADHYAY, N. and R.R. ARCHER, Relief of growth stresses in planks, *Holz-forschung*, **33**, 43 (1979). J—005 XVI
- SWACZYNA, I., Der Einfluß des Abkürzens und Dämpfens auf die Verformungen von frischem Rotbuchenholz, *Holztechnologie*, **20**, 17 (1979). K—007 XVI
- SWACZYNA, I., Der Einfluß der Rißbildung auf den Grad und die Lage linearer Verformungen beim Schneiden von Kernbettern, *Holztechnologie*, **20**, 158 (1979). K—008 XVI
- CHAFE, S.C., Growth stress in trees, *Aust. For. Res.*, **9**, 203 (1979). P—008 XVII
- POST, I.L., J.C. ATHERTON, C.P. VENDHAN and R.R. ARCHER, An extension of Jacobs' method for measuring residual growth strains in logs, *Wood Science and Technology*, **14**, 289 (1980). H—0029 XVII
- SASAKI, Y., T. OKUYAMA and Y. KIKATA, Determination of the residual stress in a cylinder of inhomogeneous anisotropic material I, *木材誌*, **27**, 270 (1981). A—0010 XVII
- SASAKI, Y., T. OKUYAMA and Y. KIKATA, Determination of the residual stress in a cylinder of inhomogeneous anisotropic material II, *木材誌*, **27**, 277 (1981). A—0011 XVII
- OKUYAMA, T., Y. SASAKI, Y. KIKATA and N. KAWAI, The seasonal change in growth stress in the tree trunk, *木材誌*, **27**, 350 (1981). A—0012 XVII
- ARCHER, R.R., On the distribution of tree growth stresses (Part 4) The general case allowing longitudinal and circumferential variation of growth stresses, *Wood Science and Technology*, **15**, 201 (1981). H—0030 XVIII
- MARIAUX, A., Structure fine de bois tropicaux dans differents cas de contraintes residuelles de croissance, *Centre Technique Forestier Tropical* (1981). U—005 XIX
- OKUYAMA, T., A. KAWAI, Y. KIKATA and Y. SASAKI, Growth stresses and uneven gravitational-stimulus in trees containing reaction wood, *木材誌*, **29**, 190 (1983). A—0013 XIX
- SASAKI, Y. and T. OKUYAMA, Residual stress and dimensional changes on heating green wood, *木材誌*, **29**, 302 (1983). A—0014 XIX
- 大迫靖雄, 木方洋二, 奥山 剛, アカマツの枯死過程における生長応力, *材料*, **32**, 899 (1983). D—0016 XX